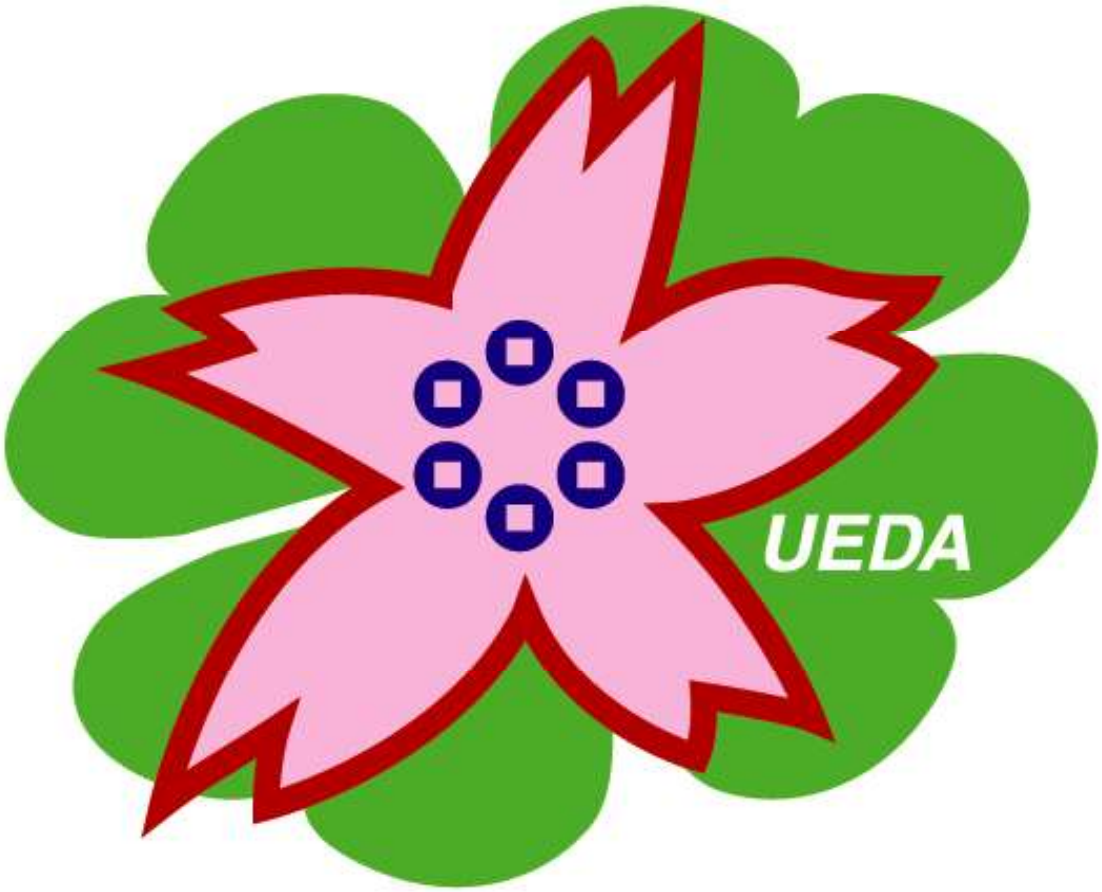
上田市の教育

令和８年度



上田市教育委員会

上田市民憲章

上田市は　千曲川の清流と菅平高原から美ヶ原高原までひろがる豊かな自然や先人の築いた歴史と文化を大切にするまちです

　わたくしたちは　上田市民であることに誇りと責任を持ち　未来への発展を願って　ここに市民憲章を定めます

一　美しい自然を守り　歴史や伝統に学ぶ
　文化の薫るまちをつくります

一　共に尊重し合い　平和を愛し
　やさしさあふれるまちをつくります

一　未来を担う子どもらが健やかに育つ
　夢あるまちをつくります

一　多彩な産業と資源をいかし
　希望と活力みなぎるまちをつくります

（平成十九年十月二日　制定日）
（平成十九年十月三日　告示）

上 田 市 都 市 宣 言

○ひともまちも健康で元気に　生活快適都市宣言

平成22年2月25日
議決宣言

誰もが、生きがいや豊かさを感じながら、生き生きと暮らしていくためには、スポーツ、保健、医療、福祉などを通じて「人が健康で元気」であるとともに、市民それぞれがまちづくりに取り組み、かけがえのない自然を守り、循環型社会を築き「まちが健康で元気」であること、更に市民が活き活きと働き「産業が健康で元気」になることが必要です。

私たち上田市民は、一人ひとりの責任と市民協働により、住んで良かったと実感できる快適なまちを築くため、ここに「ひともまちも健康で元気に　生活快適都市」を宣言します。

○争いのない世界を願う　非核平和都市宣言

平成22年2月25日
議決宣言

世界の恒久平和は、全人類共通の願いです。

私たち上田市民は、平和を愛する各国の人々とともに、世界の平和が実現することを訴え、争いと核兵器のない世界を築くため、ここに「争いのない世界を願う　非核平和都市」を宣言します。

○優しい思いやりあふれる　人権尊重都市宣言

平成22年2月25日
議決宣言

人は誰でも、一人ひとりかけがえのない存在として尊重され豊かに健康で幸せな生活を営む権利を持っています。

すべての人々の人権が保障されることは、誰もが幸せに暮らせるまちをつくる基礎となります。

私たち上田市民は、お互いを思いやり、相互の理解と協力と信頼により、人権が尊重され、誰もが誇りを持ち能力を発揮できるまちを築くため、ここに「優しい思いやりあふれる　人権尊重都市」を宣言します。

○地域みんなで子育て　未来っ子輝く都市宣言

平成22年2月25日

議決宣言

子どもたちが夢と希望を持ち、健やかに育つ社会を築くことは、力強く発展するまちづくりの礎です。

仕事と家庭のバランスをとりながら子どもを安心して産み育てられる社会を築くことは私たちの使命です。

私たち上田市民は、子どもたちの笑顔があふれ、親が子育てに喜びを実感できるよう家庭、学校、事業者、地域、行政みんなが手を携え、地域全体で子育て・子育ちを支えることができるまちを築くため、ここに「地域みんなで子育て　未来っ子輝く都市」を宣言します。

○魅力と出会いが紡ぐ　おもてなしの観光都市宣言

平成22年2月25日

議決宣言

上田市は、上田城に代表される真田氏の史跡や蚕都上田として栄えた歴史的な遺産と、豊かな温泉や美しい自然など多彩な魅力を持ち多くの観光客が訪れるまちです。

訪れた方が、魅力との出会い、人とのふれあいで感動とやすらぎを感じ、上田を楽しんでいただくことが市民の喜びです。

私たち上田市民は、訪れる方を大切なお客様として一人ひとりが温かく親切におもてなしすることで交流が深まり、私たち自身の心まで温かくなるまちを築くため、ここに「魅力と出会いが紡ぐ　おもてなしの観光都市」を宣言します。

○美しい自然と豊かな歴史に学ぶ　文化創造都市宣言

平成22年2月25日

議決宣言

上田市には、人々に様々な恵みを与えてきた豊かな自然があふれ、また、先人から継承された独自の文化や伝統、誇りある歴史が息づいています。

歴史と伝統を学び、これらを受け継いで新たな文化を創造していくことや、豊かな自然について学び、これを守っていくことは、私たちの使命です。

私たちが享受し、かつ創造する文化は、癒しと勇気を与え、生きる力をもたらし、まちの魅力と個性を作り出します。

私たち上田市民は、一人ひとりが担い手となり、美しい自然を守るため、そして誇りある歴史に学び、文化の薫るまちを築くため、ここに、「美しい自然と豊かな歴史に学ぶ　文化創造都市」を宣言します。

上田市教育大綱

1　上田市教育の基本理念

「燦（さん）と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」

ー基本理念に込める思いー

「燦（さん）と」は、上田市の「蚕都（サント）」の歴史、晴天の日が多い「燦々と輝く太陽（SUN（サン））の日差し」に因んでいます。この伝統に培われた、自然豊かな、暮らしやすい「ふるさと」をいつまでも愛し、誇りに思いながら、人と人の絆を大切に、夢・希望を持って未来への活力を生み出していく人づくりを目指します。

2　教育各分野の人づくり・地域づくりの方針及び目標

子ども・学校教育	◎方針 子どもの権利・利益を最優先に考え、子どもたちの将来の礎となる「生きる力」を育みます。 ＜人づくり＞ ・自ら考え、判断し課題を解決する力、自立する力を育みます。 ・人の痛みがわかる、思いやりの心を育みます。 ・物事に主体的に取り組む意欲や探究心を育みます。 ・グローバルな視野とふるさとを愛する心を育みます。 ・夢や希望を持って未来をたくましく切り拓く力を育みます。 ＜地域づくり＞ ・子どもたちの思いに寄り添いながら、子どもたちを社会の宝として地域ぐるみで育みます。

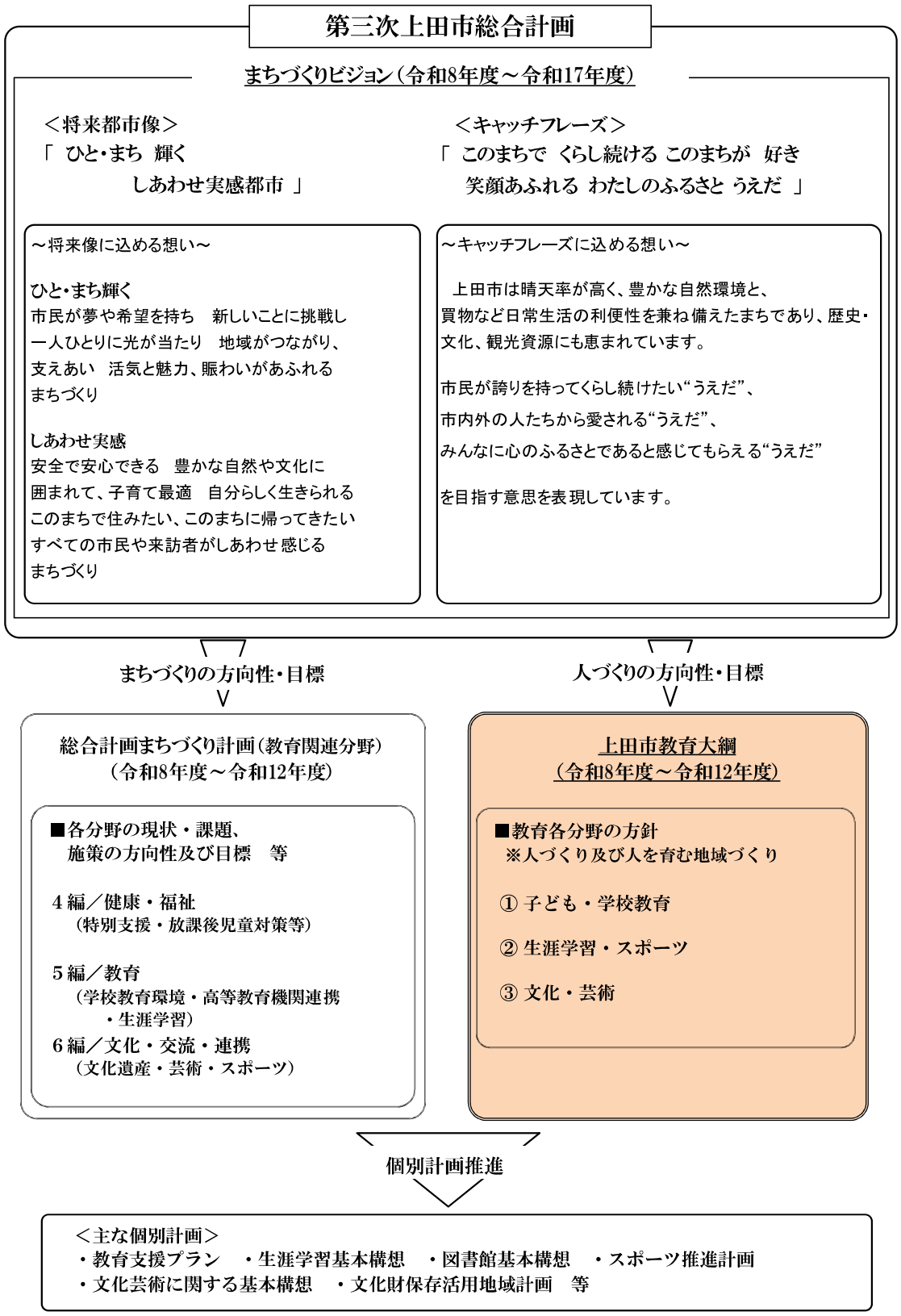
生涯学習・スポーツ	◎方針 生涯にわたる多様な学びや活動を応援します。 ＜人づくり＞ ・学びを通じて、郷土を愛し、地域づくりを担う人を応援します。 ・目的や生きがいを持ち、心身ともに健康で人生を楽しむ人を応援します。 ＜地域づくり＞ ・人と人のつながり、地域の連帯感や交流を育みます。 ・誰もが自分らしく活動できる地域の環境を育みます。 ・地域づくりにつながる、主体的な学びや活動を応援します。

文化・芸術	◎方針 文化の薫る創造都市を実現し、「ひと」、「まち」を育みます。 ＜人づくり＞ ・地域への愛着や誇りを育みます。 ・子どもたちの豊かな発想、感受性、創造力を育みます。 ・生活に潤い、感動、安らぎ、喜びが感じられる、豊かな人生を育みます。 ＜地域づくり＞ ・文化芸術の力により、人を惹きつけるまちの魅力を育みます。 ・地域の資源を生かして、誰もが主体的に関われる文化芸術環境を育みます。

３　期　間

令和８年度から令和 12 年度までの５年間
（第三次上田市総合計画前期まちづくり計画の期間）

＜参考：上田市教育大綱と他計画の関連図＞



目　　次

Ⅰ　概要

上田市の概要・・・・・・・・・・・・・・・2

Ⅱ　教育行政

教育委員会組織図・・・・・・・・・・・・・6
教育委員会の職員数・・・・・・・・・・・・7
教育委員会事務局事務分掌・・・・・・・・・8
教育関係予算・・・・・・・・・・・・・・・11

Ⅲ　学校教育

基本目標と基本施策・・・・・・・・・・・・14
市立学校一覧・・・・・・・・・・・・・・・15
教育目標・特色ある教育活動・・・・・・・・16
市立学校教職員数・・・・・・・・・・・・・33
小・中学校通学区域・・・・・・・・・・・・35
市立学校施設・・・・・・・・・・・・・・・37
市立学校学級数、児童・生徒数・・・・・・・43
児童・生徒の体位・・・・・・・・・・・・・45
中学校卒業者の進路状況・・・・・・・・・・45
情報教育・・・・・・・・・・・・・・・・・46
キャリア教育・・・・・・・・・・・・・・・49
地域とともにある学校づくり・・・・・・・・50
教育相談・児童生徒支援・・・・・・・・・・52
特別支援教育・・・・・・・・・・・・・・・54
就学援助制度・・・・・・・・・・・・・・・56
修学支援制度・・・・・・・・・・・・・・・58
学校給食・・・・・・・・・・・・・・・・・60
放課後児童対策・・・・・・・・・・・・・・63
市内の国・県・私立学校等・・・・・・・・・66

Ⅳ　社会教育

生涯学習・・・・・・・・・・・・・・・・・70
青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・71
人権同和教育・・・・・・・・・・・・・・・72
文化財・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・78
上田図書館・・・・・・・・・・・・・・・・83
上田情報ライブラリー・・・・・・・・・・・86
丸子図書館・・・・・・・・・・・・・・・・88
真田図書館・・・・・・・・・・・・・・・・91
博物館・・・・・・・・・・・・・・・・・・94
信濃国分寺資料館・・・・・・・・・・・・・96
丸子郷土博物館・・・・・・・・・・・・・・98
武石ともしび博物館・・・・・・・・・・・100
美術館・・・・・・・・・・・・・・・・・・102
市誌・町誌・村誌の刊行状況 ・・・・・・104
地域映像デジタルアーカイブ事業・・・・105
学校体育施設開放事業・・・・・・・・・・110
教育機関・・・・・・・・・・・・・・・・・111

Ⅴ　関係委員等名簿

市理事者 ・・・・・・・・・・・・・・・・114
市教育委員会委員 ・・・・・・・・・・・・114
市議会教育厚生委員会委員 ・・・・・・・114
学校教育関係 ・・・・・・・・・・・・・・115
社会教育関係 ・・・・・・・・・・・・・・116

Ⅰ　概　　要

上田市の概要

上田市は、平成１８年３月６日に上田市、丸子町、真田町、武石村が新設合併して誕生した、人口１５万人を擁する長野県東部の中核都市です。

「ひと・まち　輝く　しあわせ実感都市」を将来都市像に掲げ、「このまちでくらし続ける　このまちが好き　笑顔あふれる　わたしのふるさと　うえだ」をキャッチフレーズに、「市民が誇りをもってくらし続けたい“うえだ”」、「市内外の人たちから愛される“うえだ”」、「みんなに心のふるさとであると感じてもらえる“うえだ”」を目指しています。

１　市の沿革

旧４市町村の行政区画の変遷は次のとおりです。

旧上田市は、大正８年５月１日に市制が施行され、大正１０年城下村を編入、昭和２９年塩尻村、川辺村を、昭和３１年神川村、泉田村を編入しました。昭和３２年大字小泉（半過を除く）を分市しましたが、昭和３２年神科村を、昭和３３年豊殿村を編入し、昭和４５年には塩田町を、昭和４８年には川西村を編入しました。旧市制として８６年の歴史を持っています。

旧丸子町は、大正元年に誕生し、昭和２９年東内村、西内村を、昭和３０年長瀬村、依田村を、昭和３１年に塩川村を編入しました。旧町制として９４年の歴史を持っています。

旧真田町は、昭和３３年に長村、傍陽村、本原村の３村が合併して町制が施行され、以来４７年の歴史を持っています。

旧武石村は、明治２２年に沖村、鳥屋村、下武石村、上武石村、下本入村、上本入村、小沢根村、余里村の８村が合併し、以来１１８年の歴史を持っています。

２　市の位置

東京から約１９０キロメートル、北陸新幹線を利用すると最短で約８０分の距離です。避暑地として有名な軽井沢町からは約４０キロメートル、１９９８年冬季オリンピックの主会場となった長野市とも約４０キロメートルの位置にあります。

・市役所　東経　１３８度１５分　　北緯　３６度２４分　　海抜　４５６メートル
・総面積　５５２.０４平方キロメートル
・人　口　１５０，０３２人　　世帯数　７０，８２４戸　（令和８年４月１日現在）

３　気候

昼夜、冬夏の寒暑の差が大きい典型的な内陸性の気候です。晴天率が高く、年間の平均降水量が約９００ミリメートルと全国でも有数の少雨乾燥地帯です。積雪も、山間地以外の地域では、１０センチメートルを超えることはまれです。

一方、菅平高原は、夏の平均気温が東京の５月の気温であり、スイスを思わせる風景と相まって「日本のダボス」とも呼ばれる、大変さわやかな別天地です。

４　農業

少雨多照な気象条件を活かし、比較的標高の低い平坦地では、水稲、果樹、花きなどが、準高冷地では野菜や花き、高冷地では野菜を主力とした生産が行われています。真田地域（菅平高原地区）の「レタス」、上田地域の「トルコキキョウ」、丸子地域の「リンドウ」、武石地域の「ひめゆり」など地場農畜産物の産地化・ブランド化を推進しています。

５　工業

かつて「蚕都（さんと）」として、地域のリーディング産業であった蚕糸業（養蚕、蚕種、製糸）は大きな時代変化の中で衰退しましたが、蚕糸業で培われた技術的基盤や進取の精神は機械金属工業に受け継がれ、現在では輸送関連機器や精密電気機器などを中心とする製造業が地域経済を牽引しています。高度な技術を有する企業の集積が見られます。

製造品出荷額は６，０５８億円（令和５年）であり、県内屈指の工業地域です。

６　商業

総合的な都市機能を高め、活力あふれる賑わいと交流の拠点づくりを進めるため、上田駅周辺の再開発を行い、市街地の活性化と商業の振興を一体的に推進しています。

年間商品販売額は４，１７５億円（令和２年）であり、長野県東部地域の中核的な商都です。

７　観光

平成２８年に放送されたＮＨＫ大河ドラマ「真田丸」における登場人物である真田信繁（幸村）を輩出した真田氏発祥の地であり、父・真田昌幸が築城した上田城をはじめ真田氏ゆかりの史跡が点在しています。鎌倉時代に幕府の信濃守護職であった北条氏が居を構えた塩田平は「信州の鎌倉」といわれ、安楽寺の八角三重塔（国宝）などの歴史的建造物、史跡が残されています。その他にも、旧北国街道の町並み、この地に国府があったことを推測させる信濃国分寺などの史跡が数多くあります。

また、別所温泉、鹿教湯温泉、角間温泉、岳の湯温泉などの温泉、夏・冬のスポーツリゾート地である菅平高原、国定公園美ヶ原高原、千曲川などの豊かな自然を有しています。

これら観光資源が四季折々の多様な彩りで訪れる人を魅了しています。

８　友好都市、姉妹都市、災害時応援協定都市

⑴　国外

ア　友好都市　　・ブルームフィールド市郡（アメリカ合衆国コロラド州）
　　・寧波（ニンポー）市（中華人民共和国浙江省）

イ　姉妹都市　　・ダボス町（スイス連邦グラウビュンデン州）

⑵　国内

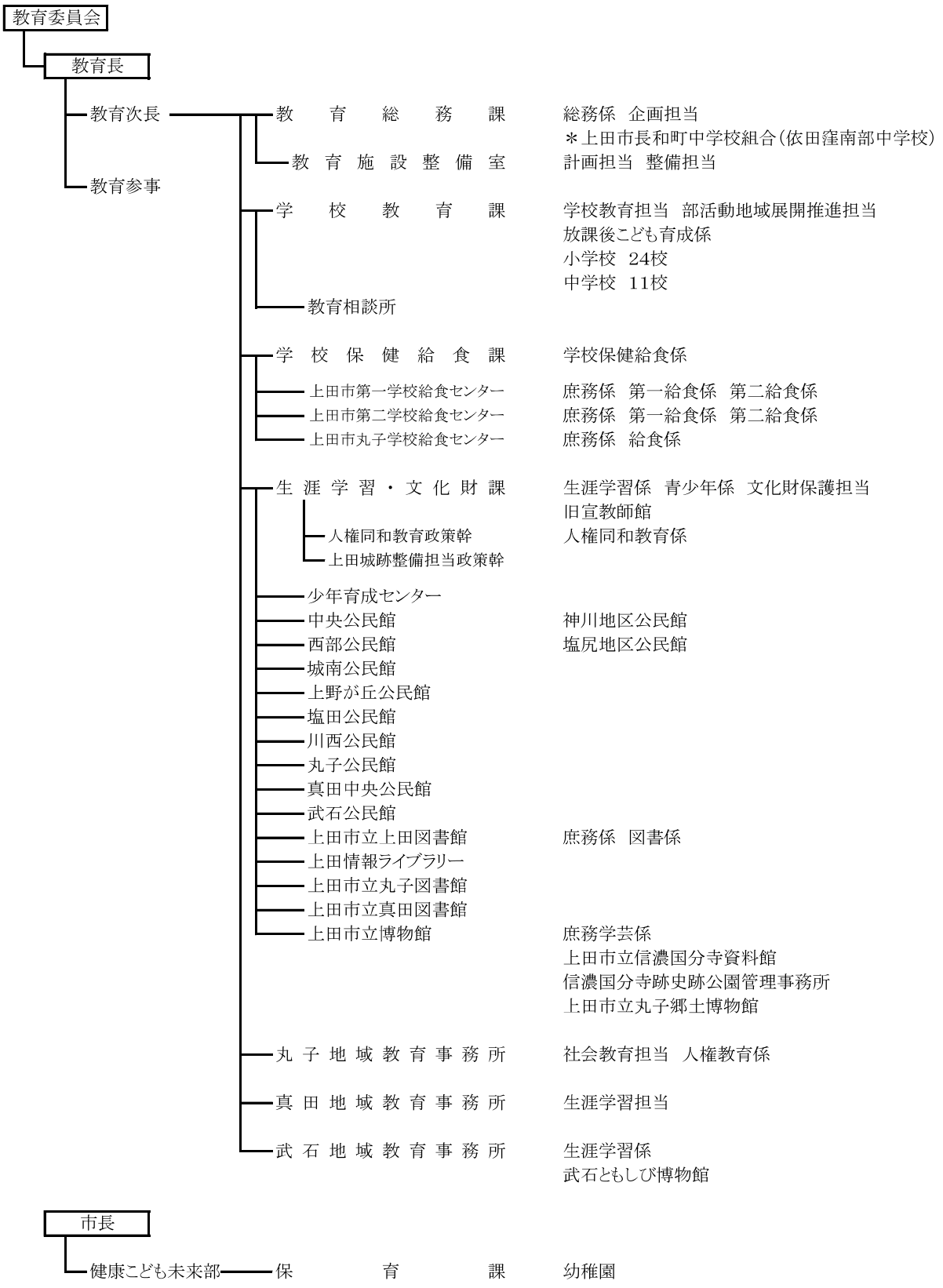
ア　姉妹都市、災害時応援協定都市
　・鎌倉市（神奈川県）　・上越市（新潟県）　・豊岡市（兵庫県）
　・九度山町（和歌山県）

イ　友好都市、災害時応援協定都市
　・練馬区（東京都）

ウ　災害時応援協定都市
　・上尾市（埼玉県）　・沼津市（静岡県）

Ⅱ　教育行政

教育委員会組織図


教育委員会
教育長
教育次長
教育参事
教育総務課
総務係 企画担当
＊上田市長和町中学校組合(依田窪南部中学校)
教育施設整備室
計画担当 整備担当
学校教育課
学校教育担当 部活動地域展開推進担当
放課後こども育成係
小学校 24校
中学校 11校
教育相談所
学校保健給食課
学校保健給食係
上田市第一学校給食センター
庶務係 第一給食係 第二給食係
上田市第二学校給食センター
庶務係 第一給食係 第二給食係
上田市丸子学校給食センター
庶務係 給食係
生涯学習・文化財課
生涯学習係 青少年係 文化財保護担当
旧宣教師館
人権同和教育政策幹
人権同和教育係
上田城跡整備担当政策幹
少年育成センター
中央公民館
神川地区公民館
西部公民館
塩尻地区公民館
城南公民館
上野が丘公民館
塩田公民館
川西公民館
丸子公民館
真田中央公民館
武石公民館
上田市立上田図書館
庶務係 図書係
上田情報ライブラリー
上田市立丸子図書館
上田市立真田図書館
上田市立博物館
庶務学芸係
上田市立信濃国分寺資料館
信濃国分寺跡史跡公園管理事務所
上田市立丸子郷土博物館
丸子地域教育事務所
社会教育担当 人権教育係
真田地域教育事務所
生涯学習担当
武石地域教育事務所
生涯学習係
武石ともしび博物館
市長
健康こども未来部
保育課
幼稚園

教育委員会の職員数

令和8年5月1日現在　単位:人

区分		部長	課長及び政策幹	課長補佐	係長	統括専門幹	担当幹	主査	主任	主事	小計	再任用(短時間勤務)	会計年度任用職員	小計	計
事務局職員	教育次長・教育参事	1									1		1	1	2
	教育総務課		1		1 (1)		(1)		1	1	4 (2)		1	1	5 (2)
	教育施設整備室		1	1	1				1	1	5	1	1	2	7
	学校教育課		1 (3)	4	3 (2)			3	2	2	15 (5)		18	18	33 (5)
	学校保健給食課		1		1			3	1	1	7		1	1	8
	生涯学習・文化財課		2 (1)	3	1			4	1	2	13 (1)		14	14	27 (1)
	丸子地域教育事務所		1	2 (1)				2	1	1	7 (1)		2	2	9 (1)
	真田地域教育事務所		1	2				1		1	5		2	2	7
	武石地域教育事務所		1	1					1		3				3
	小計	1	9 (4)	13 (1)	7 (3)		(1)	13	8	9	60 (9)	1	40	41	101 (9)
教育機関等職員	第一学校給食センター		1	1	2			6	6	2	18	3	18	21	39
	第二学校給食センター		1	1	2			8	9	2	23	3	30	33	56
	丸子学校給食センター		1	1	1			3	4		10	1	15	16	26
	小学校(24)							1	1		2		163	163	165
	中学校(11)												73	73	73
	幼稚園(1)			1				1	2	1	5		4	4	9
	教育相談所・中間教室		(1)		(1)						(2)		19	19	19 (2)
	少年育成センター		(1)	(1)						(1)	(3)		(2)	(2)	(5)
	中央公民館		1		1			1	(1)	1	4 (1)	(1)	4	4 (1)	8 (2)
	西部公民館		1	1		1					3	(1)	3	3 (1)	6 (1)
	城南公民館		1		(1)	(1)			(1)		1 (3)		3	3	4 (3)
	上野が丘公民館		1		1					1	3		3	3	6
	塩田公民館		1		(1)			(1)		(1)	1 (3)		2	2	3 (3)
	川西公民館		1		1				1		3		2	2	5
	丸子公民館		(1)	(1)				(2)	(1)	(1)	(6)		4	4	4 (6)
	真田中央公民館		(1)	(1)				(1)		(1)	(4)		1	1	1 (4)
	武石公民館		(1)	(1)					(1)		(3)		2	2	2 (3)
	上田図書館		1	2				1	1	2	7		16	16	23
	上田情報ライブラリー		1		1				1	1	4		9	9	13
	丸子図書館		(1)	1				1			2 (1)	1	11	12	14 (1)
	真田図書館		(1)	1							1 (1)		9	9	10 (1)
	博物館		1	1					1		3		10	10	13
	信濃国分寺資料館			1							1		3	3	4
	丸子郷土博物館			(1)					(1)	(1)	(3)		1 (1)	1 (1)	1 (4)
	信濃国分寺跡史跡公園管理事務所			(1)							(1)		(2)	(2)	(3)
	武石ともしび博物館											1	2	3	3
	小計		12 (7)	11 (6)	9 (3)	1 (1)		22 (4)	26 (5)	10 (5)	91 (31)	9 (2)	407 (5)	416 (7)	507 (38)
計		1	21 (11)	24 (7)	16 (6)	1 (2)		35 (4)	34 (5)	19 (5)	151 (40)	10 (2)	447 (5)	457 (7)	608 (47)

※　教育長は含まない。( )内は兼務職員で外数である。

教育委員会事務局事務分掌

教育総務課

(1)　教育委員会の招集及び議事に関すること。
(2)　教育委員会の施策の企画及び調整に関すること。
(3)　教育委員会規則の制定及び改廃に関すること。
(4)　教育委員会事務局、学校その他教育機関の職員に関すること。
(5)　高等学校及び各種学校の通学費等の補助に関すること。
(6)　奨学金に関すること。
(7)　教育に係る調査統計及び広報に関すること。
(8)　学校教育施設等の設置に関すること。
(9)　通学区域に関すること。
(10)　教育行政に関する相談に関すること。
(11)　上田市長和町中学校組合の議会及び教育委員会に関すること。
(12)　主管課として処理する事務に関すること。

教育施設整備室

(1)　学校施設の整備計画に関すること。
(2)　学校施設の整備、保全及び財産管理に関すること。
(3)　学校給食施設及びその他教育委員会に属する施設の整備に関すること。
(4)　教員住宅に関すること。

学校教育課

(1)　学校の経営及び教育方針に関すること。
(2)　教科書及び教育に関すること。
(3)　就学指導及び教育相談に関すること。
(4)　就学、転学及び学齢簿に関すること。
(5)　学級編制に関すること。
(6)　県費負担教職員に関すること。
(7)　学校の安全対策に関すること。
(8)　生活困窮児童・生徒の援助に関すること。
(9)　部活動の地域展開に関すること。
(10)　放課後児童対策に関すること。
(11)　放課後児童健全育成施設に関すること。
(12)　教育相談所との連絡調整に関すること。
(13)　上田市長和町中学校組合の学校運営に関すること。

学校保健給食課

(1)　学校の保健衛生に関すること。
(2)　学校給食及び給食費に関すること。
(3)　学校給食に係る企画及び調整に関すること。
(4)　学校給食施設の整備計画に関すること。

生涯学習・文化財課

(1)　生涯学習の総合計画及び振興に関すること。
(2)　生涯学習施設の整備計画及び管理運営に関すること。
(3)　青少年健全育成の総合計画及び推進に関すること。
(4)　公民館活動に関すること。
(5)　青少年団体の育成及び指導者養成に関すること。
(6)　少年育成センターの運営に関すること。
(7)　青少年教育相談に関すること。
(8)　人権同和教育の総合計画及び推進に関すること。
(9)　人権同和教育施設に関すること。
(10)　地域伝統文化の保護及び振興に関すること。
(11)　文化財の保護及び活用に関すること。
(12)　上田市立上田図書館、上田情報ライブラリー、上田市立丸子図書館、上田市立真田図書館及び上田市立博物館等との連絡調整に関すること。

丸子地域教育事務所

(1)　所管地域の生涯学習の推進に関すること。
(2)　所管地域の青少年健全育成に関すること。
(3)　所管地域の公民館活動に関すること。
(4)　所管地域の生涯学習施設に関すること。
(5)　所管地域の人権同和教育に関すること。
(6)　所管地域の人権同和教育施設に関すること。
(7)　所管地域の伝統文化の保護及び振興に関すること。
(8)　所管地域の文化財の保護及び活用に関すること。
(9)　所管地域の小・中学校の転入学に関すること。
(10)　所管地域の奨学金に関すること。

真田地域教育事務所

(1)　所管地域の生涯学習の推進に関すること。
(2)　所管地域の青少年健全育成に関すること。
(3)　所管地域の公民館活動に関すること。
(4)　所管地域の生涯学習施設に関すること。
(5)　所管地域の人権同和教育に関すること。
(6)　所管地域の人権同和教育施設に関すること。
(7)　所管地域の伝統文化の保護及び振興に関すること。
(8)　所管地域の文化財の保護及び活用に関すること。
(9)　所管地域の小・中学校の転入学に関すること。
(10)　所管地域の奨学金に関すること。

武石地域教育事務所

(1)　所管地域の生涯学習の推進に関すること。
(2)　所管地域の青少年健全育成に関すること。
(3)　所管地域の公民館活動に関すること。
(4)　所管地域の生涯学習施設に関すること。
(5)　所管地域の人権同和教育に関すること。
(6)　所管地域の人権同和教育施設に関すること。
(7)　所管地域の伝統文化の保護及び振興に関すること。
(8)　所管地域の文化財の保護及び活用に関すること。
(9)　上田市武石ともしび博物館の管理運営に関すること。
(10)　所管地域の小・中学校の転入学に関すること。

教育関係予算

1　令和8年度当初予算内訳

単位：千円

款	本年度(R8)予算額	構成比	前年度(R7)予算額	構成比	比　較
一般会計	76,357,000	100.0%	75,826,000	100.0%	531,000
議会費	369,723	0.5%	357,856	0.5%	11,867
総務費	9,078,078	11.9%	8,856,843	11.7%	221,235
民生費	29,062,151	38.1%	28,529,940	37.6%	532,211
衛生費	6,273,914	8.2%	5,844,582	7.7%	429,332
労働費	221,439	0.3%	189,843	0.2%	31,596
農林水産業費	2,747,801	3.6%	3,079,251	4.1%	△ 331,450
商工費	5,326,040	7.0%	5,498,400	7.3%	△ 172,360
土木費	7,278,613	9.5%	8,270,280	10.9%	△ 991,667
消防費	2,114,254	2.8%	2,130,042	2.8%	△ 15,788
教育費	6,909,188	9.0%	6,207,420	8.2%	701,768
公債費	6,875,799	9.0%	6,761,543	8.9%	114,256
予備費	100,000	0.1%	100,000	0.1%	0

2　教育費内訳

単位：千円

項	本年度(R8)予算額	構成比	前年度(R7)予算額	構成比	比　較
教育費	6,909,188	100.0%	6,207,420	100.0%	701,768
教育総務費	1,084,921	15.7%	1,165,292	18.8%	△ 80,371
小学校費	1,103,201	16.0%	1,108,600	17.9%	△ 5,399
中学校費	712,138	10.3%	797,824	12.9%	△ 85,686
幼稚園費	38,355	0.6%	139,471	2.2%	△ 101,116
社会教育費	1,220,837	17.6%	1,144,343	18.4%	76,494
保健体育費	2,749,736	39.8%	1,851,890	29.8%	897,846

Ⅲ　学校教育

基本目標と基本施策

市長部局と教育委員会の協議の場である総合教育会議において、「上田市教育大綱」及び同大綱が示す学校教育分野の実行計画として「第４期上田市教育支援プラン（計画期間：令和８年度から令和１２年度)」が策定されました。

第４期上田市教育支援プランでは上田市教育大綱の基本理念「燦(さん)と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」に込められた思いを受け、

○ 確かな学力と自ら学ぶ意欲の育成

○ 未来を切り拓く力の育成

○ 豊かな心と地域愛を育む学校づくり

これら３つの基本目標を掲げ、５つの基本施策と１３の支援策を掲げ支援を推進していきます。

基本施策		支援策	
1	確かな学力の育成と学習環境の整備	1	知識や技能の習得とともに、自ら考え課題を解決する力を育む授業づくりの推進
		2	自ら主体的に学ぶとともに仲間と協働して学ぶ児童生徒を育む授業改善の推進
		3	学習環境の整備
2	未来を切り拓く力の育成	4	ＩＣＴの進化やグローバル化社会への対応力の育成
		5	幼保小中高大の連携推進
		6	キャリア教育の推進
3	豊かな心と健やかな身体の育成	7	豊かな心を育む教育の推進
		8	健やかな身体の育成
		9	文化芸術、スポーツに親しむ機会の充実
4	多様性を包み込むすべての子どもに寄り添う支援	10	悩みを抱える児童生徒への支援
		11	多様性を尊重する教育の推進と特別な支援を要する児童生徒への支援
5	学校・家庭・地域の連携・協働により「生きる力」を育む	12	地域とともにある学校づくりの推進
		13	自然を愛し自然を守る教育の推進 災害や犯罪から自らを守る教育の推進

市立学校一覧

小学校

校　名	所　在　地	創立年月	電話番号	ホームページ
清　明	大手二丁目4番41号	昭和34年　4月	22-0804	https://www.ueda.ed.jp/seimei/
東	材木町一丁目10番13号	大正5年　4月	22-0105	https://www.ueda.ed.jp/higashi/
西	常磐城五丁目1番53号	明治6年　11月	22-0419	https://www.ueda.ed.jp/nishi/
北	中央北三丁目1番52号	昭和3年　10月	23-1621	https://www.ueda.ed.jp/kita/
城　下	諏訪形928番地2	明治6年　12月	23-0708	https://www.ueda.ed.jp/shiroshita/
塩　尻	上塩尻219番地	明治42年　4月	22-1904	https://www.ueda.ed.jp/shiojiri/
川　辺	上田原367番地	明治6年　12月	22-5008	https://www.ueda.ed.jp/kawabe/
神　川	国分1386番地	明治6年　11月	22-5302	https://www.ueda.ed.jp/kangawa/
神　科	住吉386番地1	明治32年　4月	22-0652	https://www.ueda.ed.jp/kamishina/
豊　殿	芳田968番地1	明治6年　12月	22-4004	https://www.ueda.ed.jp/houden/
東　塩　田	古安曽1113番地	明治6年　12月	38-2717	https://www.ueda.ed.jp/higashishioda/
中　塩　田	中野93番地	明治6年　12月	38-2515	https://www.ueda.ed.jp/nakashioda/
塩　田　西	山田476番地1	平成8年　4月	38-0900	https://www.ueda.ed.jp/shiodanishi/
浦　里	浦野237番地	明治6年　12月	31-2001	https://www.ueda.ed.jp/urasato/
川　西	仁古田508番地	昭和63年　4月	31-2014	https://www.ueda.ed.jp/kawanishi/
南	中之条485番地	昭和59年　4月	25-3721	https://www.ueda.ed.jp/minami/
丸子中央	上丸子824番地	昭和46年　4月	42-2112	https://www.ueda.ed.jp/marukoch/
丸　子　北	生田3556番地	昭和48年　4月	42-2424	https://www.ueda.ed.jp/marukoke/
塩　川	塩川1400番地	明治6年　11月	35-0070	https://www.ueda.ed.jp/shiogawa/
菅　平	菅平高原1223番地1419	昭和33年　4月	74-2014	https://www.ueda.ed.jp/sugadaira/
長	真田町長4200番地3	明治6年　11月	72-2012	https://www.ueda.ed.jp/osa/
傍　陽	真田町傍陽6035番地1	明治6年　12月	73-2312	https://www.ueda.ed.jp/soehi/
本　原	真田町本原2175番地1	明治22年　4月	72-2068	https://www.ueda.ed.jp/motohara/
武　石	上武石20番地	明治6年　11月	85-2013	https://www.ueda.ed.jp/takeshi/

中学校

第　一	国分200番地	昭和22年　4月	21-2680	https://www.ueda.ed.jp/ueda1/
第　二	大手一丁目1番45号	昭和22年　4月	22-0103	https://www.ueda.ed.jp/ueda2/
第　三	中央北三丁目3番62号	昭和22年　4月	22-1622	https://www.ueda.ed.jp/ueda3/
第　四	諏訪形1200番地 御所38番地（原峠分室）	昭和34年　4月	22-2753 27-3816 （原峠分室）	https://www.ueda.ed.jp/ueda4/
第　五	上野441番地	昭和36年　4月	22-3076	https://www.ueda.ed.jp/ueda5/
塩　田	中野377番地	昭和33年　5月	38-2501	https://www.ueda.ed.jp/shioda/
第　六	小泉21番地1	昭和63年　4月	22-5013	https://www.ueda.ed.jp/ueda6/
丸　子	上丸子1878番地	昭和22年　4月	42-2268	https://www.ueda.ed.jp/maruko/
丸　子　北	生田3298番地	昭和29年　4月	42-2445	https://www.ueda.ed.jp/marukokj/
菅　平	菅平高原1223番地1419	昭和33年　4月	74-2014	https://www.ueda.ed.jp/sugadaira/
真　田	真田町長6326番地1	昭和31年　4月	72-2023	https://www.ueda.ed.jp/sanada/
上田市長和町中学校組合立依田窪南部	下武石111番地	昭和31年　6月	85-2332	https://www.ueda.ed.jp/yodakubo/

市立認定こども園(幼稚園型)

ち　ぐ　さ	塩川2620番地	昭和45年　6月	35-0652

教育目標・特色ある教育活動

校名	教育目標・特色ある教育活動
清明小	教育目標　・・・　「清く明るく　豊かな心で　進んで学ぶ子ども」 ◎「自主の校風」・・・　自ら行動する子ども ○「神樹の心」　・・・　自分や友だちを大切にできる子ども ○「一心の道」　・・・　学び続ける子ども 特色ある教育活動　　・・・　「わくわくと希望が持てる来たくなる学校」 ◎ 豊かなかかわりやさまざまな体験を通して、自分で気づき、よく考えて自ら行動できる子どもの育成 【自主の校風】 ○ お互いに認め合う中で自分に自信を持ち、友とのかかわり合いを大切にして、共に学習や生活を楽しむことができる子どもの育成 【神樹の心（豊かさ）】 【他者意識の育成】　・気持ちが伝わるあいさつ「いつでも」「どこでも」「なんどでも」　・相手を慮る心 【主体的・協働的な活動の充実】　・互恵性のある交流活動　・集団としての合意形成 ・子ども同士のつながりを強くする、子ども主体の活動 ○ 自ら見つけた課題を、友と考えをつなぎ深め合いながら追究し、学び楽しさや高まりを実感できる子ども　【一心の道(学び)】 【学びを拓く】　・見て、触れて、感じる体験　・問いを見出し、自らの考えを持つ　・考えを伝え、つなぎ、深める 【学びの定着】　・「わかった！」「できた！」を積み重ねる学び　・自身の学びを深め、高める振り返り ・学ぶ習慣を身につけ、学ぶ楽しさを感じる家庭学習 【地域との関わり】　・「もの・ひと・こと」との豊かな関わり 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域の歴史、文化、自然等に目を向け、地域の「もの・人・こと」から学ぶ、ふるさと学習「神樹の時間」 ・1年：栽培活動　アサガオ染めランタン作り　・2年：自分たちで計画を立てた乗り物遠足　身近な素材で楽器作り ・3年：栽培活動を経て調理活動へ展開　防災学習から表現活動へ展開 ・4年：みそ造り（山辺糀店協賛）　ダンスコンクール参加に向けて表現活動 ・5年：年間を通した米作り体験と身近な地域の学びと社会科との横断的学習 ・6年生：上田城跡公園清掃の推進 ○ 全　校：さつまいもの栽培・収穫・ペア学年の交流活動 ○ 歌声の響く学校づくり、音楽会、合唱部のありがとうコンサートの開催
東小	教育目標　・・・　「よく気づき　よく考え　よく働き　進んで学ぶ子ども」 特色ある教育活動 ○「地域の皆さんと学ぶ」活動 ・中央公民館との連携 地域の方に外部講師を依頼して進めているクラブ活動（中央公民館もクラブの会場として利用） ・地域を題材とした総合的な学習 ○「地域に開く」活動 ・地域・保護者ボランティア(ひんがし応援隊)による支援(見守り隊・クラブ講師・読み聞かせ・遠足・登山・ミシン・花壇等) ・コミュニティルーム「カモ～ンひがしっ子タイム」の実施（子どもとボランティアさん、ボランティア同士がつながる場づくり） ・PTA主催の東小祭 ・気持ちの良いあいさつを通して、地域の方とのつながりを積極的に求めていくあいさつ運動の実施（通年） ○「心身のすこやかな成長を育む」活動 ・児童会を中心にあいさつ活動によるあいさつすることへの意識づけ、あいさつ運動の日常化 ・「時間いっぱい」「すみずみまで」「ひざつき」の清掃「みがきタイム」 ・運動と遊びの場の充実。実態に合った体力向上プランの作成と実施。なかよしタイム（わくわくデイ・あそびデイ） ・MIM(多層指導モデル)を取り入れた学習の推進 ○「仲間から学ぶ」活動 ・「憧れ・思いやり」が生まれる異学年交流、なかよし学級交流 ・よさやちがいを受け入れ，認め合える学級・学年・全校集団づくり ・集中日本語教室「虹のかけはし」との交流他文化を学ぶ活動 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 外部講師を招いての学習 ・地域を学ぶ学習 ○ クラブ活動 ・外部講師によるクラブ活動 ○ 学力向上事業（NRT学力テスト補助や学習プリント集等の購入補助、生活科・総合的な学習の時間の活動補助等に活用）
西小	教育目標　・・・　「かしこく　やさしく　たくましく」 大切にしたいこと ○「あいさつ」を大切に自ら進んで挨拶をし、他との関係性を積極的に構築していく、子どもたちの主体性を育むこと。 ○ わからない時に遠慮せず「教えて」と言え「教えて」と言われたら、自分のすべてを使って伝え、支えること。 ○ 互いの声に耳を傾け、聴き合い、教室に言葉が響き合うとともに、友と協働し、探求的な学びが深まること。 特色ある教育活動 ○ 人権教育・特別支援教育の充実 ・「あけぼの」を活用しながら人権教育の授業改善を進め、特に高学年では同和教育の推進に力を入れる。 ・通常学級におけるインクルーシブ教育を充実し、1年生のスムーズな小学校移行のための「スタートカリキュラム」を実施する。 ・すべての子どもたちが安心して学ぶことができるよう、いじめや差別のない学級を目指す。 ○「教えて」と言える友との関係づくり ・児童が、お互いの言葉を聴き合う関係につながり、それらの言葉が響き合う授業へと発展させる。 ・分からないことを恥ずかしいと思わず、安心して「教えて」と言える友との関係を、「協働的な学び」の土台とする。 ○ つながりを求める交流学習・ふるさと学習の充実

校名	教育目標・特色ある教育活動
西小 （つづき）	・「えがお集会」や「なかよしタイム」、「西小アドベンチャー」などの交流活動を推進する。 ・生活科や総合的な学習の時間に、積極的に校外に出て、ふるさとで学びを深める。 ○ 地域ボランティアによる学校支援 ・地域の方の教育活動への参画（クラブ活動講師・放課後学習室・園芸・清掃・米づくり・太郎山登山・読み聞かせ等） ・子どもと地域の安全を守る、地域の有志による「西小見守り隊」、PTA校外指導部との連携 ・CSルーム「かいまる～む」の開設（R8開設） ○ 教職員の指導力向上 ・麻布教育ラボ（東京）の村瀬公胤先生による、「学び合う授業研修」を年2回行い、日々の授業の改善に努める。 ・子どもの声に耳を傾ける教師が、ジャンプ課題（応用的な課題）を設定した授業を展開し、友と関り合いながらペアやグループで学習を深める。 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上に向けての取り組み ・学力分析・学力向上のための職員研修や放課後学習室での地域の方による学習支援の継続により、児童が分かる楽しさを感じながら、ねばり強く学習を進めた。 ○ 教職員の指導力向上に向けた取り組み ・「学び合う授業研修」により、教師が「教える」授業から、子どもたちが「考える」授業への授業改善を図った。 ・「友だちに聞いてみたら分かった」という経験から、教えたり教えられたり、意欲をもって授業に取り組む姿が増えた。 ○「身体みがき」の推進 ・運動不足や体力低下の解消を目指し、学級での身体みがきに取り組みながら、講師を招いて全校で「身体みがき集会」を開き、実技指導を受けたことにより、健康な体つくりを推進できた。 ○ ふるさと学習の推進 ・総合的な学習や生活科の時間に地域に出て学び、探究的な学習ができた。クラブ活動では地域の方を講師に招いた活動を行えた。 ・太郎山登山や高原学習、総合的な学習の時間での学習に地域の専門家を招いて指導していただくことにより、自らの疑問が解けたり、新たな知識を獲得したりすることができ、探求的な学びにつながった。 ○ 米づくりや野菜づくり、花壇や一人一鉢での花の栽培などキャリア教育につながる体験 ・学年畑での野菜づくりや園芸委員会による花壇での花づくり、一人一鉢での花や野菜の栽培を通して、継続して世話をする苦労や、収穫の喜び、きれいな花が咲いた時の達成感を味わうことができた。
北小	教育目標　・・・　「花とみどりと笑顔の学校」 〈学校経営ビジョン〉自分を大事に相手も大事にできる楽しい学校 〈めざす教師像〉学び続ける教師 特色ある教育活動 【よくふれあう】相手も大事に ○異年齢交流の充実：ペア学級や縦割りグループの活動を通して、社会性や協調性、思いやりを育成し 、豊かな成長につなげる。 ○北小あいさつ合言葉「いつでも どこでも ○○○」：自分も相手も大事に、信頼関係を築くあいさつが響きあう学校を目指す。 ○地域で学ぶ、地域と学ぶ：様々な教科やクラブ活動において、特色ある地域教材や地域の方々とともに学ぶことを通して、自分の生き方を考えることができる。 【よく学び】自分も大事に ○地域とともに創る探究的な学び：子どもの学ぶ意欲が高まる地域課題を教材化し、自分事として学び続ける生活・総合的な学習の時間。 ○子どもが主体的に学ぶ授業づくり：ペアやグループで関わり合いながら、安心感と目的意識のある授業を通して主体性を育む。 ○「チャレンジデー」の実施：週に1回家庭学習の内容を自分で「 計画・実行・振り返り 」 をすることで、自己決定力を高める。 【よく遊ぶ】楽しく ○ハッピータイムの充実：子どもたちが夢中になって体を動かしたり、友だちや先生と思い切り遊んだりすることを通して、 心身ともに健康な子どもたちの育成。 ○認め合い高め合う運動：～ニンニンワールド～・互いの良さを生かして協働する活動の充実を通して、児童の 協調性や自己肯定感を 高める。 ○心と体の学習：体力向上事業による体づくり運動や発達段階に応じた保健指導を通して、心と体の健康づくり。 《 誇りのもてる特色ある活動 》 ・「多様な他者との関わり」 外部講師によるクラブ活動 ・「花づくりを通した環境美化教育」みんなで育てるフラワーロード ・「職場体験学習」地域の職場で実施 ・「コミュニティスクール」北小応援団との連携（PTCA作業、救急救命講習会、大人の学び講座、避難所体験） ・「子どもを支えるPTA活動」北小まつり ・読み聞かせボランティア「このゆびとまれ」による読み聞かせ ○ 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ①フラワーロード花壇づくり体験活動 ②生活科・総合的な学習の時間の体験活動 ③地域の方を講師としたクラブ活動および体験活動 ④外部講師を招いての音楽指導 ⑤一人一台端末を生かした教育支援の研究
城下小	教育目標　・・・　「まなび　きたえ　ともにのびる子」～今を・未来を喜びをもって生きる子ども～ ○ 自ら求めて学び合う子ども（まなび） ○ 明るくたくましい子ども（きたえ） ○ 友や地域と関わり感じ合える子ども（ともにのびる子） 本年度の重点 ○ 自分から　つなげるあいさつ、つなげる学び、つなげるこころ ねっちゅう、ぼっとう、ひたむきに取り組む　城下っ子 特色ある教育活動

校名	教育目標・特色ある教育活動
城下小 （つづき）	○ 花、野菜、米作りや地域の自然を教材とした体験学習を通して、自然とふれあい、自然を大切にする心を育てる。 ○ 「あらわす（自分の考えを示す）」「はなす（自分の考えをもとに友と伝え合う）」「つなげる（自分と友との考えをむすびつける、既習事項をいかす）」ことを通して、「友と学び合い、自ら探究する授業」を展開する。 ○ 地域の講師から城下の歴史・産業・文化遺産について学んだり、学習やクラブ活動の支援をしていただいたりして、地域のよさを知り、ふるさとを愛する心を育てる。 ○ 全校でのマラソンタイムや体育集会に継続して取り組み、がんばる気持ちと体力の向上を図る。 ○ 学期ごとの教育相談や心のアンケートの実施を通して自己を振り返り、自他を大切にする心を醸成する。 ○ 児童会を中心に、笑顔で気持ちがよいあいさつが飛び交う学校、仲良し学級の交流をもとに、全校児童がふれあう学校をめざす。 ○ PTA主催の諸行事や地域の方々による「こすもすひろば」の中で、保護者・地域の方とのふれあいを楽しむ。 ○ 授業のユニバーサルデザイン化を推進する。 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 講師の支援による、「ふるさと城下」を学ぶ地域学習や楽しいクラブ活動・より広い知識を得られる学習活動 ○ 生活科や総合的な学習の教材や掲示物によるまとめ・発表 ○ 自然とふれあう栽培活動（米、草花、野菜） ○ 授業のユニバーサルデザイン化の推進 ○ 児童の交流活動にかかわる掲示物や教材 ○ 学力向上事業（CRT・Q-U検査・MIMデジタルおよび職員研修費）
塩尻小	教育目標 ○ 思いやりのある子ども ○ じょうぶな子ども ○ よく考える子ども ○ さいごまでやりぬく子ども 本年度の重点目標　「さあ、やってみよう　『なぜ』は宝物」 「探究するわたし」「つながるわたし」「行動するわたし」 特色ある教育活動 ○ 地域講師を招いてのクラブ活動・・・自然観察・体験、箏、イラスト漫画、けん玉・筒けん、習字 ○ 地域講師を招いての総合的な学習や生活科学習・・・養蚕（蚕種）、ホタルの幼虫飼育、ゆうすげの里でのアサギマダラ観察 地域学習　等 ○ 異学年、他校生との交流活動・・・なかよし学級（大縄大会、ペア給食）、全校児童の交流活動（全校体育、音楽・縦割り清掃） 塩尻保育園やあそびの森あきわとの交流など、異年齢の交流活動や二中校区(清明小、第二中)児童生徒との交流活動を積極的に進める。 ○ 開校記念集会・・・全校で開校記念の歌を歌い、本校の歴史を学ぶ。新しい伝統づくりを全校児童と職員で進める。 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 花づくり委員会を中心に、学校花壇の整備や一人一鉢の花づくりで、年間を通して花を育てる活動に取り組んだ。 ○ 地域の人材を活用したクラブ活動の充実・・・地域講師を招き、活動費や謝礼として活用 ○ 地域の人材を活用した総合的な学習や生活科学習・・・養蚕、「ゆうすげの里」での自然体験、アサギマダラ観察、野菜づくり、1年筒けん体験、3年地域探検学習、5年高原学習での自然観察学習、3～6年生で探求の時間「じっくりタイム」の実施。 ○ 安心して学習できる学級づくりのためのQ-U検査 ○ CRT、NRTの学力検査を実施し、各学年の傾向を把握し、授業改善を図る。 ○ 児童の学力定着を支える補助教材の購入
川辺小	教育目標　「たくましく　かしこい子どもの育成」 ○ 深く考え取り組む子ども［知］・・・・・・　かんがえよう ○ 思いやりのある子ども［徳］・・・・・・・・　つながろう ○ 健康でがんばりのきく子ども［体］・・・　やりぬこう 本年度の重点　　合言葉「さぁ、つながろう！」　「互いに認め合える、居心地のよい学校づくり」 特色ある教育活動 ○ 一人ひとりの子どもの「よさ」に目を向け、「学びのユニバーサルデザイン化（川辺小スタンダード）」を目指した授業づくり 「目で見て　はっきり　あたたかく」 視覚的、具体的、肯定的 ○ 川辺小コミュニティスクールを中核とした地域との連携 多くの外部講師から学ぶことのできるクラブ活動（上田原合戦太鼓、けん玉） 読み聞かせボランティア「やきいもころりん」の皆さんによる読み聞かせ 学校田での米作り学習・伝統文化に触れるしめ縄づくり ○ 地域の自然や文化を生かした学習・体験活動 校内に設置されている「川辺泉田地域歴史資料館」を活用した学習 地域の方による歴史講演会と太鼓演奏の鑑賞 地域探検（社会見学）、川辺の歴史調べ等 地域文化学習として「上田原合戦太鼓保存会」の方から太鼓を学ぶ コミュニティルーム「わくわく交流会」の実施（子どもと地域の方、地域の方同士がつながる場づくり） ○ 仲よし会（児童会）による縦割りペアでの集会、友遊学級でのふれ合い活動など 全校児童がなかよく関わりを深め合う活動 ○ 様々な人との交流 福祉施設との交流、保育園との交流、特別支援学校との交流 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域探検・・・ひと・こと・ものとの出会い ○ 栽培活動・・・さつまいも、大豆、玉ねぎ、ジャガイモ、ナス、ピーマン等、多様な野菜作り ○ 米づくり・・・・・地域講師による米づくり学習、収穫祭、伝統に触れるしめ縄づくり ○ 花づくり・・・・・児童会や全校児童による花づくり ○ クラブ活動・・・地域の達人に学ぶ

校名	教育目標・特色ある教育活動
神川小	教育目標・・・　考える子　心の美しい子　たくましい子 目指す学校像・・・子どもも職員も保護者も地域の方々も、喜びややりがいを感じながら生き生きと活動する学校 スローガン・・・『生き生きと、自分らしく輝く』 多様性を包み込み、一人一人が主役になれる学校～違いを認め合い、誰もが安心して自分の力を発揮できる学校づくりの推進～ 基本理念・・・【共生】安心と活躍の環境づくり 【主体】対話と自己決定のプロセスの伴走 【専門性】特別支援教育の視点による個に応じた支援 校訓・・・自分が感じたものが尊い　そこから種々の仕事が生まれてくるものでなければならない （山本　鼎） 特色ある教育活動 ○ 生き生きと考える【知】 『問い』をもって追究する子　対話で考えを深める子　自分に合った学び方を調整できる子　粘り強く追究する子 ・子どもの『問い』に発する授業の創造 ・考えを交流し合う場の設定 ・個別最適な学びの保障（授業のUD化） ・ICTの効果的な活用 ○ 生き生きと心を磨く【徳】 友だちや地域の方とどんどんかかわる子　心のつながりを大切にする子　相手のことを理解しようとする子　多様な仲間と学び合える子 ・異学年や地域の方々と豊かにかかわる場の設定 ・主体的なあいさつ運動の展開 ・多様な学びを理解する場の設定 ○ 生き生きと身体を鍛える【体】 運動の楽しさを感じられる子　生活の中に運動を見いだせる子　自分にあった運動のかかわり方を選べる子　心身の健康を自分で整えようとする子 ・体育学習の充実 ・運動の「見える化」の実施 ・生活の中の運動に気づける場の設定 ・心身の健康との関係性を踏まえたメディアコントロールの確立 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○地域講師を活用した学習活動 地域講師を招き、しめ縄づくり、蚕学習、信濃国分寺学習、山本鼎学習など、地域文化や歴史に触れる体験的な学習を行った。 ○栽培活動・生活科・総合的な学習の時間の充実 サツマイモ・野菜・花苗などを購入し、栽培活動を実施。しめ縄材料や精米代金、収穫祭用品を整備し、地域の農業文化に触れる学習を行った。 ○地域文化・芸術に触れる活動 尾澤木彫美術館の見学料や、しおり・布小物制作の材料を整備し、地域の文化や芸術に触れる学習活動を充実させた。 ○地域や児童の交流 ボランティアルーム用のシャボン液、折り紙本、あやとり本を整備し交流活動を充実させた。
神科小	教育目標　　「笑顔輝く　楽しい学校」　○やさしさ　○かしこさ　○たくましさ ○ 自分を大事にできる子　相手も大事にできる子 特色ある教育活動 ○ 人・こと・ものを協働的に学ぶ総合・生活科・特別活動の充実　【他者と関わる力を育む】 ・総合や生活科を軸として学年や学級の文化を育てる ・地域のよさを生かし、人・こと・ものとの出会いから、体験を通した学びの場を設ける ・お互いの良さや特徴を認め合う交流「なかよし学級」「ふれあい・ひまわり学級」「のびのびタイム」、児童会とリンクした活動、「お助けっ十隊」さんと交流 ○ 自ら探究的に学習し発信する取組　　【学びに向かう力を育む】 ・教科担任制による「分かる・できる」授業づくり ・朝のドリル時間や読書の充実で集中力、聞く力のアップ ・探究的（課題設定→情報収集→整理分析→まとめ発信）な学習への取組 ○ 体力・自律心の向上を図り、教師も子どもも地域と共にチャレンジ　【挑戦する力を育む】 ・決まりを守れる自分（自律）、高学年の良い行動を手本にしていく伝統の継承 ・地域の方との交流や、玄蕃山などの地域の自然を生かした活動の充実 ・音楽や芸術を楽しめる豊かな心や感性を醸成(金管・合唱クラブ) ・お助けっ十ルームにおける遊びや運動による交流活動　開かれた楽しい学校づくり ・神科っ子ふれあい隊（見守り隊）による登下校や休日の見守り、安全点検等の安全支援 ・個別の指導計画作成研修と活用、Q-U検査を活用した学級づくり 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上に向けて、児童個々が自分の力をのびのびと発揮できる学級づくりのためのQ-U検査の実施と活用 ・2年生以上でのQ-U検査の実施と、診断結果を用いた指導支援のための研修を実施 ○ 総合的な学習の時間、生活科への材料・教材等への支援 ・5年生の米づくりと餅づくり、地域講師と一緒に案山子づくり等の活動 ・3・4年は、様々な野菜を種から育てる栽培活動の実施 ○ 5年生が、地域自治会とともに歩んだ玄蕃山夢プロジェクト「ツツジ1000本プロジェクト」などに協力 ○ 総合的な学習の時間における講師招聘 ・6年、地域の方を講師として招き、農民美術を学んで木彫に挑戦 ○ お助けっ十隊（ボランティア）との活動 ・1・2年生はサツマイモ等を栽培し、秋には地域ボランティアのお助けっ十隊の皆さんと焼いも大会。 ・お助けっ十隊の協力・指導をいただいて畑での栽培活動 ○ PTAと子どもたちで創り上げる神科小まつり ・子どもたちの得意やよさを活かした神科小まつり　ふれあい・ひまわり学級・学年での販売活動

校名	教育目標・特色ある教育活動
豊殿小	教育目標　・・・　「心豊かで向上心を持ち実践力のある子どもの育成」 目指す子ども像　「あ・た・り・ま・え」のことがあたりまえにできる子 「あ」いさつ　「た」いりょく　「り」こう　「ま」じめ　「え」がお 特色ある教育活動　・・・　「学びづくり　・　心づくり　・　体づくり」 ○ 学びづくり　・・・子どもが主語の授業を実現 1 自他の考えを理解し合える聴き方・話し方 ・聴き方・話し方のルールづくり ・聴きたくなる・話したくなる授業づくり ・金曜日の朝の時間での対話をしながらの作品鑑賞 2 主体的に学ぶ子どもの育成につながる活動 ・「つながりタイム」「つながりプログラム」の実践 3 基礎的な学力の育成 ・火曜日・木曜日の朝の時間でのドリル学習 4 豊殿の宝を活用した探究的な学びの創造 5 成長を実感する振り返りの充実 ○ 心づくり　・・・多様性に触れ違いを認め合える人間の形成 1 気遣い、助け合い、励まし合い、感謝の伝え合いを大切にした場の設定 2 縦割りの活動の充実 3 自分のよさに気付く活動 4 伝え合い、相互に認め合う活動 5 朝の時間の最初にクラスの歌を歌う活動、クラスの歌のレパートリーを増やしていく活動 6 豊殿小お掃除マイスターへの道（効率的な掃除について考え実行する） 7 社会の様々な立場の方との交流 ○ 体づくり　・・・健やかな身体の形成 1 健康な身体づくりを目指した身体みがき　理学療法士との運動 2 全校マラソンで走行距離を伸ばして校章をつくる活動 3 食育・メディア教育の実施 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上に向けての授業改善・学習環境づくり ・個々の児童の基礎的な学力の伸長を目指し、CRTを活用した授業改善 ・落ち着いて学習できる環境づくり（花壇・鉢植えづくり等）、他者理解や他者への思いやりの心を育む 縦割り活動や他の学年との活動の実施（キッズ体験デー等） ○ 地域の資源を活用し、地域で地域を学ぶ学習 ・棚田での米作りに関する講師の依頼 ・棚田と共にある自然（昆虫や小動物、水、植物）に関する講師の依頼
東塩田小	教育目標 ○「かしこく」・・ ○学力の向上 ・自ら問いをもって考え学べる子 ・友と学び合い、適切に判断し、行動できる子 ○「やさしく」・・ ○よりよい集団作り ・自分との違いを認め、相手意識に立てる子 ・ありがとうもごめんねも素直に言える子 ○「たくましく」・ ○心力と体力の増進 ・自分の体を知り、主体的に体力づくり・生活習慣の改善に取り組む子 学校運営の重点「自ら考え・動く」 教育目標具現のため教職員・児童と共有 特色ある教育活動 ○「かしこく」 ○ユニバーサルデザイン化と考え動く授業 ・重点研究として授業のユニバーサルデザイン化の推進 ・問いを創出する授業づくりと個の学びに寄り添う授業研究 ・地域と連携した総合的な学習の時間・生活科で学ぶ喜びと探求の愉しさを体感 ○「やさしく」 ○安心安全の関係づくり ・児童理解と教育相談の充実 ・他者の意見を肯定的に捉え表現する対話的朝鑑賞の充実 ・協働的な活動の中で解決策・合意策を見いだす集団作り ・人権同和教育の推進 ○「たくましく」 ○「身体みがき」「心みがき」 ・個の心身の育ちに寄り添ったアプローチ ・児童会等、児童主体の「やりたい」の実現と「より楽しく」の創造 ・給食指導の習慣化と、健康と食に関する指導の充実 ○「その他」 取り組みを支える職員研修、地域との連携 ・授業のUD化授業改善研修 ・非違行為の根絶研修 ・地域講師の積極的依頼 ・「安曽岡会」との連携 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ・ 外部講師によるクラブ活動（生け花など）

校名	教育目標・特色ある教育活動
東塩田小 （つづき）	・「コミュニティスクール」との連携（行間休みでの遊びの多様化） ・ 読み聞かせボランティア「こんぺいとう」による読み聞かせ ・ 英語、体育などの学習支援
中塩田小	教育目標 ○「よく考え、工夫する子ども」 ○「人やものにやさしい子ども」 ○「進んで取り組み、やりぬく子ども」 特色ある教育活動 ○ 月2回のボランティアと児童との交流活動。ボランティアによる1年生への給食、清掃指導。 ○ 飼育栽培活動などを通して、生命（いのち）の大切さを学ぶ。 ○「朝の活動」の時間を利用した諸活動の充実（毎日8：25～8：40） ・チャレンジタイムの実施（学習支援ボランティアの協力（○付け）を得て、基礎基本の定着や個の学びを育てる学習活動）や「家庭学習の手引き」を活用しながら、家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。 ・体力向上を目的とした年2回の「マラソン月間」の実施 ・地域の読み聞かせボランティア「ちちんぷい」の皆さんによる読み聞かせ活動を通して、読書への意欲を高める。 ○ カンナ（学校のシンボル：4年生）の栽培や盈進農園での野菜作り、盈進池における環境教育など自然との関わり、飼育栽培活動などを通して、生命（いのち）の大切さを学ぶ。 ○ 学習支援ボランティアによる、1・2年生への外国語学習の実施 ○ 縄跳びやマラソン等の運動を根気強く継続して取り組むことを通して、課題である敏捷性と持久力を高める。 ○ PTA主催の「盈進祭り」や保育園・幼稚園・福祉施設との交流を通して、人との関わりを大切にした教育活動を行う。 ○「授業のUD（ユニバーサルデザイン）化」を意識した授業づくりや職員研修を推進していく。 ○ MIM（多層指導モデル）を取り入れた学習の推進（1～6年） ○ 児童1人1台端末を活用したICT授業の推進 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ カンナ（学校のシンボル花：4年）をはじめとした様々な花の栽培、盈進農園での野菜の栽培活動及び収穫祭 ○ ヒツジ、小動物の飼育活動を中核に据えたいのちの学習（全校） ○ 地域に根ざした総合的な学習（5年：米づくり、2年:味噌づくり等） ○ いのちの学習（助産師さんを講師に迎えて6年生出前学習の実施） ○ 朝日小学生新聞の購読 ○ 学習支援ボランティアによる低学年への外国語指導（国際理解教育） ○ 読み聞かせボランティアによる本に親しむ活動（全クラスでの読み聞かせ）
塩田西小	教育目標 かしこく　やさしく　たくましく　「やってみたい」から始める塩田西小 ○ かしこく・・・自分の力を発揮しながら主体的に追究する子ども ○ やさしく・・・自分も友だちも大切にする子ども ○ たくましく・・・心と体を鍛え、安全・安心で楽しい学校を創り出す子ども 特色ある教育活動 ○ 地域のひと・もの・ことに関わりながら探究的に取り組む「ふるさと学習」の推進 ＜全校＞ 1　みどりの少年団活動を通して、身近な環境についての関心を高め、環境保全を実践する。 2　本校南側前方（徒歩2分）の私有林を整備して学校林「ゆめの森」として活用する。 ＜各学年＞ 1年：自然となかよし 「ゆめの森であそぼう」 2年：育てよう 野菜や動物 「大豆を育てて発展学習へ」「ウサギの飼育」 3年：塩田の宝 「地域探検」　交流活動「すぐりの収穫（さくら国際高校）」 4年：塩田の宝 「ため池学習」 森とのかかわり「シイタケ栽培」 みどりの少年団「交流集会」 長野大学と連携し苗木を育て被災地を支援する活動「たねぷろじぇくと」 5年：塩田平の農業 「米作り、収穫祭」 6年：塩田平の文化 「コカリナ作りと演奏」「地域の歴史・地質」 ○ 授業力を高める重点研究 「目をかがやかせ、自ら学ぶ子どもと教師」 ・子どもと教師の「やってみたい」から始めよう ・UD化をベースとした授業改善 ・安心して活動に参加できる雰囲気づくり 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 各学年ふるさと学習 1年：自然となかよし 「ゆめの森であそぼう」 2年：育てよう 野菜や動物 「大豆を育てて豆腐や味噌を作ろう」「ウサギの飼育」 3年：塩田の宝　「地域探検」「さくら国際高校との交流」 4年：塩田の宝「シイタケ栽培」「たねぷろじぇくと」 5年：塩田平の農業 「米作り、収穫祭」 6年：塩田平の文化 「コカリナ作りと演奏」「地域の歴史探検　地域の地質」 ○ 学びのUD化の視点を生かした授業改善
浦里小	教育目標　・・・　「自分のよさを切り拓く子ども」 本年度の重点・・・「他者とのつながりの中で『やってみよう』と『それもいいね』が響き合う、浦里小の学び作り」 ～『やってみよう』を生み出す学習過程の工夫と、安心できる『人間関係づくり』を通して～ 特色ある教育活動 ○ やってみよう

校名	教育目標・特色ある教育活動
浦里小 （つづき）	①『やってみよう』を生み出す学習過程の工夫 ②子どもから発信する活動（児童会活動、浦里小をもっとよくする作戦会議、ふるさと学習） ③ふるさとに学ぶ（素材の掘り起こし、職場体験、地域を知り、関わり、問題を解決する　ふるさと学習発表会） ④教科等支援ボランティアの活用（お助け隊） ⑤意義を感じやりがいのある家庭学習 ⑥健康・運動の日常化 （朝マラソンの継続、地域講師を招いての体みがき、栄養士や助産師さんによる健康教育・性教育の充実） ⑦コミュニティスクール実践目標への取り組み（一秒の言葉から　関わりを増やす・広げる） ○ それもいいね ①多様な人間関係の経験 （連学年授業、児童会「遊びの日」・うらさとスマイルタイム、地域・長大生との交流、遠隔授業） ②適切なコミュニケーション能力の育成（学校保健委員会） ③地域や家庭との連携の深化 ④一人一人が安心できる居場所づくり（聴く・受けとめる、相談週間、自分を見つめるアンケート、個別の指導計画作成） ⑤うるおいのある環境の維持（校舎を大切にする日など地域の方と共に作業する機会の設定、花いっぱいの学校） ⑥自己有用感を育てる（清掃活動・児童会活動・学級活動・当番活動） 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上事業（デジタル教科書、音楽指導、教材購入） ○ お助け隊・地域の方との活動（郷土食作り、こまゆみ教室材料費他） ○ 栽培飼育活動（ひまわり迷路、カモ、蚕、リンゴ他）
川西小	教育目標　「自ら考え　ともに高め合い　かがやく子」 令和8年度重点目標　〈　自分を超える　〉 めざす学校像　1　子どもが主人公の学校　～学力向上・授業改善～ 2　誰もが輝ける学校　～あいさつ向上・人権教育～ 3　誰もが安らげる学校～不登校・不適応支援～ 「か」　からだをきたえ　元気よく　毎日を過ごそう　・・・進んで体を鍛え、明るく、元気よく活動する子（体） 「わ」　わかるまで　ねばり強く　考えよう　・・・自らねばり強く考え、課題を解決しようとする子（知） 「に」　にこにこ笑顔とあいさつで　仲よくしよう　・・・笑顔とあいさつを大切にし、友だちと協力し合える子（情） 「し」　じぶんから　何事も　進んでやろう　・・・自分で考え、進んで物事に取り組む子（意） 特色ある教育活動 ○ 子どもたちの問いから始まりさらなる問いにつながる授業づくり。 ○ 確かな教材研究を行い、一人一人の学びに合った授業を展開する。 ○ 学校運営協議会・PTA・川西公民館・地域ボランティアとの連携を深め、地域と共に、楽しい学校づくりを図る。 ○ 児童会であいさつ活動を行い、信頼関係の構築、自己肯定感の向上をめざす。 ○ 保育園や福祉施設との交流活動や、認知症サポーター講座を通し適切に他者と関わる力を育むと共に、やさしさに満ち自発性のある子どもの育成をめざす。 ○ 「すき」や「得意」を発表するじぶこえ集会、児童会主体の川西小まつりなど子どもたちの願いを大切にした活動を行う。 ○ 「シャボン玉」による読み聞かせ、室賀川での川遊び、焼き芋会や稲作りなどの農業体験をはじめ、課外クラブ（金管）、チョウの飼育活動、授業支援等、地域の方と触れ合いながら、地域の方々と共に創り出す活動を展開する。 ○ メディアの活用と共に、情報モラルについても考え、メディアコントロールデーの設定などで家庭と共に適切な関わり方を考えていく。 ○ どの子も安心して学べる学校となるよう、校内支援教室を設けるなど、多様な居場所を確保する。 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域との連携事業(総合的な学習の時間や教科等での講師および教材費） ○ 栽培活動事業(花壇および理科園における野菜づくりや栽培活動のための土・苗・肥料代等） ○ 学力向上事業（CRT・デジタル教科書の導入・MIM等の補助および職員研修費）
南小	教育目標　・・・　「つよく　ただしく　あたたかく」 ○ つよく　→【どんどん磨き合い】「根気よく取り組み、がんばりぬく子ども」 ①気づき清掃の推進 ②体力や健康への意識を高める ③望ましい生活習慣の育成 ○ ただしく　→【自分の考えをもち　表現し合う南っ子】「”わかる”授業づくりにより、自分で決めて学びに向かう子ども」 ①インクルーシブな視点での授業改善 ②授業の3観点を意識した授業づくり ③「考える・聴き合う・伝え合う」活動の重視 ④子どもと創り出す探究的な学習の充実 ⑤チーム支援体制の構築 ○ あたたかく　→【にこにこ響き合い】「多様性を認め合い、思いやりのある子ども」 ①道徳・人権教育・特別支援教育の充実 ②あいさつ・歌声の充実 ③児童会を中心とした学校生活・交流活動の充実 ④自己肯定感向上に向けた取組の充実 特色ある教育活動 ○ 「根気よく取り組み、がんばりぬく子ども」「”わかる”授業づくりにより、自分で決めて学びに向かう子ども」「多様性を認め合い、思いやりのある子ども」に重点を置いた教育活動の推進 ○ インクルーシブな観点での授業改善→テーマ別グループによる授業改善 ○ 保護者・地域の方との連携を図った教育の推進 ・地域の講師による学習　・学校支援ボランティアとの連携 ・地域・PTAから学ぶ「みなみチャレンジ教室」　・外部講師から学ぶクラブ活動の実施 ・地域の施設（御所苑、しいのみ園）や幼稚園、保育園、中学校との交流活動

校名	教育目標・特色ある教育活動
南小 （つづき）	○ 仲間と心を合わせて歌声を響かせあう学校 ○ 兄弟学級や縦割り活動の充実による認め合える仲間づくり ○ あおぞら・たいよう学級・ことばの教室・まなびの教室・日本語教室・心の相談室・保健室と学級がつながり合う支援や共通理解 ○ 先生交流・合同授業・部分教科担任制などによるチーム支援体制の推進 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 1年「みんなで育てて収穫しよう」「季節の行事を楽しもう」 ○ 2年「生き物を育てよう」「野菜を育てて収穫しよう」 ○ 3年「冬のスポーツ・スケートを楽しもう」 ○ 4年「冬のスポーツ・スケートを楽しもう」 ○ 5年「冬のスポーツ・スキーに親しもう」 ○ 6年「冬のスポーツ・スキーに親しもう」 ○ 特支「親子で楽しもう」「みんなで育てて収穫しよう」「世界にひとつの作品を作ろう」 ○ 児童会みどり委員会「花いっぱいの学校づくり（花とみどりがあふれる学校にしよう）」 ○ クラブ「いろいろな種目に挑戦しよう」 ○ デジタルMIMの活用 ○ Q-U検査、認知能力検査の実施と分析
丸子中央小	教育目標　・・・　「かしこく　やさしく　ひたむきに」～知恵・思いやり・ねばり～ 特色ある教育活動～早く行きたくなる学校～ ○かしこく[知恵]考え合う愉しさ ・子ども自らが考え合い、友と学び合う授業づくりや自主学習の推進 ・全学級ができるようになる「5つのやくそく」 聞く　考える　調べる　伝える　ふりかえる ・授業中に考えを書き、声にし、必然性のある対話学習の推進 ・地域社会をテーマとした総合的な学習の時間や教科学習の充実 ・授業のUD化・ICTの活用・発展学習などで子ども自らが考え合い、友と学び合う授業づくりを目指す ○ やさしく[思いやり]プラスの言葉・行動 ・場に応じた明るいあいさつや返事の日常化（あいさつ旬間、連合婦人会・丸子中学校とのあいさつ運動等） ・多様性を認め合う道徳、人権同和教育の実践や交流活動の実施 ・インクルーシブ教育の充実や個を大事にしたチーム支援 ・心を一つにした歌声が響く学校づくり ○ひたむきに[ねばり]やり続ける粘り強さ ・「体みがき体操」「マラソンクラスマッチ」で心身を鍛えたり学習に臨む姿勢を整えたりする ・時間いっぱい一人で向き合う清掃活動 ・メディアコントロール・チャレンジ週間（まるっこ学習週間）を活用し、睡眠・メディアとの付き合い・家庭学習など、家庭と連携し、自立の芽を伸ばす ○ 丸子中央小と西内小の文化をつなげる取り組み　～小中9年間の見通しを持った学びの中で～ ・西内小のよさを活かした活動の工夫（登り窯、陶芸クラブ、西内小の施設利用等） ○ 地域との交流活動 ・米作りや食育、福祉活動等を通した丸子修学館高校との交流　地域の方との野菜の栽培　保育園との交流 ・学校支援ボランティアとの教育活動 ・コミュニティルームでの遊びを通した学びの活動 ・読み聞かせボランティアによる読み聞かせ活動 ・地域の事業所と連携した野菜作り等の体験活動 ・多才な地域講師によるクラブ活動の運営 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学校教育目標具現に向けて、児童理解を深め、特色を生かす教育への取組（CRT・NINO、職員研修） ○ 地域ボランティア（まるっこ応援隊）との交流及び豊かな体験活動 ○ 両校の文化を未来へつなげよう！ ○ 総合的な学習の時間、クラブ活動、課外活動等（地域講師の招聘など） ○ 花や農作物を育てる体験を通し、命の大切さに触れる教育への取組
丸子北小	教育目標 ○ 違いを認め、お互いを大切にする子 ○ 自分の考えを持ち、進んで学ぶ子 ○ 最後までやり抜く子 特色ある教育活動　・・・　恵まれた学習環境の中での豊かな学び ○ 地域の自然、伝統、文化、人材を活用した「生活科」「総合的学習」「課外活動」 ・米づくり　・ヤギ飼育　・和紙作り　・お蚕さん　・地域探検　・金管部　・合唱部 ○ 地域との交流活動 ・地域交流あいさつデー　・地域の方に感謝する会　・「青少年ネットワーク会議」への参加 ○ 福祉ボランティア活動 ・福祉施設の訪問活動　・保育園での奉仕活動 ○ 環境保全と自然保護の活動 ・全校奉仕デー　・地域の美化活動　・ホタルの里 ○ 40分授業午前5時間授業の日課の工夫により、基礎学力、探究力の向上を目指す ○ フリースタイルプロジェクトを通して、主体的に探究する力の育成を目指す ○ 朝読書を通して、落ち着いた一日のスタートを図り、読解力の向上を目指す ○ 毎週水曜日「北小っ子タイム」 子どもと向き合う時間の設定　「ふれあいタイム」異年齢交流 ○「心みがき清掃（自問清掃）の充実」… 3つの玉「がまん玉」「しんせつ玉」「みつけ玉」を磨く ○「にじいろ文庫」の皆さんによる読み聞かせ活動

校名	教育目標・特色ある教育活動
丸子北小 （つづき）	令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 一般分 ・生活科・総合的学習（1年：飼育・栽培活動、2年：栽培活動、3年：栽培活動、4年：栽培活動、5年：米作り、6年：命の学習） ・奉仕デー（環境保全活動）　・エコ作戦（省エネ活動）　等 ○ 学校提案型 ・麻布教育ラボ所長村瀬公胤先生を招聘して「学び合い学習」についての研修を実施し、授業改善を図った。 ・「Q-U検査」と、その分析を生かした学級づくり
塩川小	教育目標・・・「知識をきわめ、意気をねり、ゆかしき心を養う子ども」 特色ある教育活動 ○ 地域との交流活動 ・月1度の地域交流あいさつデー（PTA・地域ボランティア・地元企業も参加） ○ 地域の方による学校支援ボランティアとの教育活動（塩川小信州型コミュニティスクール） 生活科・総合的な学習の学習支援 ・2年塩川敬老園訪問　・3年ジャガイモ栽培、ホタル学習 ・4年椀子ワイナリー周辺に希少種蝶(オオルリシジミ)の食草を増やす活動（後期）、ブドウ苗木の植樹 ・5年米づくり、椀子ワイナリー周辺に希少種蝶(オオルリシジミ)の食草を増やす活動(前期)　・全校花の栽培 クラブ支援 ・年間6回のクラブ活動への支援　・家庭科クラブ　・ダンスクラブ 学習支援 ・塩川おはなしの会の方による読み聞かせ活動（年間17回）　・家庭科支援　・外国語学習の支援 学年行事支援 ・5年烏帽子登山への引率支援　・スキー教室引率支援 補習学習支援 ・家庭学習定着を目的とした週2回の放課後スクール 登下校の安全 ・塩川見守り隊による交通指導 ○ 地域に開かれた学校づくり ・参観日の授業を地域公開（9月、11月に予定） ・ボランティア多目的室の設置（地域ボランティアの方の活動で使用。児童との交流） ○ 幼保・小・中連携 ・小1スタートカリキュラムの充実　・1、5年生を中心とした幼保との交流 ・丸北中体験入学、出前授業 ○子どもたちが自分の「やってみたい」を追究するFA(FEEL＆ACT)タイム ○ 基礎学力の定着を図ったチャレンジタイム ○ なかよしグループ（全校縦割りグループ）による縦割り交流 ○ マラソン大会とマラソン旬間による体力向上 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上・学級づくり ・CRT　・Q-U検査　・職員研修 ○ 地域と連携したふるさと学習（生活科、総合的な学習） ・花壇づくり、栽培活動、一人一鉢運動 ・塩川敬老園訪問（2年生との交流、金管バンド部演奏） ・ジャガイモ栽培（3年）　・ホタル学習（3年）　・椀子ワイナリーに係る活動（主に4・5年）　・米づくり（5年） ○ 特別活動 ・マラソン大会、マラソン旬間　・読み聞かせ活動　・なかよし縦割り活動
菅平小	教育目標　・・・　郷土を拓く大地の教育 ○ めざす子どもの姿 ①自ら学ぶ子　「自己決定・自己調整し自ら学ぶ」 ②思い合う子　「お互いの良さを認め合い、より良い人間関係を築く」 ③菅平と共にある子　「菅平から学び、菅平の一員として生きる」 特色ある教育活動 ○ 冬の厳しい気象状況を生かして、スキーを校技としている。また、ふるさと菅平の良さを継承し、次代を担う子どもの育成を目指して、文部科学省から「教育課程特例校」の承認を受け、「スキー科」「英会話科」を教育課程に位置づけている。 ○ キャリア教育の目標を「ふるさとを愛する心をはぐくむと共に、将来自立した社会人・職業人として生きていくための基盤を形成する」として、総合的な学習の時間における農産物の生産・宣伝・販売活動を通して、その過程で出会う課題や問いに対して友と協働しながら積極的に取り組んでいくことを大事にしている。 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学校提案型 ・基礎学力の定着や家庭学習の充実による日常的な学びの習慣化を図るための各教科の教具・教材の購入 ・学力向上のためにNRT検査の実施 ・キャリア教育事業「菅小ドリームワークス」の活動で使用した農業資材 ○ 一般分 ・全校で郷土の産業である農業についての栽培、収穫、販売など体験活動の環境整備 ・校技スキーの活動に対する支援
長小	教育目標　・・・　「かしこく　きよく　たくましく」 めざす子どもの姿　・・・　①かしこく　…自分をふりかえり　よく考える子 ②きよく　…ともだちとかかわり　思いやりのある子 ③たくましく…すすんで取り組む　ねばり強い子

校名	教育目標・特色ある教育活動
長小 （つづき）	重点目標　・・・　「自分らしく表現する授業づくり～「導入開始5分」に視点を当てて」 特色ある教育活動 ○ 学年を越えて関わり合う活動 1　縦割り班活動（長っ子タイム、縦割り清掃、なかよし給食、運動会での縦割り班種目、縦割り遠足等） 2　ふれあい伝承広場（地域の方を講師に迎え、学年を越えて講座に参加する） 3　児童会活動（長小まつり、集会活動等） 4　保育園との交流 ○ 恵まれた自然や地域の方に学ぶ体験活動 1　学校花壇づくり（全校）　藍、綿、絹の体験活動 学級園や学校の畑での野菜づくり（全学年）　卒業式を飾る花づくり（全学年） 2　山家神社、長谷寺、角間渓谷などの長地域探検（1年・2年・3年） 縦割り班遠足（地域めぐり：班で計画したコースをめぐる） 根子岳登山（5年） 3　小動物の観察や飼育 ○ さまざまな人たちとの関わりを広げる交流活動 1　読み聞かせボランティア・長っ子見守り隊・外部講師によるクラブ活動 2　真田地域シニアクラブの方々との交流 「ふれあい伝承広場」 3　食育活動を通して、地域への発信、交流 4　アルミ缶回収・エコキャップ回収・募金などの収益金で、地域や海外への支援を行う児童会活動 5　コミュニティルーム（長っ子ルーム）の活用 6　郷土資料室の活用 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上に関して 1　授業・家庭学習でより学びを深めるために、教科書プリントの購入 2　探究的な学びの充実を目指し、学習に使用する教材等の購入 3　学力向上を目指し、CRT・NRTの実施 4　学びの多様化・ICT活用の充実を図り、タブレットケースの購入 ○ 栽培活動への補助 1　学級園で学年ごとの栽培活動や地域の方との米作りのための、苗・土・肥料の購入 ○ 地域の文化や歴史、地域を学ぶための講師依頼費用 1　長地区の歴史・文化・伝統行事を学ぶ、ふるさと学習充実にむけた実施費用
傍陽小	教育目標…にこにこ笑顔・どきどき挑戦・どんどん響き合う　傍陽の子 重点目標…『ことば』で自分を伝えよう　～自分の思いを自在に語るために～ ①太陽のようなコミュニケーション　②傍陽に遊び学んで思いを語る　③支えあう仲間　個と協働の学び 特色ある教育活動 ○ 傍陽の自然・人・文化に学び、傍陽への愛着を深める活動 1　傍陽の自然に学ぶ 縦割り班での「そえひたんけん」、学級ごとの地域探検などを通して地域の自然や歴史、文化に触れて学ぶ活動 2　傍陽の人と文化に学ぶ (1)ふれあい伝承広場・・・傍陽の子どもを育む会 (2)米作り・・・地域の方を講師に迎え、田おこしから精米までを体験する (3)地域ボランティアの方と共に・・・読み聞かせ、休み時間の見守り「ふれあい広場」 (4)地域の方に学ぶ（器作り、しめ縄作り等） (5)福祉交流学習・・・福祉施設の方との日常的な交流、行事での交流 ○ 異年齢集団の協働 1　継続して関わりを持てる縦割り班活動 (1)縦割り清掃・・・学年間の交流を図り、自分と向き合う清掃 (2)異学年交流・・・ペア学級、縦割り班による活動 (3)行事での活動…そえひたんけん、ふれあい給食、全校で遊ぶ活動 2　子どもが創り出す縦割り活動 (1)全校で楽しむ児童会祭り (2)休み時間の集団遊び（児童会の遊び企画） 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 1　傍陽の自然や人に学ぶ 1・2年生川遊び（生活科）、2年生豆腐作り体験（生活科）、3年農業体験（社会科）、5年稲作、6年郷土料理作り（総合的な学習の時間）、地域の食にかかわる活動（調理クラブ）、地域の方に教わる活動（折り紙クラブ）等を行った。地域の方と触れ合ったり、地域にかかわる人・こと・ものについて学んだりし、傍陽の文化や自然に触れることができた。 また、職員が地域研修として実相院に出かけ、住職さんのお話を聞き、学習や活動に生かすことができた。 2　学力向上にかかわって NRT、CRTの実施と分析をし、その後の指導に生かした。 人権同和教育に取り組み、安心して伝え合える環境づくりをした。 インクルーシブ教育について学び、個々の児童への支援方法を探るとともに、環境を整えるために必要なものや教材を準備し、支援に生かした。
本原小	教育目標　・・・　「なかよく　たくましく　かんがえて」 重点目標　・・・　「1　つながる　あいさつ　　2　じぶんから　うごく　　3　きいて　かんがえ　つたえる」

校名	教育目標・特色ある教育活動
本原小 （つづき）	特色ある教育活動 ○ 学年を越えた異学年交流活動 異年齢交流活動（1～6年のたてわり班）による栽培活動・製作活動・なかよし活動・清掃活動 ○ 地域の文化や自然について学ぶ活動 1 御屋敷公園、歴史館・各神社・お寺など真田地域の歴史的名所を訪ねて、郷土の歴史や文化から、ふるさと真田について学ぶ。 2 本原地区内を歩き、化石の発掘できる地層を訪ねたり、自然探索をしたりするなど、体験を通して自然について学ぶ。 ○ 食育 1 野菜や米などを自分たちで育て、いただくことで食べ物への感謝の心や健康について学ぶ。 2 地域の方に指導を依頼し、野菜・米などの育て方を学ぶ。 ○ 地域の方へ感謝 1 縦割り班で育てた花で地域美化に貢献する。 2 見守り隊・応援団の皆さんに感謝の気持ちを直接伝えたり、手紙を書いてお渡ししたりする。 ○ 福祉交流体験学習 1 様々な福祉体験を通して相手の気持ちを理解し、相手に寄り添う気持ちを育てる。 2 福祉施設を訪問し、交流することを通して、相手を身近に感じ、相手を思いやる心を育てる。 令和7年度 特色ある学校づくり交付金事業 ① 縦割り班で花を育てる異年齢交流を行った。 ② 田んぼでお米を育てたり、畑で野菜を育てたりして、学級で味わった。 ③ 学力向上のために、NRT検査、CRT検査を実施した。
武石小	教育目標 ・・・ 『だれにもやさしく げんきよく じぶんから学ぶ 武石の子』 重点目標 ・・ 「よいところを見つけ・活き活きと生活し・自ら考える」 特色ある教育活動 ○ 依田窪南部中学校区の3小学校による交流授業および遠隔合同授業の試行 人間関係の広がりやスムーズな中学校移行を目指した南部支会3小学校との交流学習の実施 ○ ふるさと教育の推進（キャリア教育の視点を大切にしながら） 地域の方々の支援を得て、ふるさと教育の充実を図っている。 「ふるさとカルタ」（児童制作）を手がかりに地域巡り遠足、昔あそび、給食食材の収穫体験、椎茸のこま打ち、松茸狩り、木製看板作りや木登り体験等の林業体験学習や美ヶ原の自然環境を生かした「自然教室」等 地域の放置竹林材の活用として、竹灯篭つくりと、地域施設への展示 ○ 交流活動 異年齢交流（なかよし学級・たてわり班）・地域との交流（保育園・高齢者施設・せんぜい畑の方々等）・支会の小学校、様々な交流活動を実施。心をつなぐ気持ちのよいあいさつ及び自主的な会の運営をする。 ○ 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣づくり メディアの使い方について学校での指導と家庭と協力して取り組む。また、学校保健委員会で歩行バランス講習と全校で取り組む性教育を通して、心と体のよりよいバランスで心身ともに健全な子どもの育成を目標に取り組む。 ○ 南部支会4校共通による学力向上 主体的・共同的な学びの充実を目指し、「4つの学び（考える・伝える・聴く・まとめる）」を意識した授業づくりを行う。 小中一貫連携型教育を視野に入れたカリキュラム作り,自主学習の内容確認 「南部支会家庭学習の手引き」から「南部支会連携教育小中の学び」を示したポスターへの切り替え 南部4校の高学年児童の学習や学校生活への意識調査(アンケート)をもとに、授業改善の研究 ○ 地域ボランティアの協力の下、放課後自習室の運営をし、自習・自主学習を進める。 ○ 体力向上 毎週水曜日をわくわくタイムと位置づけ、運動の遊びの奨励や朝の全校運動を定期的に行い、体力の向上をめざす。 縦割り班・姉妹学級で運動遊びの活動 歩行ケア協会と連携して、歩き方や姿勢の講習会実施。 令和7年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域の方の支援の下、大豆栽培(味噌・豆腐作り)活動（2、3年）、昔遊びの会（1、2年）、しいたけのこま打ち（3年） ○ 長野県オリジナル米「風さやか」の栽培と販売活動（4、5年の米作り） ○ 木登り体験、間伐材による看板づくりなど、地域の自然を生かした体験・キャリア教育活動 ○ 金管バンド、東日本など各種大会出場やありがとうコンサートの活動補助 ○ 放課後自習室の環境整備用品・文具 ○ 花のプランター作り・畑をはじめとした学校環境の整備,清掃用具の補充 ○ 全学年CRTを行うことにより定着不足の学習内容を補完 ○ 誰にとっても活用できる各教科の教具・教材の購入(四線黒板,漢字補助付箋,計算補助付箋)

校名	教育目標・特色ある教育活動
第一中	教育目標　・・・　「体力・気力・知力を兼ね備えた人間性豊かな生徒の育成」 ～自己肯定感を育み、自信や誇りをもつために～ 人のよさに学びながら、自ら考え問題を解決しようとする生徒（知力） 「人・物・こと」に感謝し、美しいもの・正しいものを大切にする生徒（気力） 強い意志と相手の気持ちになって心開いた仲間づくりができる生徒（気力） 意欲的に体験・経験をし、体や心をたくましく鍛えようとする生徒（体力） 特色ある教育活動 ・・・　「一人ひとりが伸びる第一中学校」 ○　個々の力を伸ばし、学びを広げる授業づくり 生徒が根拠をもった考えを構築し、自己の意見を発表する場の設定・自分の学びや生活を調整する力の育成 ・「問い」の「解決の方法」を考える場面、多様な他者と協働・対話する場面、課題解決・省察する場面を位置付けた授業改革 ・毎朝10分間の「一中タイム」の実施　　・テスト前の「質問タイム」の実施 ○認め合う・支え合う集団づくり 教育相談、学級活動を通して自己・他者理解を図り、人権・健康を大切にした学級経営・学年運営を実現する ○生活習慣の形成　「場を清め、礼を正し、時を守る」 あいさつ　無言清掃　時間厳守　清掃は師弟同行、異学年の関わりを大事にする ○地域との連携 （1）情報の発信　→　学校だよりや日常の学校の様子をHPに掲載する （2）地域人材・ボランティアによる連携 →　教科や総合的な学習の時間、部活動における外部指導者との連携、地域人材や大学生（信州大学、長野大学他）による学習支援ボランティアの取組 （3）地域とともにあるキャリア教育の推進。中央公民館等の外部機関・地域コーディネーターや元PTA会長との連携、地元の文化財・企業・商店等への連携協力依頼 （4）松輝祭への東小、神川小6年生の参観 （5）地域の福祉施設との交流、上田養護学校との交流（年2回） （6）一中区幼保小中園長・校長会での情報交換 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 放課後学習（水曜日）…学習支援ボランティアや大学生等による学力アップ教室（学力向上） ○ 授業見守りボランティアによる日常授業の支援 ○ 職業講座、働くことについての講演会、進路講話、特別支援学級における大豆の栽培と味噌づくり体験学習（キャリア教育） ○ 畑・花壇づくり、学校敷地の整備（環境教育） ○ ボランティアグループ「おれんじクラブ」の皆さんによる本の読み聞かせ ○ 性教育や健康教育の推進（性教育講演会など）
第二中	教育目標　・・・　明倫の心（敬愛　窮理　実践）の育成 ○ 敬愛「自らを見つめ、他を思いやる二中生」・・・自分も友も慮ることができる生徒に ○ 窮理「自ら学び、互いに高め合う二中生」・・・自分を磨き続けることができる生徒に ○ 実践「自ら鍛え、体を大切にする二中生」・・・思いを行動に移す勇気をもった生徒に 特色ある教育活動 ○「明倫の心」に根ざした学校づくり 授業と明倫の柱（合唱・靴揃え・届く挨拶・無言清掃）を中核に、主体的な学びを通して「明倫の心」の具現をめざす ○ 問いをもち、とことん追求する生徒の育成 ・教科の探究化「なぜ」「やってみたい」が生まれる授業 ・自ら課題を設定し、自分らしく追求する授業 ・実在的なもの・ひと・こととの出会いから学びを拓く ・自分の「好き」「得意」を生かした学び ○ 友のよさに触れ、多様性を認められる生徒の育成 ・違いを受け止め、折り合いをつけられる心の教育の充実を図る（道徳教育、福祉教育、性教育、情報モラル教育等） ・日常生活を心の醸成に生かす（給食指導、清掃指導、安全指導、朝読書の時間等） ○ キャリア教育の系統立てた実践 ・地域や社会に役立つ貢献感の創出 ・夢と憧れを抱き、自らを磨くキャリア教育 ○ 二中の誇り「明倫の柱」 ・合　　唱 … 一年中、校舎に響く歌声 ・靴　揃　え … 桜門ホール下足箱の、かかとのそろった履物 ・挨　　拶 … 場に応じた「届く挨拶」 ・清　　掃 … 静寂の中、自己を磨く「ひざつき・のりしろ清掃」 ○ 地域とつながる開かれた学校 ・「地域に貢献できる中学生」をめざした収集活動、ボランティア活動、地区生徒会活動 ・地域の方を講師に、生き方を学ぶ「二中フォーラム」 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域の方と共に働く「職業体験学習」やキャリア教育講演会の実施 ○ 20講座全てが久しぶりに対面実施できた地域の講師に学ぶ「二中フォーラム」 ○「共に生きる」をテーマに探究的な活動を通して、自らの生き方を見直す活動の実施 ○ 生徒会活動での花壇の造成や二中伝統の合唱を高める活動の実施 ○ 学力向上授業実践研究への取組と一人一台端末を活用した授業の実践
第三中	教育目標　・・・　「自主性を養う」　～より高い価値を創造しようとする力をつける～ ○ 願う生徒の姿 主体的で対話的に学ぶ三中生 ◇ 教育目標の具現化に向けた3重点

校名	教育目標・特色ある教育活動
第三中 （つづき）	「誰もができる・わかる」（学力の向上） 生徒の「主体的・対話的な学び」や「個別最適な学び」を保障し知識や技能を活用する力を育成する 「多様な個性を認める」（居心地のよい学級） すべての生徒が自分らしく生活できる学年・学級づくりに努める 「地域とともに」（保護者や地域との連携） 保護者や学校運営委員、地域と協働して学校運営を進める 特色ある教育活動 ○ 学力の向上 ・少人数学習の推進（英語） ・数学授業における単元テストの導入 ・数学授業でのTTの導入 ・授業について教科横断的に語り合う研修 ・三中区の「自主性が育つ授業」について学び合う研修 ○ 居心地のよい学級 ・ほっとルーム、学びルームの個別最適な運営 ・スクリーニング会議（週一回の校内不登校対策委員会と月一回の外部の専門機関との連携） ・年3回の教育相談の充実（悩みごと、学習相談など） ○ 保護者や地域との連携 ・長期休業の学習室開放（学習ボランティアの皆さんによる学習支援） ・水曜日の放課後の教室開放（学習支援ボランティアによる学習支援） ・花壇づくりで潤いある三中に（花ボランティアとの連携） ・外部機関との連携（キャリア教育の推進） 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 一般分 ・地域に根ざした学習（職場体験学習、進路学習、キャリア教育講演会） ・居心地のよい居場所づくり（ほっとルーム整備） ・学校に潤いを与える活動（花づくり、環境整備等） ○ 学校提案型 ・学力向上事業（村瀬公胤先生招集） ・奈良薬師寺の住職の招聘 ・音楽会での外部講師招聘
第四中	学校教育目標　「夢に向かって努力し、友と協力して創造する、明るく楽しい学校」 優しさ（人とつながる）　豊かさ（豊かに学ぶ）　逞しさ（やり遂げる） ＜本年度スローガン＞ 生徒一人ひとりの主体性を育む 特色ある教育活動 ○ 主体的に学びに向かう力を育むために ・毎週火曜日、1週間の家庭学習をプランニングすることで、自身にあった学びをセルフコントロールする ・毎週水曜日に四中アカデミー（放課後自主学習）の開設 （講師として、地域の企業人、地域の教員OB、地元大学生に委任） ・授業のUD化のための研修及び環境整備 ○ 地域・家庭との連携による協働的な学び・キャリア教育の充実に向けて ・「四中生学びスタイル」を改善し、「生徒相互が協働し、高め合う授業」を目指す ・地域で働く方を講師に迎え、キャリア教育の視点に立った講演会「お仕事を学ぼう」の実施 ・上田西高校の教員による出前体験授業 ・PTA活動の再構築（組織再編、地域との交流事業の立案、各種行事などのタスク型スタッフ募集等） ○ 生徒が自己決定し、社会的に自立する力を育むために ・生徒が自分たちで自分たちの課題を設定・解決するための相談体制づくり ・サポートルームの開設を中心とした、生徒相談・不適応支援体制の充実 ・生徒会タイムの運営（生徒会を含め、生徒が主体になっての活動） ・生徒会の3本柱「あいさつ」「清掃」「合唱」の充実 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 授業改善「四中学びのスタイル」の取組み…自ら学習をコントロールするためのスクールタイマーの設置 ○ 授業のUD化のための環境整備 ○ サポートルームの開設を中心とした、生徒相談・不適応支援体制構築のための費用 ○ 生徒会・美術部による文化祭ステージバック作成費の補助 ○ 生徒の自主性を育む活動…生徒の自主的な活動の補助 ○ 各種講師への謝礼…四中アカデミー、進路学習、キャリア教育講演会等 ○ 情報モラル、情報管理の取り組み…資料の準備や機器の整備費用
第五中	教育目標　・・・　「人間性豊かで、主体的に問題を解決する生徒の育成」 ①心の豊かな生徒（徳）　②自ら考え、実践する生徒（知）　③健康で、たくましい生徒（体） 【重点目標】 ○ 「あたたかい五中」：五中人権宣言を大切にし、あいさつがあふれ、安心できる学校 ○ 「＋１」の力の育成：自ら考え、判断し、行動する生徒の育成 ○ 学力向上：基礎基本の定着と、探究的に学ぶ生徒の育成 特色ある教育活動 ○「五中人権宣言」を基にした人権同和教育 ・「五中人権宣言」からスタートする、前期（旬間）・後期（月間）の人権同和教育 ・生徒の手による「五中人権宣言」に基づく、生徒会活動を通した実践 ○ 気持ちの落ち着く学校環境づくり ・全校で取り組む、学校前道路等の花壇づくり

校名	教育目標・特色ある教育活動
第五中 （つづき）	・生徒会緑化委員会の「花いっぱい」を目指した花壇づくり ○ 規律ある学校生活づくり ・「あいさつ・無言清掃・時間を守る」を「生活の3重点」とした生活規律の向上 ・生徒会役員、校風委員、学年生徒会がタイアップした登校時のあいさつ活動 ・全校一斉に廊下での黙想から始まる「完全無言清掃」 ○ 学力向上・授業改善 ・各教科のグランドデザイン作成による「主体的・対話的で深い学び」の実践、「わかる授業」づくり ・ICT機器の活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現 ・「教科学習の手引き」の配付と活用 ・互いに授業を見合う「一人一見学」強化週間の実施 ・ミニ鳳の時間による探究的学習の推進 ○ 「探究的な学び」への挑戦 ・「探究的な学び」を日常の授業で実践 ・自ら課題や問題を見出し、その解決を目指して仲間と協働しながら新たな価値を創造 ・一人一人が自分の”好き”なこと”楽しい”こと、”なぜ”と思うことに浸り追究する姿を目指す ○ 地域に開かれた学校（コミュニティースクール活動の推進） ・年3回の「学校公開」の実施 ・五中応援団「チーム鳳」の活動 地域の方を講師に招いての学習支援（地域の先輩に学ぶ総合的な学習の時間） 地域の方に支援をいただき、3学年生徒と保育園児の学校花壇づくりを通した交流活動 公民館主催行事へのボランティアとしての参加 からだづくり講座の実施（2学年） ○ 地域に感謝するボランティア活動 ・福祉委員会が主催で実施する「アルミ缶収集」・・・収益金は福祉施設等へ寄付 ・福祉委員会とローマン上田や住吉寮の方々との交流活動 ○ 中学校3年間を通した、キャリア教育の充実 ・2年：職場体験学習（2日間の実施）、マナー講座、社会人に学ぶ講座（様々な職種の社会人を招いて実施） ・3年：進路講話（専門学校や高校の先生及び卒業生の話）、高校の先生による出前授業 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 「学校学級花壇づくり」 ・「花いっぱいの学校づくり」を目指し、緑化委員会では学校前の歩道の花壇、プランターでの花づくりに取り組み、熱心に世話をした。 ・認定こども園にしおかの園児と、花壇の花植作業を共同で行いながら交流した。 ○ 職場体験学習補助 ・2年：マナー講座を実施し，2日間の職場体験学習に生かすことができた。 ○ 各種講師への謝礼…キャリア教育・進路学習 等 ○ 「和装体験学習」 ・家庭科の教科学習への学習支援として、「地域の先輩に学ぶ」講座の「着付け・礼法」講座の先生方を講師にお願いし、和装授業への支援をしていただき、日本の文化の一端に触れることができた。 ○ 気持ちの落ち着く学校環境づくり ・歌声が響く学校環境づくりのための電子ピアノや、特別支援学級で必要な教具を購入し活用することで、それぞれの活動の充実につながった。
塩田中	教育目標　1 充実した学習を積み上げる　2 たくましい心身を育てる 3 正しい道義心をのばす　4 豊かな心情を培う ○ 重点目標 1 生徒が安心して生活し、「楽しい」と思える学校づくり 2 夢や目標に向かって努力できる生徒の育成 3 地域との連携＝開かれた学校 特色ある教育活動 ○ 地域と共に育つ開かれた学校 ・しおだっ子応援団、春風すみれ倶楽部との活動 学習ボランティアによる、数学を中心とした学習支援（128日、延べ197人、526時間） 環境ボランティアとともに進める、花壇づくり・畑づくり 公民館で地域の方々とともに行う、押花づくり・苔玉づくり・クリスマスリースづくり・折り紙　など ・ 地域で学ぶキャリア教育（塩田めぐり：1学年、職場体験学習：2学年、地域貢献ボランティア：3学年） 1学年：塩田めぐり（地域の寺社・ため池めぐり、座禅体験、無言館見学　など） 2学年：職場体験学習（約15業種、80カ所以上の事業所） 3学年：地域貢献ボランティア（「きれいな故郷を未来につなぐ」「塩田の魅力を発信」など8つのプロジェクト） ・ 長野大学生ボランティアによる授業サポート ○ 塩田地区全体で取り組む「ユニバーサルデザイン化」の視点で取り組む授業改善（視覚的・具体的・肯定的） ○ 全教科で取り組む、4人組を基本としたグループ学習（主体的、対話的で深い学びの実現） ○ さわやかな挨拶、けじめのある生活（時間厳守）、「履物をそろえる」ことから始める生徒指導 ○ 自らを磨く「気づきの清掃」（無言清掃） ・気づきの清掃のための清掃用具の充実 ○ 合唱を通した、豊かな感性と情操の育成（歌声が響く学校） ・外部から講師を招いての、校歌（混声四部合唱）を大切にした合唱指導　～2年次～ ○ 校内中間教室・通級サテライト教室の環境面の充実、リモート専用学習室の設置（子どもに応じた多様な学び方） ・中間教室における多様なサポートの取り組み ・誰一人取り残さない、一人ひとりに応じた学び方の実現 ・リモート学習専用の教室を整備

校名	教育目標・特色ある教育活動
塩田中 (つづき)	令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学年や生徒会ごとの「環境教育（花作り）」「キャリア教育」「健康教育」 ・学習ボランティアの支援による、地域との交流を深めながら推進した「地域と共にある学校」づくり ○ 生徒の主体的な取り組みによる「地域貢献学習」の充実 ・地域が将来に抱える不安や課題から、地域貢献活動のアイディアを考え、活動し、地域へ発信 ・塩田地域に寄せる生徒の興味関心や愛着の思いの深まり ○ リモート学習室の設置やサテライト教室の移転に向けた環境整備 ・個人学習用の机や文房具、関わり合いゲームなどを揃え、充実した支援や指導ができる環境の整備
第六中	教育目標 「敬・和・創」 ○ 人を敬い、人から信頼される生徒（敬） ○ 人を認め思いやり、人と協力して活動する生徒（和） ○ 自ら工夫し、納得するまで追究し課題を解決していく生徒（創） 特色ある教育活動 ○「準備」「追究」「仲間」「挑戦」を生徒・教職員で共有して進める「六中の学習スタイル」 ○ 交通ルールを守り、安全な登下校をするための、生徒一人一人による「誓い」の作成と年3回の交通安全教室 ○ 生徒間のトラブルやいじめの早期発見・早期解決のための毎月行う「生活アンケート」 ○ 学年の発達段階に応じ「人の生き方」を焦点化しながら「自己決定」につなげる総合的な学習の時間・キャリア教育 ○「憧れの連鎖」「自らの生き方選択」に導くための地域講師による出前講座、地域公開参観の実施 ○ 総合的な学習の時間で学んだことを発信する学年内発表会 ○ 地域と共に確かな学びを育む「学校支援地域ボランティア」（学習支援） ○ 合唱を柱に据えた歌声の響く学校 ○ 人権意識を高め、いじめをしない・させない仲間となるために生徒会で取り組む「黄色いリボン運動」 ○ 生徒の自主的な取り組みを推進する生徒会活動（異学年交流「六中チャンピョン」、交通安全検定、清掃四則の徹底等） ○ 5年目となる校内フリースクール（サポートルーム）の推進と不適応・不登校支援の充実 ○ 長野大学ボランティアサークル「彩（いろどり）」の協力による生徒支援 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域から学ぶ職場見学、キャリア学習の実施（2学年職場体験学習事前学習） ○ 生徒の様々なニーズに対応した校内での居場所づくりのための支援とSOS教育の継続的な実施 ○ 花に囲まれた校内環境整備 ○ 専門的な知見をもつ講師陣による人権教育・性教育や民話を語る会、情報モラル教育の講演会実施 ○ 多様な学びの場を提供し、生徒の確かな学びを育む「学校支援ボランティア」と「長野大学学生ボランティア」の協力 ○ よりよい学級経営や個に寄り添う支援を実現するための質問紙調査の実施と実施後の分析・職員研修
丸子中	教育目標　・・・　○みずから学ぶ　お互いに支え合い・自分たちの可能性に挑戦する生徒 ○ともに創る　お互いの思いに寄り添い・認め・折り合う生徒 ○たくましく生きる　お互いの安全・健康・命を守る生徒 教育ビジョン「愛のある学校」 特色ある教育活動 ○ 自他を尊重し、いじめや差別を許さない人権感覚の育成を図る人権同和教育 ・外部講師による人権同和教育に関する講演会の実施 ・多様性を認める学年学級づくりとそのための個別支援とチーム支援 ・人権同和教育月間の実施と「人権標語」づくり ○ 伝統を引き継ぐ生徒会活動 ・清掃・・・無言と気づきで心を磨く伝統の「ひざつき清掃」及び「縦割り清掃」 ・合唱・・・気持ちを一つにし心を結ぶ響き渡る合唱 ・地域貢献・・・「地域貢献活動日」に地域施設の清掃やゴミ拾いを行う。クリーンキャンペーンの実施 ○ 年間を通した地域との交流 ・花壇づくり、地域清掃、地域学習、丸子ドドンコ等の地域行事への参加などを通して丸子地域との関わりを深める ・学校ボランティアによる放課後における学習支援の実施 ○ 花壇づくりやリサイクル収集活動を中心とした「緑化・環境教育」、施設訪問や文化祭・音楽会への施設の方の招待などに取り組む「交流・福祉教育」 ○ 地域の講師の招聘や地域の宝を探し、地域の産業、文化、今後等について探究し、発信する総合的な学習の時間 ○ AED講習や避難訓練等を通して自他の命を守る教育の推進と意識の醸成 ○ 学力向上をめざす生活ノート「TSUNAGARU」の活用、「宿題スタートタイム」の設定、授業評価をもとにした日常の授業改善 ○ 「授業づくり実践ウィーク」を通して、教師・生徒ともに学び合う意識を持って授業改善に取り組む ○ 生徒が主体となって学び合う授業づくりのための小中連携の公開授業研修と外部講師の招聘 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学校花壇づくりや美術作品を校外で展示する等、生徒の活動を積極的に発信 ○ 主に総合的な学習の時間における学びの様子を参観日で生徒自身が地域、保護者に発信 ○ 産官学連携のキャリア教育推進。講演会や職場見学、職業体験によるキャリア学習活動の充実 ○ WCI生との交流を通して、コミュニケーション能力を高めたり世界観を広げたりする
丸子北中	教育目標 ○［自主］進んで学習し、学力と向上心を高める生徒　よく考え、自ら判断し、正しい行動をする生徒 ○［敬愛］自他ともに大切にする思いやりのある生徒　感謝の気持ちを言葉や行動で伝える生徒 ○［勇健］失敗してもあきらめずに物事をやりとげる生徒　笑顔と健康な心身で元気よく生活する生徒 今年度の重点 「生徒も教師も生き生きと活動する学校」

校名	教育目標・特色ある教育活動
丸子北中 （つづき）	○ 重点1・・・授業づくり　生徒も教師も共に確かな力が身につく授業 ○ 重点2・・・学級づくり　生徒も教師も共に居心地の良さを味わえる学級 ○ 重点3・・・心と体づくり　生徒も教師も共に逞しさが身につく活動 特色ある教育活動 ○ 総合的な学習の時間「コスモスタイム」（1年:丸子を学ぶ 2年:丸子で学ぶ 3年:丸子と学ぶ・丸子ミニコスモス大学） ○ 人権教育の推進（個と集団の関わりを意識し、好ましい人間関係づくりを進める） 学級の状態の定期的な把握と分析結果に基づく学級集団の育成 学年・学級の実態を踏まえた人権教育月間の充実 ○「完璧清掃」（気づきのための無言清掃 共に働く仲間への気づき、気遣い、気働き） ○ 生徒会によるコスモスの栽培活動、挨拶活動、青少年ネットワーク会議 アルミ缶回収収益金による福祉施設への贈り物や福祉施設との交流活動 ○ 社会で認められる人としての素地を育てるキャリア教育（1年「職業調べ」 2年「職場体験学習」） 3年「先輩の話を聞く会」「進路講話」等） ○ 歌活動（帰りの会・清掃後の全校合唱練習・学年集会等における学級・学年単位による合唱練習） 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域に開かれた学校づくり「丸子コスモス大学」活動・運営事業 ○ 学校花壇整備事業 ○ 道徳教材研究のための指導書の購入 ○ 各種発表会・講演会用ワイヤレスマイクの購入
菅平中	教育目標 めざす子どもの姿・・・自ら学ぶ子・思い合う子・菅平と共にある子 めざす学校の姿・・・・地域と願いを共有し、子どもも教師も健全に生き生きと活動できる学校 めざす教師の姿・・・・心をそろえて子どもに寄り添い、支え合いながら子どもと共に学び続ける教師 重点活動 ○ 自己決定・自己調整し自ら学ぶ ・小中連携による9ヶ年を見越した授業づくり ・T.Tによるお互いに学び合う職員集団 ・生徒理解を根底に据えた授業づくり ・連学年、異年齢での活動による学び合う環境作り ・行事における実行委員会の発足とリーダーの育成 ・特色ある教育課程（スキー科・英会話科）を生かし、自ら学び、自分を成長させる経験の積み重ね ・自分で計画し実践しながら自分の学びスタイルを見つけていくための支援 ○ お互いの良さを認め合い、より良い人間関係を築く ・全校や連学年による道徳の授業の推進。自分と立場が違う意見を尊重する経験の積み重ね ・学級活動や特別活動において、対話を重ねながら相互理解を深め、自他尊重を基本としたコミュニケーション能力の育成 ・外部講師、講話を通した正しい知識の獲得、メタ認知能力、判断力の育成 ・ルールや約束を守る学習の保障 ・定期アンケートと面談による個に寄り添う支援。カウンセラーとの連携 ○ 菅平から学び、菅平の一員として生きる ・小学校で「ドリームワークス」というテーマで学級で栽培活動を行い、菅平の先人達の思いを知るとともに菅平の大地から学んできた子どもたちが、中学校では「Take action ～もっと菅平のためにできること～」の活動を通して、自分たちが菅平のためにできることを実践していく ・筑波大学、長野大学等との連携 ・スキークラブコーチ、菅平学校CS委員会との連携強化、共に歩む ・スキー活動を通して自分を成長させ、菅平に感謝し、菅平の一員としての自覚を促す取り組み 特色ある教育活動 ○ 本校は冬の厳しい気象条件を活かして、スキーを校技としている。また、ふるさと菅平の良さを継承し、次代を担う子どもの育成を目指して、文部科学省から「教育課程特例校」の承認を受け、「スキー科」「英会話科」を教育課程に位置づけている。 ○ キャリア教育目標を「自分と、ふるさとや社会との関わりの中で、自分の生き方を考え、将来の夢や希望をもちながら、主体的な進路選択ができる自己を確立し、社会的・職業的に自立した人間を育てる」とし、Take Action～もっと菅平のためにできること～という総合的な学習の時間のなかで、実際に自分たちの足で地域に出向いたり、地域の方をゲストティーチャーとして招いたりし、菅平の現状と課題を知り、自分たちにできることは何かを考え、「地域に生きる自分」を意識している。 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 一般分 ・スキー科に係る備品・消耗品の購入 ・県中学校スキー大会、各種スキー大会・合宿への選手の参加補助 ・大会・合宿など指導教員、コーチの引率補助 ・校内環境整備事業：花のある環境を整備するために、花の購入 ○ 学校提案型 ・「個別最適な学び」の充実に向けての研修費用や教材費等として活用 ・基礎的環境整備の一つとして、主体的、対話的で深い学びができるような環境整備のために活用
真田中	教育目標　・・・　「かりがね精神」 ○ 磨き合う知性　・・・　自ら意欲的に学ぶ生徒 ○ 感じ合う心　・・・　豊かな心を育む生徒

校名	教育目標・特色ある教育活動
真田中 (つづき)	○ 鍛え合う身体　・・・　進んで身体を鍛える生徒 ○ 見つめ合う命　・・・　命を大切にする生徒 特色ある教育活動 ○「さなだに生きる」を全校テーマとした探究的な学習（総合的な学習の時間） ・学年ごとのテーマ「食事を作ってくれる方の思いを探ろう」（1年） 「真田地域のために私たちにできること」をテーマにした地域探訪学習（2年） 「私たちの地域にかかわる自己課題を追究しよう」（3年） ・ 給食洗浄体験・自らの食について考える朝食・弁当作り（1年）、地域の食に関わる職業調査・農業体験・交流活動（2年） ・ 地域食材、卒業後の食生活、世界の農・食・健康の問題、SDGsなど自分の課題追究（3年） ・ 学習成果を発表するかりがね祭（全校） ○ 心を育てる花づくり、環境教育の推進 ・ 真田中学校の伝統であり、誇りであるサルビアの花を全校生徒一人ひとりがプランターに栽培。地域の方も楽しみにしているサルビアの花づくりを通して、地域に貢献し愛される真田中を創る。 ○ 地域と結びついた生徒会活動 ・ 地域でのボランティア活動への積極的な参加（清掃ハイキング、ふれあいひろば、かりがねフェスティバル等） ・ 支部生徒会で民生委員さんと生徒との懇談を企画し、地域について語り合う場を設定。 ○ 地域と連携・協力した活動 ・ さなだスポーツクラブ（地域にある総合型地域スポーツクラブ）による部活動への支援 ・ 真田中CSとの連携事業(サルビアの定植・管理、放課後学習支援、農業体験等) ・ 真田中CS、真田の郷まちづくり推進会議との連携による校内ボランティアルーム・放課後カルチャークラブの運営 ・ 真田地域包括支援センターによる真田地域住民支え合い研修会の実施 令和7年度　特色ある学校づくり交付金事業 ○ 食育を中核とした健康教育 ・ 自らの食を考える朝食・弁当作り（1年）、地域での農業体験・交流（2年）、SDGsの視点で食と命について探究（3年） ○ 真田中学校の伝統であり、誇りであるサルビアの花を全校生徒一人ひとりが学習支援ボランティアと共にプランターに栽培 ○ キャリア教育の一環で、2学年において農業体験学習に向けた事前学習として、地域講話等を2回実施 ○ 学力向上事業として、アセス等検査を実施し、分析結果を受けて人間関係形成能力の育成に役立てた
依田窪 南部中	教育目標 ・・・「知・徳・体の調和がとれ、自立した生徒の育成」 ○ 知　・・・　「かしこく」 ○主体的に課題を追究し、自己表現しながらお互いに高め合う南中生 ○ 徳　・・・　「やさしく」 ○人や物、郷土を大切にし、互いに認め合い支え合いながら、豊かな人間関係を築く南中生 ○ 体　・・・　「たくましく」○積極的に心身を鍛え、夢や願いの実現に向け挑戦する南中生 特色ある教育活動 ○「地域未来プロジェクト」を中心としたキャリア教育及び地域との共生 信州型コミュニティスクール「南中応援隊」の支援による「地域未来プロジェクト」では、1年生で地域発見学習、2年生で3日間の職場体験学習、3学年でアントレプレナシップ（起業家精神涵養）学習を実施している。アントレ学習については、地域の方々にも多く参加いただいており、9月の紫苑祭（文化祭）で発表会を行っている。さらには、2年生が「黒耀石のふるさと祭り」に参加したり、地域の行事に（浦安の舞の奉納、夏祭りみこしかつぎ、大山獅子祭みこしかつぎ等）中学生が積極的に関わったりする等、地域に根ざす文化継承の一役を務めている。地域での役割を担い、地域と共に歩む生徒となっている。特に令和7年度は、「ずっと住みたくなる依田窪南部地域のための私たちの提案」として、3学年のアントレ学習の概要と活動内容をまとめた。具体的な内容は、バスイベントグループは、公共交通が不便な地域にバスイベントを開催することで、住民に新しい交流の場を提供し、地域の生活の質の向上を目指して活動した。バスにちなんだオリジナルドリンクを開発し、140杯を販売した。JRバス様、日本ウォルナット様、長野大学環境ツーリズム学部様等、様々な機関に協力いただいた。令和8年1月には文科省から「キャリア教育優良学校」に選ばれた。令和8年度も、地域素材を活用し、地域とつながるためのグループが7つ立ち上がって学習をスタートしている。 ○ 地域と連携しながら生徒を育てる健康教育 PTAと生徒会が主体となってメディアコントロールデー（メディアを使用しない日）を月1回設定し、健康面への注意喚起を行うとともに、家族との団らんの大切さを呼びかけている。活動としては、月に1回、自分でメディアをどのようにコントロールするかを、選択肢の中から決めて、実践をするようにしている。 ○ 心を合わせ美しいハーモニーを創りあげる合唱 文化祭の学級合唱発表に向け、生徒自らが意欲的に練習に取り組み、美しいハーモニーを創りあげている。 また、生徒会文芸委員会が中心となって、全校音楽・クラス発表や生徒会歌（合唱）の練習計画を企画・運営している。 中学校区の3つの小学校の6年生と合同の音楽集会を実施し歌の交流を行い、文化祭で4校での合唱を発表している。 ○県をまたいだ交流活動 台風19号による河川増水のため、新潟県佐渡市に漂着したサッカーボールが返還された縁から、佐渡市在住の方との交流を続けている。年に一度互いの近況報告を交わしている。
ちぐさ 幼稚園	教育目標　・・・　「心豊かな子ども」 ○ 夢中になって遊ぼう ○ 自分も友達も大切にしよう 特色ある教育活動 ○ 地域の方々と子どもたちが一緒に取り組む畑作り ○ 小規模園ならではの異年齢交流 ○ 主体性をもって自ら考え「できる」「楽しい」と成功体験を積みながら、意欲的に遊ぶための環境作り ○ 参加型保育の実施（保護者の保育体験） ○ 支援を必要としている子に対して各関係機関との連携 ○ 障がい福祉サービス事業所きらりとの交流 ○ 菜園活動

市立学校教職員数

1 小学校

（令和8年5月1日現在） 単位:人

項目 / 学校名	教員									職員											教職員合計
	県費(校長・教頭含む)						市費		教員計	事務職員		栄養士	学校司書	特別支援教育支援員	心の教室相談員	その他ALT等	給食調理員		庁務員	職員計	
	男性	女性	講師（再任用含）	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	養護教諭補助		県費	市費						正規	会計年度			
清明小学校	6	12	3	1					22	1			1	2	1	2			1	8	30
東　小学校	10	11	8	1		2			32	1	1		1	3	1	4			1	12	44
西　小学校	10	8	4	1					23	1	1		1		1	4			1	9	32
北　小学校	12	13	6	1					32	1	1		1	3	1	3			1	11	43
城下小学校	9	11	5	1					26	1	1		1	2	1	2			1	9	35
塩尻小学校	4	5	2	1					12	1			1	1	1				1	5	17
川辺小学校	14	14	3	1				1	33	1	1		1	3		3			1	10	43
神川小学校	10	15	6	1				1	33	1	1		1	3		4			1	11	44
神科小学校	18	14	5	1					38	1	1		1	4	1	3			1	12	50
豊殿小学校	6	6	2	1					15	1			1	2	1				1	6	21
東塩田小学校	5	7	5	1			2		20	1			1		1	1			1	5	25
中塩田小学校	7	17	3	1					28	2	1		1	4	1	3			1	13	41
塩田西小学校	5	8	4	1	1				19	2			1	3	1	1			1	9	28
浦里小学校	3	6	1	1					11	1			1	1		1			1	5	16
川西小学校	6	7	3	1					17	1			1	1		3			1	7	24
南　小学校	10	22	9	1					42	1	1		1	3	1	5			1	13	55
丸子中央小学校	10	14	5	1		1			31	1	1	1	1	2	1	1			1	9	40
丸子北小学校	9	14	3	1					27	1	1		1	2	1	2			1	9	36
塩川小学校	4	7	6	1					18	1			1	1	1	1			1	6	24
菅平小学校	8	2	2						12	1			1	1	1	2	1	2		9	21
長　小学校	4	5	4	1					14	1			1	2	1	1		4	1	11	25
傍陽小学校	6	5	1	1	1				14	1			1	5		2	1	2	1	13	27
本原小学校	6	6	4	1					17	1		1	1	2	1	3	1	4	1	15	32
武石小学校	13	5	7	1					26	1		1	1	1	1	1	3	3	1	13	39
小学校計	195	234	101	23	2	3	2	2	562	26	11	3	24	51	19	52	6	15	23	230	792

市立学校教職員数

2 中学校

（令和8年5月1日現在） 単位:人

項目 / 学校名	教員									職員											教職員合計
	県費(校長・教頭含む)						市費			事務職員							給食調理員				
	男性	女性	講師（再任用含）	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	養護教諭補助	教員計	県費	市費	栄養士	学校司書	特別支援教育支援員	心の教室相談員	その他ALT等	正規	会計年度	庁務員	職員計	
第一中学校	19	11	5	1	1				37	1	1		1	2	2	5			1	13	50
第二中学校	11	8	6	1			1		27	1	1		1	1	1	1			1	7	34
第三中学校	11	13	4	1					29	1	1		1	1	1	4			1	10	39
第四中学校	15	20	5	1					41	2	1		1	3	2	2			1	12	53
第五中学校	19	8	7	1					35	1	1		1	3	1	4			1	12	47
塩田中学校	15	16	6	1					38	1	1		1	2	1	7			1	14	52
第六中学校	15	12	3	1		1			32	2	1	1	1	1	1	2			1	10	42
丸子中学校	12	8	4	1					25	1	1		1	1	1	4			1	10	35
丸子北中学校	11	7		1					19	1	1		1	1	1				1	6	25
菅平中学校	9	6		1					16							1			1	2	18
真田中学校	10	5	3	1		1			20	1	1		1	1	1	1	1	4	1	12	32
中学校計	147	114	43	11	1	2	1		319	12	10	1	10	16	12	31	1	4	11	108	427

小中計	342	348	144	34	3	5	3	2	881	38	21	4	34	67	31	83	7	19	34	338	1219

［参 考］上田市長和町中学校組合立 単位:人

依田窪南部中学校	13	5	3	1			2		24	1		1	1	1		2		2	1	9	33

3 幼稚園

（令和8年5月1日現在）単位:人

項目 / 園名	教員				
	園長	主任教諭	教諭	臨時	教員計
ちぐさ幼稚園	1	1	2	3	7

小・中学校通学区域

小・中学校の通学区域は、上田市立小・中学校の通学区域に関する規則において、基本的に自治会単位で定めています。

１　小学校通学区域

学校名	通学区域
清明小学校	南天神町、北天神町、松尾町、鷹匠町、本町、末広町、大手町、横町、海野町、原町、袋町、馬場町、田町、丸堀町、木町、泉平、北大手町、天神の杜
東小学校	踏入、泉町、上常田、中常田、下常田、北常田、材木町、常入、染屋、岩門
西小学校	下紺屋町、鎌原、新町、西脇、諏訪部、生塚、緑が丘、新屋、緑が丘北、緑が丘西、常磐町、城北
北小学校	上川原柳町、下川原柳町、愛宕町、上鍛冶町、鍛冶町、上房山、下房山、柳町、新田、上紺屋町、山口、蛇沢
城下小学校	小牧、諏訪形、須川、中村、三好町、御所、朝日ヶ丘
塩尻小学校	秋和、上塩尻、下塩尻
川辺小学校	上田原、川辺町（三区）、倉升、神畑、築地、福田、吉田、東築地
神川小学校	大屋、岩下、下青木、上青木、久保林、黒坪、上沢、国分、下堀、上堀、みすず台南、みすず台北、梅が丘
神科小学校	畑山、伊勢山、神科新屋、野竹、西野竹、笹井、金井、大久保、長島、金剛寺、富士見台、住吉が丘、川原
豊殿小学校	森、大日木、長入、宮之上、小井田、中吉田、町吉田、下吉田、林之郷、下郷、岩清水、矢沢、赤坂、漆戸、桜台、ひかり
東塩田小学校	平井寺、鈴子、石神、柳沢、下之郷、奈良尾、中組、下組、桜
中塩田小学校	下本郷、五加、東五加、上本郷、中野、上小島、下小島、保野、舞田、学海北、学海南
塩田西小学校	八木沢、セレーノ八木沢、八舞、十人、塩田新町、東前山、西前山、手塚、山田、野倉、分去、大湯、院内、上手
浦里小学校	浦野、越戸、藤之木、浦野南団地
川西小学校	仁古田、岡、小泉、下室賀、上室賀、ひばりケ丘
南小学校	中之条、千曲町、半過、川辺町（一区、二区）、下之条
丸子中央小学校	下丸子、中丸子、上丸子、腰越、東内、長瀬のうち３６２９番地の３、３６２９番地の４、３６２９番地の５、３６２９番地の１５、３６２９番地の２５、３６２９番地の３３、３６２９番地の３４、平井、西内、鹿教湯温泉

学校名	通学区域
丸子北小学校	生田、御嶽堂、長瀬（長瀬のうち３６２９番地の３、３６２９番地の４、３６２９番地の５、３６２９番地の１５、３６２９番地の２５、３６２９番地の３３、３６２９番地の３４、２８８８番地の６、２８９３番地の１、２８９４番地の２、２９０５番地の２、２９０６番地の３、２９０８番地の３、２９０９番地の１、２９３２番地、２９３３番地、２９３７番地の２を除く。）、塩川のうち３８７１番地、３９５５番地の２、３９５６番地の２、３９５６番地の４、３９５６番地の６、３９５９番地の２、３９５９番地の３、３９５９番地の５、３９６５番地の２、３９６９番地、３９７０番地の１、４３３６番地
塩川小学校	塩川（塩川のうち３８７１番地、３９５５番地の２、３９５６番地の２、３９５６番地の４、３９５６番地の６、３９５９番地の２、３９５９番地の３、３９５９番地の５、３９６５番地の２、３９６９番地、３９７０番地の１、４３３６番地を除く。）、藤原田、長瀬のうち２８８８番地の６、２８９３番地の１、２８９４番地の２、２９０５番地の２、２９０６番地の３、２９０８番地の３、２９０９番地の１、２９３２番地、２９３３番地、２９３７番地の２
菅平小学校	菅平高原（大洞地区を除く。）
長小学校	真田町長、菅平高原（大洞地区）
傍陽小学校	真田町傍陽
本原小学校	真田町本原
武石小学校	武石鳥屋、武石沖、下武石、上武石、武石下本入、武石上本入、武石小沢根、武石余里

２　中学校通学区域

学校名	通学区域
第一中学校	東小学校、神川小学校の通学区域
第二中学校	清明小学校、塩尻小学校の通学区域、西小学校の通学区域（新町、西脇、諏訪部、生塚）
第三中学校	北小学校の通学区域、西小学校の通学区域（下紺屋町、鎌原、緑が丘、新屋、緑が丘北、緑が丘西、常磐町、城北）
第四中学校	城下小学校、南小学校の通学区域
第五中学校	神科小学校、豊殿小学校の通学区域
塩田中学校	東塩田小学校、中塩田小学校、塩田西小学校の通学区域
第六中学校	川辺小学校、浦里小学校、川西小学校の通学区域
丸子中学校	丸子中央小学校の通学区域
丸子北中学校	丸子北小学校、塩川小学校の通学区域
菅平中学校	菅平小学校の通学区域
真田中学校	長小学校、傍陽小学校、本原小学校の通学区域
依田窪南部中学校	武石小学校、小県郡長和町立長門小学校、和田小学校の通学区域

市立学校施設

1　校地

令和8年5月1日現在

学校名＼校地		校地総面積（単位：㎡）	内訳			屋外運動場一人当たり面積
			建物敷地	屋外運動場	実験実習地・その他	
小学校	清明	18,995	10,594	8,353	48	29.9
	東	18,623	10,025	8,175	423	17.8
	西	20,615	12,915	※ 7,615	85	21.8
	北	34,978	16,899	※ 17,390	689	46.0
	城下	19,985	9,904	8,806	1,275	23.3
	塩尻	20,687	13,273	※ 7,414		46.3
	川辺	32,572	22,372	※ 9,480	720	19.4
	神川	19,886	10,894	※ 8,992		19.9
	神科	32,970	24,985	7,745	240	11.6
	豊殿	21,608	14,194	※ 7,414		42.4
	東塩田	23,385	14,768	8,438	179	47.1
	中塩田	27,827	17,082	10,745		23.5
	塩田西	26,059	16,028	※ 9,678	353	46.8
	浦里	18,193	8,535	9,493	165	279.2
	川西	22,135	14,357	7,778		35.0
	南	26,270	14,570	※ 11,700		19.1
	丸子中央	23,579	14,865	8,714		23.5
	丸子北	28,000	19,115	8,885		28.6
	塩川	14,503	6,560	7,943		48.4
	菅平	11,129	4,576	6,553		119.1
	長	22,863	13,483	7,655	1,725	90.1
	傍陽	17,895	8,468	7,740	1,687	98.0
	本原	12,540	6,794	5,474	272	25.9
	武石	17,025	7,033	7,780	2,212	63.8
計		532,322	312,289	209,960	10,073	30.5

※　夜間照明施設あり

校地 / 学校名		校地総面積（単位：㎡）	内訳			屋外運動場一人当たり面積
			建物敷地	屋外運動場	実験実習地・その他	
中学校	第一	40,587	25,989	※ 13,400	1,198	26.4
	第二	12,208	3,846	6,194	2,168	22.4
	第三	21,773	11,842	※ 9,735	196	29.0
	第四	25,162	13,561	※ 10,541	1,060	19.4
	第五	28,813	12,926	※ 15,442	445	33.9
	塩田	41,925	27,537	※ 14,388		30.0
	第六	31,410	17,113	※ 13,700	597	33.3
	丸子	32,069	19,502	12,567		50.9
	丸子北	29,177	11,558	17,619		75.6
	菅平	8,984	5,216	3,768		144.9
	真田	35,123	18,459	16,293	371	79.1
計		307,231	167,549	133,647	6,035	35.9
幼稚園	ちぐさ	2,672	584	2,088		99.4

※ 夜間照明施設あり

2　校舎

令和8年5月1日現在

建物区分 / 学校名		保有建物面積（単位：㎡）									
		一般校舎					屋内運動場				
		木造	鉄筋コンクリート	鉄骨その他	計	一人当たり面積	木造	鉄筋コンクリート	鉄骨その他	計	一人当たり面積
小学校	清明	315	4,325	131	4,771	17.1		1,293		1,293	4.6
	東		5,687	211	5,898	12.9			1,252	1,252	2.7
	西	27	5,018	78	5,123	14.7		1,384		1,384	4.0
	北	459	5,436	159	6,054	16.0			991	991	2.6
	城下	3,443	2,437	312	6,192	16.4			894	894	2.4
	塩尻	106	3,337	147	3,590	22.4		1,215		1,215	7.6
	川辺	184	5,995	46	6,225	12.7		1,529		1,529	3.1
	神川		5,575	123	5,698	12.6		1,295		1,295	2.9
	神科	33	6,266	130	6,429	9.7			1,710	1,710	2.6
	豊殿	19	4,136	64	4,219	24.1			1,380	1,380	7.9
	東塩田	288	3,939	66	4,293	24.0		1,344		1,344	7.5
	中塩田	178	6,888	142	7,208	15.8		880		880	1.9
	塩田西	46	4,957		5,003	24.2		1,215		1,215	5.9
	浦里	1,300		505	1,823	53.6			704	704	20.7
	川西		2,912	1,588	4,500	20.3			1,303	1,303	5.9
	南		6,400	388	6,788	11.1			1,350	1,350	2.2
	丸子中央	59	6,827	58	6,944	18.7			1,014	1,014	2.7
	丸子北	53	4,522	972	5,547	17.8			802	802	2.6
	塩川		3,946	102	4,048	24.7		854		854	5.2
	菅平		1,946	8	1,954	35.5		679		679	12.3
	長		3,070		3,070	36.1		1,027		1,027	12.1
	傍陽		2,795	212	3,007	38.1		730		730	9.2
	本原		1,233	2,297	3,530	16.7		1,026		1,026	4.9
	武石		3,394	262	3,656	30.0			1,529	1,529	12.5
計		6,528	101,041	8,001	115,570	16.8	0	14,471	12,929	27,400	4.0

建物区分 / 学校名		保有建物面積（単位：㎡）									
		一般校舎					屋内運動場				
		木造	鉄筋コンクリート	鉄骨その他	計	一人当たり面積	木造	鉄筋コンクリート	鉄骨その他	計	一人当たり面積
中学校	第一		10,382		10,382	20.4		3,823		3,823	7.5
	第二		5,348		5,348	19.4		2,238		2,238	8.1
	第三		6,459		6,459	19.2		2,932		2,932	8.7
	第四	11	7,302	332	7,645	14.1		3,450		3,450	6.4
	第五		7,117	701	7,818	17.1	988		79	1,067	2.3
	塩田		8,064		8,064	16.8		3,405		3,405	7.1
	第六		7,172	57	7,229	17.5		1,845		1,845	4.5
	丸子	130	6,059	27	6,216	25.2		1,485		1,485	6.0
	丸子北		5,909	132	6,041	25.9		1,316		1,316	5.6
	菅平		1,517		1,517	58.3		838		838	32.2
	真田		6,581	22	6,603	32.1		2,216		2,216	10.8
計		141	71,910	1,271	73,322	19.7	988	23,548	79	24,615	6.6
幼稚園	ちぐさ	584		0	584	27.8					

中学校の屋内運動場には武道場を含む。
保有面積、構造は文部科学省「公立学校施設台帳」に準ずる。
屋内運動場にクラブハウス・部室は含まない。

３　学校プール

令和8年5月1日現在

学校名＼項目		建設年度	構　造	大プール					小プール			
				コース	長さ(m)	幅(m)	水面面積(㎡)	深　さ(m)	長さ(m)	幅(m)	水面面積(㎡)	深　さ(m)
小学校	清　明	H26	ステンレス	8	25	17	425	1.00～1.20	15	5	75	0.6～0.7
	東	H5	FRP	7	25	14	350	1.00～1.20	25	3	75	0.7
	西	S62	FRP	7	25	15	375	0.90～1.10	15	5	75	0.7
	北	S60	FRP	8	25	17	425	0.90～1.10	15	6	90	0.7
	城　下	H13	ステンレス	6	25	13	325	0.90～1.10	15	5	75	0.5～0.6
	塩　尻	H15	ステンレス	6	25	13	325	0.90～1.10	10	8	80	0.6～0.7
	川　辺	H20	ステンレス	7	25	15	375	0.90～1.10	10	5	50	0.6～0.7
	神　川	S55	鋼板	8	25	17	425	1.00～1.20	18	5	90	0.5～0.8
	神　科	H17	ステンレス	8	25	17	425	1.00～1.20	15	5	75	0.6～0.7
	豊　殿	H1	FRP	6	25	13	325	0.90～1.10	15	5	75	0.7
	東塩田	H4	FRP	6	25	13	325	1.00～1.20	15	5	75	0.7
	中塩田	S36	FRP	6	25	12	300	0.80～1.00			85	0.5～0.6
	塩田西	H7	FRP	6	25	13	325	1.00～1.20	15	5	75	0.7
	浦　里	S37	コンクリート	6	25	10	250	0.90～1.00	25	3	75	0.5～0.6
	川　西	H29	FRP	6	25	13	325	0.90～1.10	12	5	60	0.7
	南	S59	鋼板	8	25	17	425	1.00～1.20	15	6	90	0.7～0.8
	丸子中央	S54	ステンレス	8	25	17	425	0.90～1.10	17	13	213	0.65～0.75
	丸子北	H19	ステンレス	6	25	13	325	1.00～1.20	25	4	100	0.65～0.7
	塩　川	S57	ステンレス	6	25	13	325	0.90～1.10	13	8	104	0.55～0.65
	菅　平	S62	FRP	6	25	12	300	1.10～1.30	25	3	75	0.7
	長	S56	コンクリート	6	25	15	375	0.90～1.10	25	3	75	0.65～0.75
	傍　陽	S40	コンクリート	6	25	10	250	1.00～1.10	25	3	75	0.6～0.7
	本　原	H21	ステンレス	6	25	13	325	0.90～1.10	15	5	75	0.6～0.7
	武　石	S37	ステンレス	7	25	15	375	1.00～1.20	15	6	90	0.7～0.75

学校名＼項目		建設年度	構造	大プール					小プール			
				コース	長さ(m)	幅(m)	水面面積(㎡)	深さ(m)	長さ(m)	幅(m)	水面面積(㎡)	深さ(m)
中学校	第　一	H10	ステンレス	8	25	17	425	1.30～1.50				
	第　二											
	第　三	H30	FRP	6	25	14	350	1.10～1.30				
	第　四	H29	FRP	6	25	14	350	1.2～1.4				
	第　五	S42	コンクリート	7	25	15	375	1.30～1.50				
	塩　田	H23	ステンレス	8	25	17	425	1.20～1.40				
	第　六	S63	FRP	8	25	17	425	1.10～1.30				
	丸　子	H7	FRP	8	25	17	425	1.20～1.40				
	丸子北	H2	FRP	7	25	15	375	1.10～1.30				
	菅　平											
	真　田	S39	コンクリート	7	25	15	375	1.10～1.40				
幼稚園	ちぐさ		コンクリート		8	4	32	0.5				

市立学校学級数、児童・生徒数

1　小学校

令和8年5月1日現在　単位：人

学校名	第1学年				第2学年				第3学年				第4学年				第5学年				第6学年				通常学級	支援学級	学級数合計	通常学級			支援学級			児童生徒総数
	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計				男	女	合計	男	女	合計	
清明小学校	2	2 20	0 24	2 44	2	2 21	0 19	2 40	2	2 18	0 18	2 36	2	0 13	0 31	0 44	2	5 20	0 31	5 51	2	2 25	3 23	5 48	12	3	15	117	146	263	13	3	16	279
東小学校	2	4 27	0 32	4 59	2	4 41	2 24	6 65	2	0 21	1 40	1 61	2	3 35	1 36	4 71	3	10 35	5 42	15 77	3	8 42	5 40	13 82	14	7	21	201	214	415	29	14	43	458
西小学校	2	3 26	2 27	5 53	2	5 27	0 24	5 51	2	6 26	3 17	9 43	2	0 33	1 27	1 60	2	4 27	1 27	5 54	2	8 24	4 27	12 51	12	6	18	163	149	312	26	11	37	349
北小学校	2	2 25	0 28	2 53	2	6 27	1 25	7 52	2	5 23	0 28	5 51	2	3 26	3 29	6 55	3	3 43	1 29	4 72	2	9 32	2 28	11 60	13	5	18	176	167	343	28	7	35	378
城下小学校	2	6 29	0 17	6 46	2	2 33	1 34	3 67	2	3 24	2 27	5 51	2	2 32	1 36	3 68	2	7 23	2 25	9 48	2	6 25	3 38	9 63	12	5	17	166	177	343	26	9	35	378
塩尻小学校	1	2 11	0 10	2 21	1	1 16	0 12	1 28	1	3 14	0 9	3 23	1	0 13	1 9	1 22	1	0 17	0 18	0 35	1	4 12	0 8	4 20	6	2	8	83	66	149	10	1	11	160
川辺小学校	3	5 48	0 37	5 85	3	2 35	3 40	5 75	3	4 39	0 43	4 82	2	3 33	0 37	3 70	3	7 40	2 36	9 76	2	7 36	0 32	7 68	16	5	21	231	225	456	28	5	33	489
神川小学校	3	3 28	1 38	4 66	3	2 26	2 46	4 72	2	5 31	1 32	6 63	2	3 37	2 32	5 69	3	7 38	4 38	11 76	3	1 43	1 30	2 73	16	5	21	203	216	419	21	11	32	451
神科小学校	4	5 45	3 46	8 91	4	0 61	2 55	2 116	4	6 54	1 56	7 110	3	6 46	3 55	9 101	3	6 44	3 55	9 99	4	4 49	2 58	6 107	22	6	28	299	325	624	27	14	41	665
豊殿小学校	1	3 14	0 11	3 25	1	5 7	0 16	5 23	1	1 9	0 16	1 25	1	2 19	0 8	2 27	1	3 14	0 17	3 31	1	2 6	1 21	3 27	6	3	9	69	89	158	16	1	17	175
東塩田小学校	1	2 15	1 11	3 26	1	1 6	0 14	1 20	1	1 8	0 14	1 22	2	3 14	1 22	4 36	1	2 20	0 11	2 31	1	0 19	1 13	1 32	7	3	10	82	85	167	9	3	12	179
中塩田小学校	3	3 37	1 38	4 75	2	4 27	0 29	4 56	3	3 32	0 42	3 74	3	6 34	1 42	7 76	3	5 38	1 35	6 73	3	3 34	1 41	4 75	17	4	21	202	227	429	24	4	28	457
塩田西小学校	1	1 20	0 11	1 31	1	0 20	0 13	0 33	1	2 14	0 17	2 31	1	1 15	1 15	2 30	1	2 14	0 19	2 33	2	2 22	0 18	2 40	7	2	9	105	93	198	8	1	9	207
浦里小学校	0	0 0	0 0	0 0	1	0 3	0 5	0 8	1	0 1	0 3	0 4	1	0 6	0 3	0 9	1	0 0	0 5	0 5	1	0 4	1 3	1 7	5	1	6	14	19	33	0	1	1	34
川西小学校	2	1 20	0 20	1 40	1	1 9	1 15	2 24	2	7 20	1 21	8 41	1	1 16	0 7	1 23	2	0 13	3 28	3 41	1	4 18	0 16	4 34	9	3	12	96	107	203	14	5	19	222
南小学校	3	4 30	1 51	5 81	3	5 39	2 46	7 85	3	7 41	3 46	10 87	3	5 49	2 52	7 101	4	6 50	1 60	7 110	4	5 49	0 59	5 108	20	6	26	258	314	572	32	9	41	613
丸子中央小学校	2	4 26	2 20	6 46	2	6 29	0 22	6 51	2	1 29	2 30	3 59	2	7 21	1 33	8 54	2	5 33	1 30	6 63	2	3 31	0 35	3 66	12	5	17	169	170	339	26	6	32	371
丸子北小学校	2	5 22	1 18	6 40	2	4 28	2 22	6 50	2	2 24	3 30	5 54	2	2 20	1 20	3 40	2	5 19	0 24	5 43	2	5 24	2 28	7 52	12	5	17	137	142	279	23	9	32	311
塩川小学校	1	0 13	0 15	0 28	1	1 12	0 13	1 25	1	3 13	1 15	4 28	1	5 11	0 14	5 25	1	2 9	0 7	2 16	1	6 11	1 12	7 23	6	3	9	69	76	145	17	2	19	164
菅平小学校	1	0 5	0 6	0 11	1	0 2	0 6	0 8	1	0 4	0 2	0 6	1	0 7	0 3	0 10	1	0 5	0 6	0 11	1	0 4	0 5	0 9	6	0	6	27	28	55	0	0	0	55
長小学校	1	0 6	0 2	0 8	1	0 6	0 4	0 10	1	0 7	0 5	0 12	1	1 9	0 4	1 13	1	3 4	0 10	3 14	1	4 6	0 14	4 20	6	2	8	38	39	77	8	0	8	85
傍陽小学校	1	1 7	0 4	1 11	1	0 5	3 7	3 12	1	0 3	0 5	0 8	1	0 8	0 2	0 10	1	1 9	0 12	1 21	1	0 8	0 4	0 12	6	2	8	40	34	74	2	3	5	79
本原小学校	1	2 12	0 10	2 22	1	0 17	0 18	0 35	2	1 12	3 26	4 38	1	0 14	0 13	0 27	2	2 24	0 26	2 50	1	1 12	0 18	1 30	8	2	10	91	111	202	6	3	9	211
武石小学校	1	0 5	0 10	0 15	1	0 5	1 10	1 15	1	4 10	0 5	4 15	1	5 9	0 12	5 21	1	3 5	4 3	7 8	1	3 10	2 16	5 26	6	4	10	44	56	100	15	7	22	122
小学校計	42	58 491	12 486	70 977	41	51 502	20 519	71 1,021	43	66 477	21 547	87 1,024	40	58 520	19 542	77 1,062	46	88 544	28 594	116 1,138	44	87 546	29 587	116 1,133	256	89	345	3,080	3,275	6,355	408	129	537	6,892
合　計	上段：支援学級児童生徒数を外数で記載。総合計は支援学級及び原峠分室を含めた全児童生徒数。																																	

市立学校学級数、児童・生徒数

2 中学校

令和8年5月1日現在　　単位：人

学校名	第1学年				第2学年				第3学年				通常学級	支援学級	学級数合計	通常学級			支援学級			児童生徒総数
	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計				男	女	合計	男	女	合計	
第一中学校	5	8 87	5 77	13 164	5	10 69	0 74	10 143	5	5 79	2 92	7 171	15	6	21	235	243	478	23	7	30	508
第二中学校	3	6 42	2 42	8 84	3	4 45	2 42	6 87	3	1 47	1 42	2 89	9	3	12	134	126	260	11	5	16	276
第三中学校	3	4 47	2 37	6 84	4	10 59	5 55	15 114	4	6 47	2 62	8 109	11	4	15	153	154	307	20	9	29	336
第四中学校	5	7 71	2 90	9 161	5	10 84	6 80	16 164	5	9 103	2 72	11 175	15	6	22	258	242	500	26	10	43	543
（原峠分室）		1	1	2		0	1	1		3	1	4		1					4	3		
第五中学校	4	6 58	2 76	8 134	5	6 76	6 68	12 144	5	13 66	3 76	16 142	14	6	20	200	220	420	25	11	36	456
塩田中学校	5	8 79	0 67	8 146	5	11 77	3 79	14 156	5	7 79	3 67	10 146	15	5	20	235	213	448	26	6	32	480
第六中学校	4	11 59	1 77	12 136	4	10 63	6 56	16 119	4	8 61	0 60	8 121	12	5	17	183	193	376	29	7	36	412
丸子中学校	3	4 48	2 37	6 85	2	1 32	2 32	3 64	3	2 47	3 37	5 84	8	3	11	127	106	233	7	7	14	247
丸子北中学校	2	7 33	2 27	9 60	3	1 40	1 38	2 78	3	3 43	1 37	4 80	8	3	11	116	102	218	11	4	15	233
菅平中学校	1	0 5	0 5	0 10	1	0 1	0 2	0 3	1	0 3	0 10	0 13	3	0	3	9	17	26	0	0	0	26
真田中学校	2	4 24	1 41	5 65	2	3 41	0 28	3 69	2	4 29	0 31	4 60	6	3	9	94	100	194	11	1	12	206
中学校計	37	66 553	20 576	86 1,129	39	66 587	32 554	98 1,141	40	61 604	18 586	79 1,190	116	45	161	1,744	1,716	3,460	193	70	263	3,723
合　計	上段：支援学級児童生徒数を外数で記載。総合計は支援学級及び原峠分室を含めた全児童生徒数。																					

令和7年5月1日との比較

	年月日	男子	女子	合計
小学校	R7.5.1	3,587	3,525	7,112
	R8.5.1	3,488	3,404	6,892
	増減	-99	-121	-220

	年月日	男子	女子	合計
中学校	R7.5.1	1,963	1,826	3,789
	R8.5.1	1,937	1,786	3,723
	増減	-26	-40	-66

全体	男子	女子	合計
	5,425	5,190	10,615

全体	小学校	中学校	合計
	6,892	3,723	10,615

3 上田市長和町中学校組合立（令和8年度5月1日現在）

単位：人

学校名	第1学年				第2学年				第3学年				通常学級	支援学級	学級数合計	通常学級			支援学級			児童生徒総数
	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計				男	女	合計	男	女	合計	
依田窪南部中学校	2	7 21	5 24	12 45	2	2 29	2 18	4 47	2	7 20	2 30	9 50	6	4	10	70	72	142	16	9	25	167

4 幼稚園（令和8年度5月1日現在）

単位：人

幼稚園名	2歳児				3歳児（年少）				4歳児（年中）				5歳児（年長）				合計			
	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計
ちぐさ幼稚園	0	0	1	1	1	4	4	8	0	4	1	5	1	1	6	7	2	9	12	21

児童・生徒の体位（平均）

令和6年度

区分			男			女		
			身長(cm)	体重(kg)	測定人数(人)	身長(cm)	体重(kg)	測定人数(人)
小学校	1年	上田市	116.8	21.3	545	115.7	21.0	565
		長野県	116.5	21.3	7,599	115.7	20.9	7,450
	2年	上田市	122.7	24.1	569	121.8	23.6	554
		長野県	122.5	24.0	7,990	121.4	23.4	7,374
	3年	上田市	128.4	27.6	620	127.5	26.5	610
		長野県	128.2	27.3	8,256	127.5	26.5	7,824
	4年	上田市	134.0	31.2	629	133.9	30.4	613
		長野県	133.6	30.9	8,475	133.5	30.1	8,037
	5年	上田市	139.7	35.3	632	140.6	34.7	612
		長野県	139.2	34.8	8,364	140.5	34.5	8,131
	6年	上田市	146.3	39.9	664	147.4	39.9	596
		長野県	145.8	39.4	8,474	147.1	39.3	8,207
中学校	1年	上田市	153.7	45.5	651	152.2	44.1	606
		長野県	153.4	45.0	8,807	152.1	44.1	8,352
	2年	上田市	161.2	51.1	641	154.7	47.4	622
		長野県	160.8	50.4	8,813	155.0	47.3	8,416
	3年	上田市	166.0	55.5	641	156.2	49.1	557
		長野県	165.7	55.0	8,714	156.3	49.7	8,349

中学校卒業者の進路状況

単位：人

年度	卒業者数	高校(公立)			高校(私立)		高専	進学者合計	進学率%	各種学校	職業訓練校	就職	家居	帰国その他
		全日制	定時制・通信制	多部制	全日制	定時制・通信制								
2	1,375	981	29	73	215	52	14	1,364	99.2	1	0	1	8	1
3	1,324	932	32	74	203	53	15	1,309	98.9	1	0	4	9	1
4	1,337	914	34	63	222	73	8	1,314	98.3	10	0	0	10	3
5	1,325	923	30	52	198	81	16	1,300	98.1	8	0	2	12	1
6	1,238	838	34	52	202	80	17	1,223	98.8	3	0	3	10	1
7	1,282	875	24	55	216	78	16	1,264	98.6	6	0	1	11	0

情報教育

１　学校教育の情報化に関する基本方針の概要

○わかる授業の実現（確かな学力の育成）
・情報機器を活用した学力向上のための効果的な授業の実施
○情報活用能力の育成（情報リテラシーの向上）
・情報教育の推進、情報機器等を活用した指導力の向上
○情報モラルの育成
・情報モラルの育成、学校教育の情報化に対応した安全管理体制の整備
○情報機器等の環境整備
・情報教育環境整備の推進
○学校ホームページを活用した開かれた学校づくり
・更新操作の職員研修の開催、ＩＣＴ支援員による校務支援

２　ＩＣＴ機器の整備状況（令和８年４月１日現在）

箇所	整　　備　　内　　容
PC 教室	小学校：ＧＩＧＡスクール１人１台環境を受け、廃止。 中学校：技術科に対応するため存続していたが、端末更新はせず、学校の要望により徐々に廃止している。
普通教室 特別支援教室 特別教室（一部）	Ｗｉ−Ｆｉ環境整備完了
事務室	ＰＣ１台（庁内ＬＡＮ接続用）
職員室	ＰＣ１台（デスクトップ型共用機）　Ｗｉ−Ｆｉ環境整備完了
教職員用	ノートパソコン　常勤教職員に１人１台
児童生徒用	コンピュータ（２ｉｎ１型）１人１台
各学校	大型ＴＶモニター：全学校普通教室に配備 書画カメラ、画面投影機、大判プリンタ：全学校に配備

３　情報機器を活用した授業実施に向けた支援体制

情報教育担当指導主事を中心とした情報教育の推進	ア　情報機器を活用した「わかる授業」の実現 ・情報教育主任会を充実させ、情報教育担当教員が自校の全教員へ指導を実施。全教職員のスキルアップを図る。 ・教職員ポータルサイトの内容充実を図り、全教職員への情報発信や学習資料等の共有を行う。 ・情報教育担当者や導入機器・ソフトウェアのメーカーと連携して活用研修を実施し、情報機器の活用能力を高める。 ・教職員を対象に研修会を実施し、プログラミング教育への共通理解および授業での活用力を高める。 イ　情報セキュリティ・モラル指導を行う。 ・学校からの依頼により、教職員、児童生徒、保護者、それぞれを対象とした情報モラル指導を実施、または、コーディネートする。 ウ　情報担当者や学校間の連携を図る。

	・学校からの要望、上田市の情報環境や活用状況を把握し、調整を図りながら、学校の情報化を推進する。 エ　教職員情報教育研修会の実施 ・１人１台端末活用に向けた研修
上田市市民ＩＣＴ推進センターへ委託している様々な支援	ア　安全かつ高速で活用できるネットワークやサーバーの管理 ・学校環境に適したフィルター設定等の実施 ・個人情報など機密事項の漏えい事故を防止するためのウイルス対策と監視 イ　使用目的や上田市の情報環境に適した情報機器やソフトウェアの導入テストや検討 ウ　教職員間の情報共有や地域への情報発信のための教職員ポータルサイトや学校ホームページの管理
行政情報処理センターへ委託している情報機器等の保守管理業務	ア　パソコンの接続不良等のトラブル対応、機器の保守メンテナンス等 イ　学校からの依頼によるソフトウェアのインストールや情報機器の接続設定、活用研修 ウ　情報モラル教育支援 学校からの依頼により、児童生徒、保護者、それぞれを対象とした情報モラル指導支援を実施
外部への委託で行うＩＣＴ支援業務	ア　学校ＩＣＴ支援（平成２１年度から行政情報処理センターへ委託していたが、令和８年度に委託先を変更） ・授業支援（機器操作支援　等） ・校務支援（情報機器操作支援、教材作成支援　等） ・ホームページ作成支援 ・１人１台端末の活用支援 イ　プログラミング入門授業支援 ウ　ＩＣＴ環境整備  プログラミング授業支援

４　情報セキュリティ

上田市教育委員会では、平成１８年度に学校間情報ネットワークの一元化に併せて技術的なセキュリティ対策の向上を図るとともに、「上田市小中学校等情報セキュリティポリシー」を策定し情報セキュリティ対策に取り組んでいる。令和３年度にはネットワーク及びセキュリティの再構築を行い、さらなる技術的セキュリティ対策の向上を図った。また、ＧＩＧＡスクール構想に沿った教職員用セキュリティマニュアルを作成し、令和４年度から運用している。令和７年度にはセキュリティポリシー・マニュアルともに改定を行い「上田市教育情報セキュリティポリシー」、「上田市教育情報セキュリティ実施マニュアル」として令和８年度から運用を開始している。

［徹底事項］

① 個人情報の取り扱い
② 離席する場合の対応
③ パスワード管理の徹底
④ 個人情報の持ち出し
⑤ 学校内での情報管理ルールの徹底

５　メディアリテラシーの指導について

インターネットや情報端末の急速な普及に伴い、児童生徒への悪影響が心配されている。上田市内の小中学生においてもスマホやタブレット等の所持率が上がり、「ＳＮＳなどでの誹謗中傷や仲間はずし」、「ネット依存」、「ネット上で知り合った人との接触」などの事案が起こっており、殺人事件や自殺、性被害にいつ巻き込まれてもおかしくない状況にあると考えられる。

このため、児童生徒がインターネットや情報端末を利用する際の正しいルールやマナー（情報モラル）を身に付けるとともに、情報活用能力（メディアリテラシー）を向上させていくことが必要である。

各学校においては、児童・生徒のインターネットや携帯端末等の利用実態の把握に努めるとともに、依存しないための居場所づくりや自己肯定感の育成に努めていく必要がある。

① 各学校において、児童・生徒のインターネットや情報端末等の利用実態の把握（子どもとメディア信州による「情報端末とのよりよい関わりに向けたアンケート」を実施する）、それに伴ういじめの実態把握に努めていただくとともに、児童生徒のメンタルの部分での指導を行う。
② 児童生徒へのメディアリテラシーの指導や、安易に情報端末等を与えることの危険性、インターネット利用の危険性について保護者への啓発を行う。
③ 「スマホ・ネットをかしこく安全に使うために（生涯学習・文化財課発行）」リーフレットの活用を促進する。

６　有害情報への対応について

インターネットを利用した情報収集を行う場合は、有害情報への対応について配慮が必要である。学校では、（一財）上田市地域振興事業団の支援を受けながら、児童生徒に正しい情報を選択するための教育（情報モラル教育）を実施している。

ネットワーク環境においては、フィルタリングソフトを導入し、インターネット接続における Web フィルタリング設定を行っている。フィルタリングソフトはクラウド型を採用しており、児童生徒が家庭学習のために１人１台端末を持ち帰って使用する際にも効力がある。また、児童生徒の心身の健全な発達のため、１人１台端末での夜間のインターネット接続はできないよう配慮している。

キ　ャ　リ　ア　教　育

１　キャリア教育

現在、若者をめぐる社会情勢は厳しく、さらには精神的・社会的な自立の遅れも指摘されています。

そのため、幼保・小・中・高の各発達段階において、必要な教育を体系的・系統的に進め、学校から社会生活への円滑な移行が大切となっています。

子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろうさまざまな課題に柔軟、かつ、たくましく対応し、社会人、職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育の推進が強く求められています。

２　小中学校の取組

各学校では、外部講師として、地元の方や企業、技術者、専門家の方などにお願いし、稲作り・野菜作り等の農業や、地元工芸や手芸、ものづくりの専門家からの技術指導などの学習をしています。

中学校では、社会における役割や将来の生き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定に導いていくことが大切です。

そのため、市内の中学校では、２日から３日間の「職場体験学習」を実施しています。令和７年度は、市内中学校１１校で、各事業所の協力により約４００事業所において職場体験学習を実施しました。

勤労観や職業観を身につけ、進路や生き方について自分で選択・決定する能力を育て、将来の子どもの自立を促す必要があるため、「職場体験学習」をとおして、働くことへの関心や意欲を高めることで将来の職業生活に夢や希望を抱き、学校で学ぶことと、働くということを結びつけることを目指しています。

３　市の取組

職場体験学習の成果を産業ミライフェス in Ueda へ出展することなどによって、職場体験学習の場の拡大と地域への啓発等に努めています。

そして、児童・生徒にものづくりや働くことの大切さを理解させ、実践的な体験の充実を図るなど、地域全体でキャリア教育を支援・推進します。

地域とともにある学校づくり

1　コミュニティ・スクール

Ⅰ　コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールは、平成１６年６月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により導入されました。

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

保護者や地域住民などで構成される学校運営協議会が設置されている学校をコミュニティ・スクールと呼び、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われ、これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。

Ⅱ　コミュニティ・スクール導入についての考え方

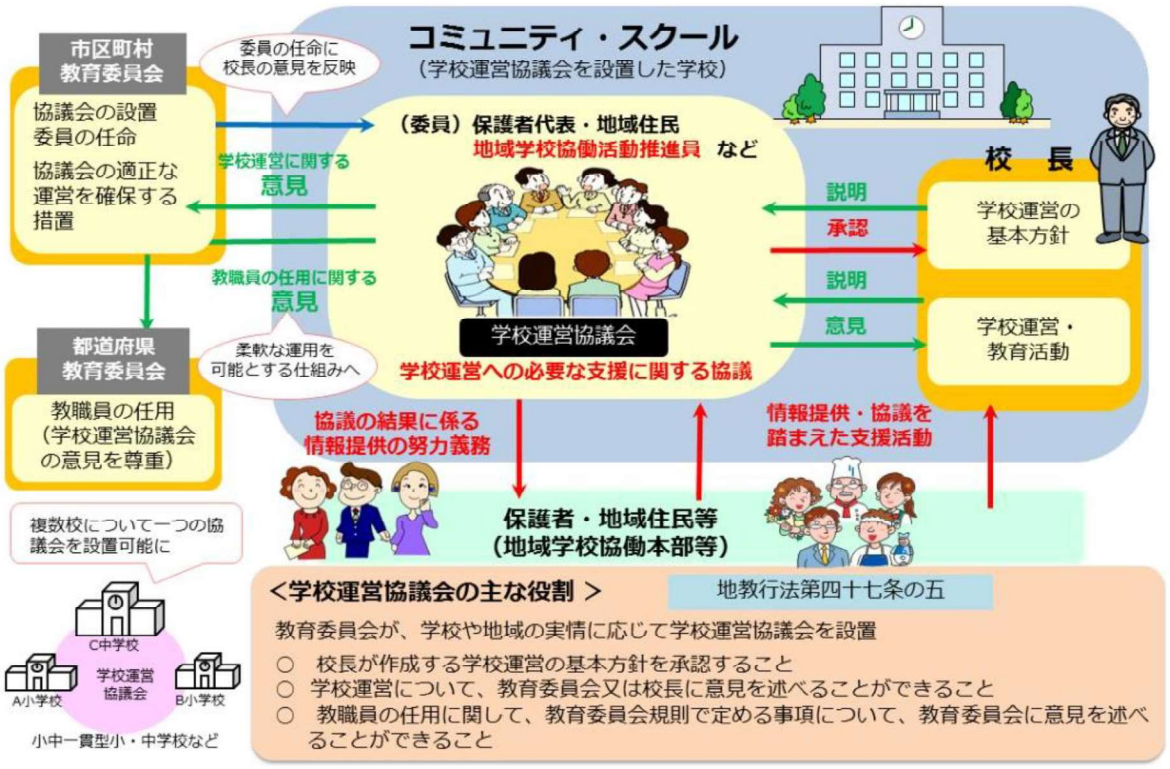
上田市教育委員会では、保護者の願いと地域の声を反映させるとともに、学校の自主性・自立性を尊重し、学校と保護者・地域とが協働した教育活動の充実を図るため、コミュニティ・スクールも一つの方法と捉え、信州型コミュニティスクールと併せて、平成２３年度より条件の整った学校から学校運営協議会の設置を行っています。

Ⅲ　学校運営協議会の設置状況

（１）設置されている学校　　上田市立浦里小学校、上田市立川西小学校、上田市立北小学校

（２）学校運営協議会委員　　８人以内

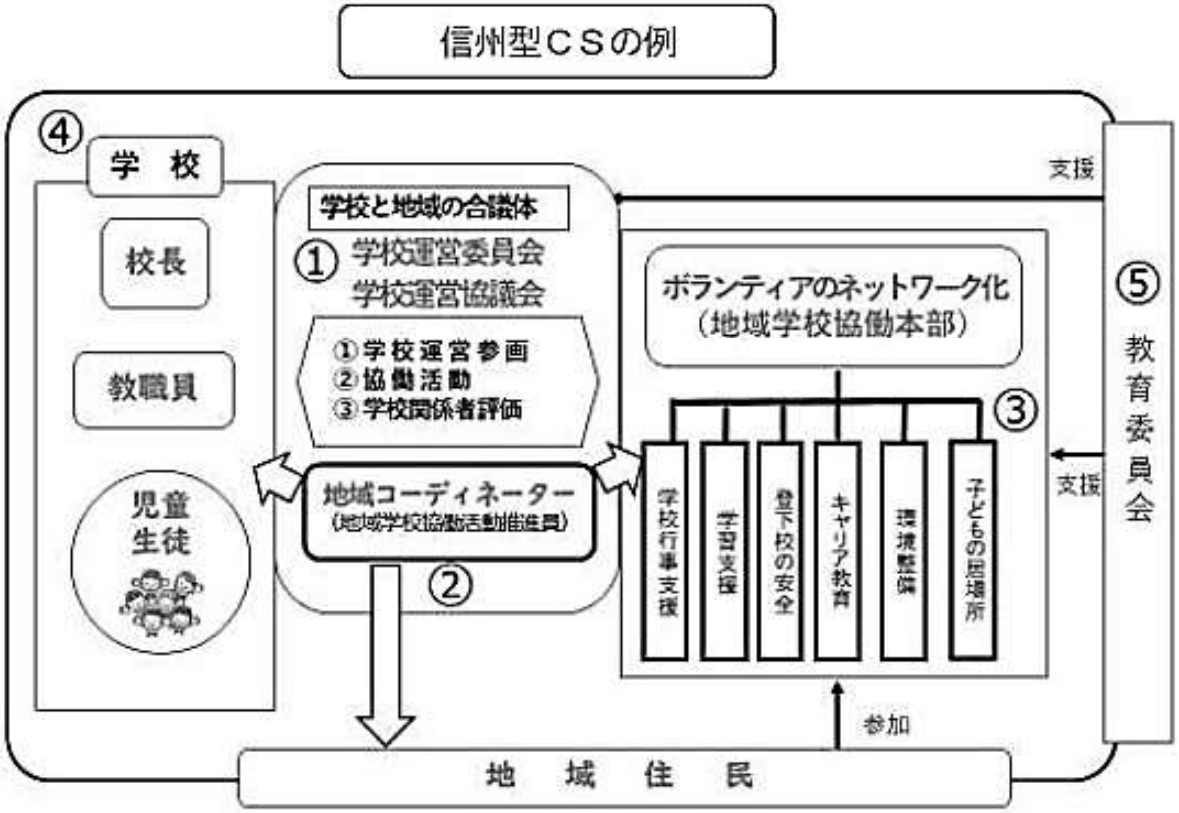
（３）委員の任期　　１年



２ 信州型コミュニティスクール

長野県では、各学校は地域との間に築き上げてきた土台の上に、①学校運営参画②協働活動③学校評価機能を一体的・持続的に実施する仕組みを「信州型コミュニティスクール（信州型ＣＳ）」として構築し、学校と地域住民の協働により、子どもたちの豊かな成長を支えるため、「地域と共にある学校」づくりを進めています。

上田市の現状としては、国型のコミュニティ・スクールの小学校３校と、その他全ての小中学校において、信州型コミュニティスクールの要件を満たしています。



３　上田市学校支援プロジェクト（地域学校協働活動）

国で推奨している統括コーディネーターを配置し、各地域のコーディネーター及び公民館と連携しながら、学校支援及び地域学校協働活動を推進しています。

ボランティアの皆さんへ「学校支援ボランティアハンドブック」や「コーディネーター向けのハンドブック」などのマニュアルを配布するとともに、「ボランティア活動保険」に加入し、安心して活動していただけるよう配慮しています。

また、持続可能な「地域とともにある学校づくり」を目指し、活動している関係者への支援として交流会・研修会等の実施、活動を紹介する「地域とともにある学校づくり」などの作成・配布、特色ある活動のホームページへの掲載などを行っています。

教育相談・児童生徒支援

1　教育相談所

教育相談所は、「学校に行きたがらない」、「学校生活での心配」等子どものさまざまな問題をともに考え、児童生徒、保護者及び教職員の支援を行っています。

教育相談所	場　　所	中央六丁目５番３９号　ひとまちげんき　健康プラザうえだ内 電話２７－０２４１
	開所時間等	１　開所日　　月曜日から金曜日まで ２　開所時間　　午前９時から午後４時まで ３　休所日　　土曜日、日曜日、祝日、年末・年始

2　相談件数

教育相談所での相談件数及び訪問件数の状況です。教育相談所では、相談業務のほかに、必要に応じて学校、家庭訪問等も行っています。

単位：件

項　　目		Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
来所相談	保護者	221	291	129
	児童生徒	107	167	54
	学　　校	182	348	216
	関係機関	625	829	690
	計	1, 135	1, 635	1, 089
電話相談	保護者	232	253	216
	児童生徒	1	9	1
	学　　校	1, 438	1, 563	1, 389
	関係機関	1, 329	1, 383	1, 667
	計	3, 000	3, 208	3, 273
訪問支援	保護者	3	0	2
	児童生徒	(3)	0	2
	学　　校	647	688	671
	関係機関	432	452	500
	計	1, 082	1, 140	1,173

３　中間教室

中間教室（ふれあい教室）では、学校・家庭との連携を密にしながら、児童生徒の一人ひとりの状況に応じた支援を行います。それぞれの子どもの状態を見ながら、一日の日課や活動内容を工夫し、集団活動や学ぶことの楽しさ、充実感が実感できることを目指します。

ふれあい教室	常磐城教室	常磐城六丁目３番２９号（旧ときわ保育園）	電話２７－０１０４
	上田原教室	上田原１０８１－３	電話２３－６８２１
	丸子教室	生田２１７７　（信州国際音楽村内）	電話４２－１０９０
	真田教室	真田町本原２１６５	電話７２－２００４
	武石教室	武石上本入３７４　（旧権現保育園）	電話８５－３３４４
	開所時間	１　開所日　　月曜日から金曜日まで ２　開所時間　　午前９時から午後４時まで ３　休所日　　土曜日、日曜日、祝日、年末・年始	

４　児童生徒支援体制

名　　称	内　　容
スクール カウンセラー （県・市配置）	児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣し、児童生徒へのカウンセリングや教職員及び保護者への相談・助言に当たり、いじめや不登校などの問題解決と予防に当たります。 県のスクールカウンセラーに加え、令和４年度から市単独のスクールカウンセラーを新規に配置し、市内全ての小中学校を対象校とした細やかな相談活動を行っています。
スクールソーシャルワーカー （県・市配置）	悩みを抱える児童生徒が置かれている環境を改善するための支援、関係機関等とのネットワークの構築、学校内におけるチーム支援体制の構築、保護者や教職員等に対する支援、助言及び情報提供、教職員等への研修等の活動を行っています。県のスクールソーシャルワーカーに加え、令和４年度から市単独のスクールソーシャルワーカーを新規に配置しています。
子どもと親の相談員 心の教室相談員	子どもと親の相談員（県配置）または心の教室相談員を全小中学校に配置し、当該学校長のもとで、学級担任等と連携し、不登校児童生徒及び不登校傾向児童生徒に対する登校援助指導や相談等を実施します。
上田地域定住自立圏 ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ・ ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	上田地域定住自立圏共生ビジョンによりスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを小・中学校に派遣し、児童生徒へのカウンセリングや教職員及び保護者への相談・助言、いじめや不登校などの問題解決と予防に当たります。

特 別 支 援 教 育

1　学校別特別支援学級の状況

令和8年5月1日現在

項目 / 学校名		知的障がい		自閉症・情緒障がい		虚弱、肢体、難聴等	計
		学級数	開設年月日	学級数	開設年月日	学級数	
小学校	清　明	1	昭和58年4月1日	2	昭和60年4月1日		3
	東	2	昭和39年4月2日	4	平成 5年4月1日	1	7
	西	3	昭和42年5月4日	3	平成16年4月1日		6
	北	2	昭和29年5月8日	3	平成元年4月1日		5
	城　下	2	昭和32年4月1日	3	平成14年4月1日		5
	塩　尻	1	昭和53年4月1日	1	平成25年4月1日		2
	川　辺	2	昭和35年6月1日	3	平成 5年4月1日		5
	神　川	2	昭和47年5月1日	3	平成16年4月1日		5
	神　科	2	昭和42年4月1日	4	平成 4年4月1日		6
	豊　殿	1	昭和43年5月1日	2	平成 2年4月1日		3
	東塩田	1	昭和33年4月1日	2	平成24年4月1日		3
	中塩田	2	昭和48年5月1日	2	平成18年4月1日		4
	塩田西	1	平成 9年4月1日	1	平成20年4月1日		2
	浦里小			1	令和4年4月1日		1
	川　西	1	平成 2年4月1日	2	平成18年4月1日		3
	南	2	昭和59年4月1日	4	平成10年4月1日		6
	丸子中央	2	昭和46年4月1日	3	昭和61年4月1日		5
	丸子北	3	昭和48年4月1日	2	平成13年4月1日		5
	塩　川	1	平成18年4月1日	2	平成18年4月1日		3
	長	1	昭和45年5月1日	1	平成28年4月1日		2
	傍　陽	1	昭和41年4月1日			1	2
	本　原	1	昭和39年4月1日	1	平成22年4月1日		2
	武　石	1	昭和40年4月1日	3	平成17年4月4日		4
	小　計	35		52		2	89

項目 / 学校名		知的障がい		自閉症・情緒障がい		虚　弱	計
		学級数	開設年月日	学級数	開設年月日	学級数	
中学校	第　一	2	昭和44年4月1日	3	平成　4年4月1日	1	6
	第　二	1	昭和62年4月1日	2	平成21年4月1日		3
	第　三	1	昭和31年5月8日	3	平成10年4月1日		4
	第　四	2	昭和32年4月1日	4	平成元年4月1日		6
	原峠分室					1 ※	1
	第　五	2	昭和43年5月1日	4	平成　4年4月1日		6
	塩　田	2	昭和36年4月1日	3	平成　3年4月1日		5
	第　六	1	昭和63年4月1日	4	平成11年4月1日		5
	丸　子	1	昭和37年4月1日	2	平成13年4月1日		3
	丸子北	1	昭和43年4月1日	2	平成14年4月1日		3
	真　田	1	昭和41年5月2日	2	平成　2年4月1日		3
	小　計	14		29		2	45
合　計		49		81		4	134

※原峠分室の設置年月日は昭和32年4月1日、昭和63年4月13日に四中に移転

2　通級指導教室の状況

令和8年5月1日現在

項目 / 学校名	教室数	開設年月日	種別	教室名	サテライト校
北小学校	2	平成　7年4月1日	言語通級指導教室	ことばの教室	神川小学校 長小学校
	2	平成20年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	まなびの教室	神科小学校 長小学校
南小学校	1	平成　5年4月1日	言語通級指導教室	ことばの教室	中塩田小学校
丸子中央小学校	2	平成31年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	まなびの教室	中塩田小学校
第三中学校	2	平成29年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	おおぼし教室	第一中学校 真田中学校
丸子中学校	2	令和5年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	つゆくさ教室	第六中学校 塩田中学校
川辺小学校	2	令和6年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	まなびの教室	南小学校
丸子北小学校	2	令和7年4月1日	言語通級指導教室	ことばの教室	
神川小学校	1	令和8年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	まなびの教室	東小学校
合　計	16				

3　教育支援

心身に障がいのある児童・生徒に教育を行うには、障がいの種類や程度に応じて、それぞれに特別な配慮が必要です。具体的には、その障がいの状況を的確に把握して、その子の心身の発達が適切かつ最大限に発揮される教育の場を見出し就学できるようにすることです。

上田市教育委員会では、上田市教育支援委員会を設置し、心理的・教育的・医療的な総合的実態を調査し、就学に関する支援を行っています。

就学援助制度

１　要保護及び準要保護児童生徒援助費の状況（令和７年度）

単位：人・円

区　分	小　学　生		中　学　生		金額合計
	対象児童数	金　額	対象生徒数	金　額	
学用品費	559	6,206,524	349	7,578,550	13,785,074
通学用品費	483	1,051,372	238	515,282	1,566,654
校外活動費(泊なし)	514	685,939	273	255,649	941,588
校外活動費(泊あり)	90	227,498	79	485,475	712,973
新入学学用品費	82	4,678,920	110	6,930,000	11,608,920
修学旅行費	105	3,873,803	114	8,149,550	12,023,353
学校給食費	551	30,729,529	343	21,978,913	52,708,442
医療費	11	63,077	5	51,100	114,177
通学費	0	0	1	18,810	18,810
支給人数	618	47,516,662	452	45,963,329	93,479,991

※令和８年度新小学１年及び新中学１年入学予定者について、新入学用品費を入学準備費として前倒しで支給しました。（小学生及び中学生新入学用品費欄に計上）

２　特別支援教育就学奨励費の状況（令和７年度）

単位:人・円

区　分	小　学　生		中　学　生		金額合計
	対象児童数	金　額	対象生徒数	金　額	
学用品等購入費	341	1,847,246	178	1,901,745	3,756,713
校外活動費(泊なし)	262	148,386	32	12,323	160,709
校外活動費(泊あり)	59	107,474	49	152,145	259,619
新入学学用品費	41	924,295	63	1,642,053	2,566,348
修学旅行費	55	568,981	58	1,673,880	2,242,861
学校給食費	333	9,046,246	172	5,747,517	14,793,763
通学費	0	0	5	265,500	265,500
支給人数	342	12,642,628	179	11,395,163	24,045,513

３　遠距離通学対策（令和７年度）

単位:人・円

		交通機関利用		徒歩自転車		通級教室		計	
		人数	補助金額	人数	補助金額	人数	補助金額	人数	補助金額
小学校	北					30	33,600	30	33,600
	川　辺					7	7,840	7	7,840
	神　科							0	0
	豊　殿			14	63,000			14	63,000
	川　西	29	13,952,400					29	13,952,400
	南			4	18,000	13	14,560	17	32,560
	東塩田			1	4,500			1	4,500
	中塩田					5	5,600	5	5,600
	丸子中央	54	21,428,220	5	22,500	9	10,080	68	21,460,800
	丸子北			9	40,500	6	6,720	15	47,220
	塩　川			8	36,000			8	36,000
	長	11	1,346,579					11	1,346,579
	傍　陽							0	0
	武　石	18	923,520	1	57,480			19	981,000
小学校計		112	37,650,719	42	241,980	70	78,400	224	37,971,099
中学校	第　一	13	306,940	2	9,000			15	315,940
	第　二	57	1,741,920	12	54,000			69	1,795,920
	第　三					5	5,600	5	5,600
	第　四			15	67,500			15	67,500
	第　五			46	207,000			46	207,000
	塩　田	29	1,326,290	90	405,000			119	1,731,290
	第　六	7	780,300	82	369,000	4	4,480	93	1,153,780
	丸　子	25	15,084,300	5	22,500	5	5,600	35	15,112,400
	丸子北			59	265,500			59	265,500
	真　田	2	609,571	4	38,400			6	647,971
	依田窪南部	11	1,292,760	2	129,600			13	1,422,360
中学校計		144	21,142,081	317	1,567,500	14	15,680	475	22,725,261
合　計		256	58,792,800	359	1,809,480	84	94,080	699	60,696,360

修学支援制度

1　高等学校通学費等補助制度

長野県内の高校等に通学する生徒の保護者の方に対して、通学に要する費用の負担を軽減することを目的として、補助金を交付しています。

⑴　補助要件

次の要件すべてに該当する高校生を扶養している保護者の方が対象です。

ア　通学している高校等
　長野県内の高等学校・高等専門学校・特別支援学校高等部・専修学校高等課程

イ　次のＡ又はＢに該当する高校生

Ａ　次に掲げる自治会に住所を有する高校生。但し、丸子修学館高校に通学している場合には、対象とならない自治会あり。【⑵参照】

野倉　／　西内　平井　荻窪　和子　下和子　辰ノ口　腰越　／　菅平　大日向　角間
横沢　入軽井沢　岡保　傍陽中組　田中　下横道　中横道　上横道　穴沢　三島平　／
鳥屋　沖　薮合　中島　七ヶ　片羽　堀之内　市之瀬　下本入　権現　下小寺尾
上小寺尾　唐沢小原　築地原　大布施巣栗　西武　小沢根　余里

Ｂ　公共交通機関を利用している高校生。但し、次の条件をすべて満たす方に限ります。

ａ　公共交通機関（電車・バス）で通学している。
ｂ　定期券を購入し、利用している。
ｃ　公共交通機関による通学距離のうち、上田市内における利用距離が片道 13 ㎞以上である。

ウ　高校等へ入学して、3 年以内であること。

エ　保護者の方に、市税の滞納がないこと。

⑵　補助金額

ア　上記⑴のイのＡに該当する場合

自　治　会　名	補　助　金　額	
	右欄以外の場　合	丸子修学館高校へ通学の場合
野倉　／　大日向　角間　横沢　入軽井沢　岡保 傍陽中組　田中　下横道　中横道　上横道　穴沢　三島平	月額 3,000 円	月額 3,000 円
和子　下和子　辰ノ口　腰越　／　鳥屋　沖	月額 3,000 円	対象になりません
荻窪　／　薮合　中島　七ヶ　片羽　堀之内　市之瀬 下本入　小沢根　余里	月額 4,000 円	対象になりません
菅平	月額 5,000 円	月額 5,000 円
西内　平井　／　権現　下小寺尾　上小寺尾　唐沢小原 築地原　大布施巣栗　西武	月額 5,000 円	月額 3,000 円

イ　上記⑴のイのＢに該当する場合
　市内利用区間定期代の 20％（百円未満切捨）

ウ　上記⑴のイのＡとＢの両区分に該当する場合
　原則として補助金額の高い区分により算定します。但し、片道定期を利用している場合には、上記アで算定された額に、上記イで算定される補助金額の 2 分の 1 を加算します。

⑶　補助実績

単位：人、円

地 域 名	令和５年度		令和６年度		令和７年度	
	生徒数	金　額	生徒数	金　額	生徒数	金　額
上田地域	15	291,100	11	314,400	12	287,000
丸子地域	41	1,526,858	43	1,622,968	32	1,261,793
真田地域	36	1,456,508	35	1,444,481	37	1,428,360
武石地域	49	2,268,000	52	2,412,000	34	1,584,000
計	141	5,542,466	141	5,793,849	115	4,561,153

２　奨学金制度

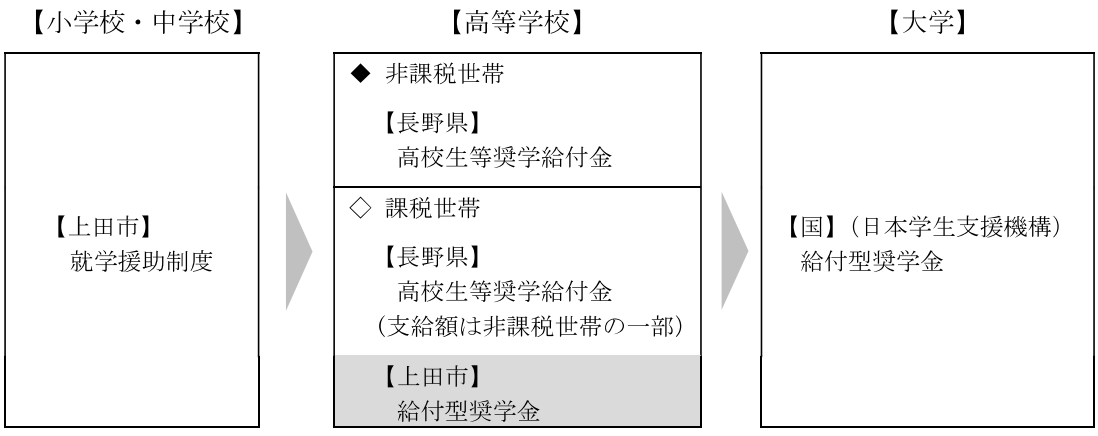
平成 28 年度に上田・丸子・真田地域の奨学金制度を統一し、全市域の高校生を対象とした給付型奨学金制度を実施しています。

(1) 高校生を対象とした給付型奨学金

項目	内容
運営主体	上田市
奨学方法	給付
対象区分	県内の高等学校（全日制、定時制、通信制)、中等教育学校の後期課程、 高等専門学校、専修学校高等課程
金額	・全日制、定時制の高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、 専修学校高等課程　　年額 72,000 円 ・通信制の高等学校　　年額 30,000 円
資格要件	次の要件を全て満たす高校生等の保護者 ① ７月１日現在、市内に引き続き６月以上住所を有していること ② 学校長が推薦する向学心のある高校生等の保護者であること ③ 生活保護法に規定する要保護者に準じる程度に困窮している世帯に属し、 かつ、同法の規定による保護を受けていないこと ④ 市民税の所得割額が課税の世帯に属すること
支給実績	令和７年度　91 件　5,981,900 円
奨学基金	125,344,070 円（令和８年４月１日現在）

■　教育課程別　経済的支援を目的とした公的制度のイメージ図

給付型



貸与型



学 校 給 食

1 学校給食の目標（学校給食法　第2条）

① 適切な栄養の摂取により、児童生徒の健康の保持増進を図る。

② 健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養う。

③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性や協同の精神を養う。

④ 生命及び自然を尊重する精神並びに環境保全に寄与する態度を養う。

⑤ 食に関わる人々の活動に支えられていることに理解を深め、勤労を重んずる態度を養う。

⑥ 地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深める。

⑦ 食料の生産、流通及び消費について正しい理解に導く。

＜特徴的な取組＞

① 各給食施設の学校給食摂取基準の設定

学校給食摂取基準は、全国平均として文科省より示されているが、上田市では適切な栄養摂取による健康の保持増進ができるよう、学校保健統計から上田市の児童生徒の体位に合わせて、給食で摂取するエネルギーを算出し、各給食施設の学校給食摂取基準を定め給食献立を作成している。

② 市内栄養教諭・栄養職員連絡会の開催

学校給食の目標を実現するために、児童生徒の現状（健康状態、食の実態等）や安全な給食管理に関する情報を共有し、よりよい学校給食を提供するために連絡会を開催している。

③ 地産地消・企画給食

学校給食における地産地消の推進及び地元食材の流通から消費を学ぶ食育を主な目的とし、令和元年から全小中学校で企画給食を実施している。上田市産及び県外産農産物（産業交流に関するフレンドシップ協定によるレンコン等）を学校給食のメニューに取り入れる企画を、関係課や生産者、流通業者等の方々と連携を図りながら実施している。令和7年度は、ブルーベリー、玉ねぎ、レタス、みどり大根、大豆、レンコンを使用する企画給食を実施した。（令和8年度は、ブルーベリー、玉ねぎ、りんご、みどり大根、大豆、レンコンの企画給食を実施予定。）

④ 食材・調理に関すること

「上田市食材規格表」に基づき、より安全良質な無(低)添加等の食品や国産品を使用し、地場産物の使用を積極的に進めている。また、自校給食・センター給食の区別なく、だし汁は昆布やかつお節、鶏ガラ（ガラパック）など天然のものを使用し、カレーやシチューのルーも手作りをして、食材の味を生かした本物の味づくりに努めている。

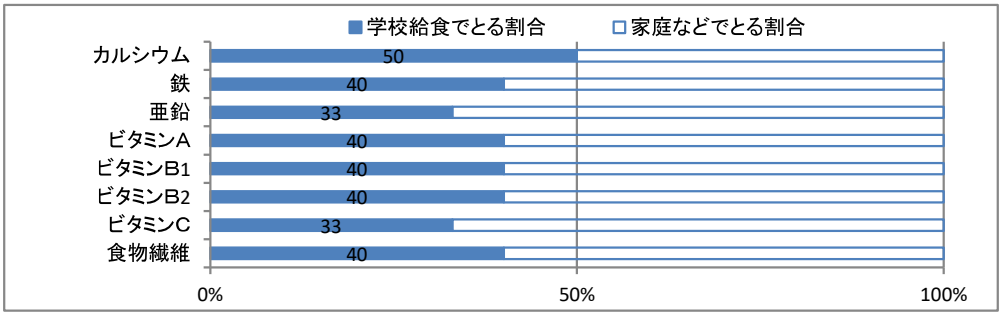
2 上田市学校給食摂取基準（令和８年度）

児童・生徒1食あたりの摂取基準（上田市平均）

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学生
エネルギー（kcal）	540	650	790	840
たんぱく質（g）	22 （ 18 ～27 ）	27 （ 22 ～33 ）	33 （ 26 ～40 ）	35 （ 28 ～42 ）
脂質（g）	15 （ 12 ～18 ）	18 （ 15 ～21 ）	22 （ 18 ～26 ）	23 （ 19 ～28 ）

※各給食施設の対象者に合わせて設定している。

学校給食でとる各栄養素の割合（%）



3 学校給食の実施状況

令和8年5月1日現在

(1) 給食数・給食日数・給食費

小学校

施設名	学校名	給食数（食）	児童数（人）	給食日数（日）	1食あたりの給食費(円)	
					低学年	高学年
第二学校給食センター(15校) 児童数 5,315 人 給食数 5,753 食 （センター職員 58 人含む）	清明小学校	302	279	202	340	360
	東小学校	490	458	203		
	西小学校	377	349	204		
	北小学校	407	378	202		
	城下小学校	409	378	203		
	塩尻小学校	177	160	204		
	川辺小学校	522	489	203		
	神川小学校	475	451	203		
	神科小学校	698	665	203		
	豊殿小学校	191	175	202		
	中塩田小学校	490	457	201		
	塩田西小学校	226	207	201		
	浦里小学校	45	34	199		
	川西小学校	239	222	201		
	南小学校	647	613	204		
丸子学校給食センター(4校) 児童数 1,025 人 給食数 1,144 食 （センター職員 28 人含む）	東塩田小学校	197	179	201		
	丸子中央小学校	398	371	202		
	丸子北小学校	341	311	203		
	塩川小学校	180	164	202		
自校給食校(5校) 児童数 552 人 給食数 655 食	長小学校	104	85	202		
	傍陽小学校	100	79	203		
	本原小学校	232	211	203		
	菅平小学校	71	55	202		
	武石小学校	148	122	202		
給食数・児童数合計、給食日数平均、給食費		7,552	6,892	202	340	360

中学校

施設名	学校名	給食数（食）	生徒数（人）	給食日数（日）	1食あたりの給食費（円）
第一学校給食センター(7校) 生徒数 3,011 人 給食数 3,250 食 （センター職員 41 人含む）	第一中学校	537	508	203	410
	第二中学校	298	276	201	
	第三中学校	363	336	202	
	第四中学校	582	543	201	
	第五中学校	487	456	200	
	塩田中学校	508	480	202	
	第六中学校	434	412	202	
丸子学校給食センター(2校) 生徒数 480人 給食数 530食	丸子中学校	274	247	203	
	丸子北中学校	256	233	203	
自校給食校(2校) 生徒数 232人 給食数 269食	菅平中学校	33	26	202	
	真田中学校	236	206	200	
給食数・生徒数合計、給食日数平均、給食費		4,049	3,723	202	410

令和5年度に上田市学校給食運営審議会を開催し、令和6 年度以降の給食費を1 食あたり小学校23 円、中学校24 円引き上げるとともに、地域差（＋6～10 円）を解消し、小学校低学年310 円、高学年330 円、中学校370 円とした。令和6年度の給食費は、激変緩和措置として基本引き上げ分の1食あたり小学校23円、中学校24円を公費負担とする学校給食負担軽減事業を実施した。令和7年度も子育て世帯への経済的支援が急務であることから、引き続き国の交付金を活用して学校給食負担軽減事業を実施し、保護者負担額を据え置くとともに、主食の価格上昇に対応するため、1食あたり10円を上乗せし、小学校33円、中学校34円（令和8年1月から小学校43円、中学校46円）を交付した。また、上田市学校給食運営審議会を開催し、令和8年度以降の給食費を1食あたり小学校30円、中学校40円引上げ、小学校低学年340円、高学年360円、中学校410 円とした。令和8年度は、国の給食費負担軽減交付金を活用し、小学校の給食費について支援額を超える部分は公費負担を行い、小学校における給食費を実質無償とする。中学校の給食費は、引き続き国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、保護者負担額は346円に据え置きとする。1食当たり、小学校低学年340円、高学年360円、中学校64円を交付する。

(2) 上田市学校給食における地元（上小地域）農産物使用状況

①地元産青果物の使用状況

年　度	3	4	5	6	7
総使用量（kg）	350,130	340,796	308,243	317,056	311,065
うち地元産（kg）	52,773	47,844	45,484	31,167	31,541
地元産割合（%）	15.1	14.0	14.8	9.8	10.1

②地元産米の年度別使用率

年　度	3	4	5	6	7
総使用量（kg）	136,144	133,461	130,469	131,773	132,280
うち地元産（kg）	136,144	133,461	130,469	131,773	132,280
利用割合（%）	100	100	100	100	100
1人当たり年間使用量(g)	10,778	10,597	10,607	10,964	11,159

③米+青果物の年度別使用量(①＋②)

年　度	3	4	5	6	7
総使用量（kg）	486,274	474,257	438,712	448,829	443,346
うち地元産（kg）	188,917	181,305	175,953	162,940	163,821
利用割合（%）	38.8	38.2	40.1	36.3	37.0

4 学校給食施設従事職員数

令和8年5月1日現在（人）

施　設　名	県		市						計
	栄養教諭	栄養職員	管理栄養士・栄養士		事務職員		調理員		
	正規	臨時的任用職員	正規	会計年度任用職員	正規	会計年度任用職員	正規	会計年度任用職員	
第一学校給食センター	1	1			2	1	19	17	41
第二学校給食センター	2		1	2	2	1	23	27	58
丸子学校給食センター	1	1		1	2		9	14	28
長小学校				1				3	4
傍陽小学校								3	3
本原小学校			1				1	4	6
菅平小・中学校							1	2	3
真田中学校	1							5	6
武石小学校				1				3	4
計	5	2	2	5	6	2	53	78	153

5 学校給食センター一覧

施　設　名	配送学校数	給食数	住　所	電話番号
第一学校給食センター	中学校　7校	3,250	小泉1-1	22-7084
第二学校給食センター	小学校　15校	5,753	古里1913	25-1287
丸子学校給食センター	小学校4校　中学校2校	1,674	中丸子1771-14	42-2892

放課後児童対策

1　事業概要

放課後や学校休業日における児童の健やかな成長と働く親の子育てを支援するため、次の施設を設置し、指定管理者制度により運営しています。

・健全育成施設：児童館・児童センター（自由来館制・無料）
・留守家庭対策施設：放課後児童クラブ（児童クラブと学童保育所（登録制・有料））

2　施設概要（全37施設）

(1) 役割・運営状況

ア 児童館・児童センター：11施設（上田地域：8、丸子地域：1、真田地域：1、武石地域：1）

遊びや健康づくりを通して、児童の心と体を豊かに育む施設です。18歳未満ならだれでも利用でき、遊戯室や図書室があり、専任の児童厚生員が指導にあたっています。

イ 放課後児童クラブ：26施設
・児童クラブ：20施設（上田地域：12、丸子地域：4、真田地域：4）
・学童保育所：6施設（上田地域：5、武石地域：1）

昼間保護者のいない家庭の小学生に遊びと生活の場を提供し、保護者に代わって児童を保育する施設です。専任の指導員が保育にあたっています。

(2) 設置状況

※は小学校内に設置している施設

地域	小学校区	児童館・児童センター	放課後児童クラブ	
			児童クラブ	学童保育所
上田	清明		※清明児童クラブ　21-9320	
	東		※東部児童クラブ　23-8567	
	西	緑が丘児童館　25-0444	※西部児童クラブ　22-0460	
	北	大星児童センター　27-5610		※太郎の家　24-6265
	城下	朝日が丘児童館　25-0849		たんぽぽ　25-9010
	塩尻	秋和児童センター　25-6011	※塩尻児童クラブ　22-2057	
	川辺		※川辺児童クラブ　21-5567	バッタの家　25-0869
	神川	神川児童センター　21-1156	※神川児童クラブ　22-5339	
	神科	神科児童センター　25-2055		※どんぐり　55-7512
	豊殿		※豊殿児童クラブ　22-6812	
	東塩田	東塩田児童センター 38-9150	※東塩田児童クラブ　38-7054	
	中塩田		※中塩田児童クラブ　38-6805	
	塩田西		※塩田西児童クラブ　38-0907	
	浦里		浦里児童クラブ　31-0331	
	川西		川西児童クラブ　25-2456	
	南	川辺町児童センター 25-2945		トットの家　23-8686
丸子	丸子中央	下丸子児童館 090-4442-8302	※丸子中央児童クラブ　42-7014	
			西内児童クラブ　44-2066	
	丸子北		丸子北児童クラブ 43-0205	
	塩川		※塩川児童クラブ　35-1015	
真田	菅平		※菅平児童クラブ　74-2029	
	長		長児童クラブ　72-0218	
	傍陽		傍陽児童クラブ　73-2173	
	本原	真田児童館　72-0323	本原児童クラブ　72-0323	←児童館・児童クラブ併設
武石	武石	武石児童館　85-2826	←児童館・学童保育所併設→	ピーターパン　85-2826

※ 平成21年度から現在の体制に再編・統一（武石児童館は22年4月新設（既存のピーターパンを移転併設））

※ 上田地域の学童保育所は平成14年度まで民設民営（運営費補助）、平成15年4月からは公設民間委託

※ 合併前の委託施設（上田・丸子の児童館・児童センター、全学童保育所）は、合併時（平成18年3月6日）に指定管理者制度に移行

※ 合併前の直営施設（真田児童館、現在の児童クラブ）は、平成21年度再編時に指定管理者制度に移行

※ 学童保育所の分室：「太郎の家」には分室「太郎の家」、「たんぽぽ」には分室「ふれんど」、「どんぐり」には分室「ころころ」、「トットの家」には分室「スマイル」がある。

(3) 各施設の運営状況

施設種類	地域	指定管理者	運営時間	利用料
児童館・児童センター	上田 ※1	上田市社会福祉協議会	平日：午後1時～午後6時 ※2 土曜日（一部）・学校休業日：午前9時～午後6時	無料
	丸子		平日・計画休業日：午後3時30分～午後5時30分 長期休業日（夏）：午後1時～午後5時30分 長期休業日（冬、春）：午後1時～午後5時	
	真田	労働者協同組合 ﾜｰｶｰｽﾞｺｰﾌﾟ・ｾﾝﾀｰ事業団	平日：午後1時～午後5時 土曜日・学校休業日：午前9時～午後5時	
	武石	NPO法人　武石子育て支援を考える会	平日：午後1時～午後6時 土曜日・学校休業日：午前9時～午後6時	
放課後児童クラブ				
児童クラブ	上田・丸子 真田	労働者協同組合 ﾜｰｶｰｽﾞｺｰﾌﾟ・ｾﾝﾀｰ事業団	平日：授業終了時～午後7時 ※2 土曜日・学校休業日：午前8時～午後7時	有料
学童保育所	上田	各学童保育所運営委員会		
	武石	NPO法人 武石子育て支援を考える会		

※1　上田地域の児童館・児童センターについては、留守家庭児童の場合、申請により小学校から直接行くことができます。

※2　上田地域の児童館・児童センターと全放課後児童クラブは、平日小学校が午前中で終わるような場合、下校時刻に合わせて開館します。（急な下校時刻の変更は除きます。）

休業日		
児童館・児童センター	毎週日曜日	12/29～1/6　、 8/13～8/16
児童クラブ・学童保育所	国民の祝日に関する法律に規定する休日	12/29～1/3　、 8/13～8/16

(4) 放課後児童クラブ登録児童数の推移（人）

施設	地域	施設名	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
児童クラブ	上田	豊殿児童クラブ	125	118	118	118	120	131
		中塩田児童クラブ	238	204	201	184	192	193
		川西児童クラブ	129	99	94	69	101	110
		塩田西児童クラブ	88	87	87	86	99	104
		浦里児童クラブ	29	25	25	29	28	28
		東部児童クラブ	317	286	311	261	245	230
		川辺児童クラブ	181	157	179	195	209	194
		清明児童クラブ	145	124	115	112	133	128
		西部児童クラブ	162	129	131	113	133	147
		塩尻児童クラブ	89	65	71	80	83	92
		神川児童クラブ	160	153	158	162	171	181
		東塩田児童クラブ	66	50	55	59	54	46
		小計	1,729	1,497	1,545	1,468	1,568	1,584
	丸子	丸子中央児童クラブ	208	176	174	164	178	179
		丸子北児童クラブ	164	149	152	147	178	199
		塩川児童クラブ	83	71	71	56	74	84
		西内児童クラブ	17	9	13	8	7	8
		小計	472	405	410	375	437	470
	真田	本原児童クラブ	94	81	83	74	91	102
		長児童クラブ	48	58	50	54	59	45
		傍陽児童クラブ	42	32	36	41	40	46
		菅平児童クラブ	32	31	36	38	37	37
		小計	216	202	205	207	227	230
		児童クラブ　合計	2,417	2,104	2,160	2,050	2,232	2,284
学童保育所	上田	学童保育所　太郎の家	42	50	66	80	93	87
		学童保育所　バッタの家	53	45	41	43	41	41
		学童保育所　どんぐり	100	94	83	83	93	89
		学童保育所　トットの家	85	74	73	82	91	101
		学童保育所　たんぽぽ	88	77	76	85	87	88
		小計	368	340	339	373	405	406
	武石	学童保育所　ピーターパン	42	45	37	42	41	29
		学童保育所　合計	410	385	376	415	446	435
		放課後児童クラブ　合計	2,827	2,489	2,536	2,465	2,678	2,719

(5) 放課後児童クラブ保育料

児童クラブ	月10日以上利用の場合：3,000円/月、月10日未満利用の場合：300円/日
学童保育所	6,000円/月

◆　保育料の軽減

1　同一世帯で2人以上の児童が利用する場合は、最も保育料の額が高い児童（最も保育料の額が高い児童が2人以上の場合は、そのうちの1人とする。）についてはその額、その他の児童については保育料の2分の1の額とする。

2　母子家庭又は父子家庭の児童が利用する場合は、保育料の2分の1の額とする。この場合において、前項の規定は、適用しないものとする。

※　丸子地域の児童クラブは、旧児童クラブ当初から有料

※　真田地域の児童クラブは、旧ふれあいの館時代の平成17年度に有料化

※　上田地域の児童クラブ（旧こども館）は、平成21年度の再編とともに有料化

(6) 年間利用児童数の推移（延べ人数）

施設	地域	施設名	開設年月	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
児童館	上田	朝日が丘児童館	S55. 4	3,391	2,925	3,365	2,812	4,151
		緑が丘児童館	S61. 4	2,030	1,321	1,783	1,512	1,184
		川辺町児童センター	S62. 4	8,334	8,295	10,827	10,669	8,507
		秋和児童センター	S63. 4	1,855	668	641	1,569	1,022
		東塩田児童センター	H 2. 4	3,824	3,037	4,042	4,211	4,399
		大星児童センター	H 4. 4	9,250	10,047	11,322	9,924	8,905
		神科児童センター	H 6. 4	11,531	10,299	10,495	15,080	15,521
		神川児童センター	H 9. 4	4,400	5,535	6,039	5,699	7,006
	丸子	下丸子児童館	S57.11	649	169	245	373	227
	真田	真田児童館	H15. 3	453	89	495	1,624	965
	武石	武石児童館	H22. 4	6,198	7,141	8,740	9,105	10,048
児童館　計　（小、中、高）				51,915	49,526	57,994	62,578	61,935
児童クラブ	上田	豊殿児童クラブ	H12.10	12,541	12,177	13,673	15,453	15,973
		中塩田児童クラブ	H13.10	20,471	16,091	16,599	18,110	18,517
		川西児童クラブ	H13.12	8,034	6,809	6,987	10,543	9,659
		塩田西児童クラブ	H14. 2	6,953	6,331	6,781	8,286	9,474
		浦里児童クラブ	H14.10	2,141	1,709	2,259	1,454	2,064
		東部児童クラブ	H14.10	30,836	25,354	22,416	24,066	24,856
		川辺児童クラブ	H14.10	15,274	15,306	15,345	18,528	17,467
		清明児童クラブ	H15. 4	10,589	11,067	12,501	12,117	12,950
		西部児童クラブ	H21. 4	10,497	10,628	12,088	13,240	15,935
		塩尻児童クラブ	H21. 4	6,491	8,102	11,033	11,690	11,820
		神川児童クラブ	H21. 4	16,597	16,340	18,353	20,960	21,055
		東塩田児童クラブ	H21. 4	5,974	5,373	6,154	4,782	4,820
	丸子	丸子中央児童クラブ	H12. 4	12,339	13,535	15,922	17,445	17,794
		丸子北児童クラブ	H12. 4	16,489	15,176	15,106	19,902	22,848
		塩川児童クラブ	H14. 4	5,806	6,137	5,918	7,808	8,251
		西内児童クラブ	H19. 7	743	1,143	916	700	557
	真田	本原児童クラブ	H10. 4	8,137	6,820	6,949	7,448	9,643
		長児童クラブ	H12.12	3,744	3,436	5,927	4,369	3,009
		傍陽児童クラブ	H12.12	2,582	3,561	4,600	4,814	6,252
		菅平児童クラブ	H13. 4	1,989	2,603	3,682	3,770	3,029
児童クラブ　計　（小学生）				198,227	187,698	203,209	225,485	235,973
学童保育所	上田	学童保育所　太郎の家	S58. 4	9,090	11,978	15,757	18,773	16,691
		学童保育所　バッタの家	S60. 4	7,789	6,876	7,897	7,693	7,602
		学童保育所　どんぐり	S60. 4	16,857	11,498	14,349	16,525	16,690
		学童保育所　トットの家	S62. 7	12,970	10,561	15,170	11,271	17,393
		学童保育所　たんぽぽ	H 6. 4	11,494	11,219	13,404	13,919	14,429
	武石	学童保育所　ピーターパン	H10. 2	9,238	7,053	8,404	7,894	5,541
学童保育所　計　（小学生）				67,438	59,185	74,981	76,075	78,346
合計				317,580	296,409	336,184	364,138	376,254

※　児童館は小学生～高校生、児童クラブと学童保育所は小学生

市内の国・県・私立学校等

令和８年４月１日現在

１　大学、短期大学

区分	大　学　名　等	郵便番号	所　　在　　地	電話番号
国立	信州大学繊維学部	386-8567	常田 3-15-1	21-5300
国立	筑波大学山岳科学センター 菅平高原実験所	386-2204	菅平高原 1278-294	74-2002
県立	長野県工科短期大学校	386-1211	下之郷 813-8	39-1111
公立	長野大学	386-1298	下之郷 658-1	39-0001
私立	上田短期大学	386-1214	下之郷乙 620	38-2352

２　高等学校

区分	学　校　名	郵便番号	所　　在　　地	電話番号
県立	上田千曲高等学校	386-8585	中之条 626	22-7070
	上田高等学校	386-8715	大手 1-4-32	22-0002
	上田染谷丘高等学校	386-8685	上田 1710	22-0435
	上田東高等学校	386-8683	常田 3-5-68	22-0101
	丸子修学館高等学校	386-0405	中丸子 810-2	42-2827
私立	上田西高等学校	386-8624	下塩尻 868	22-0412
	さくら国際高等学校	386-1433	手塚 1065	39-7707
	コードアカデミー高等学校	386-0012	中央 1-2-21	75-7877

３　特別支援学校

区分	学　校　名	郵便番号	所　　在　　地	電話番号
県立	上田支援学校	386-0153	岩下 462-1	35ー2580

４　幼稚園、幼保連携型認定こども園

区分	幼　稚　園　名	郵便番号	所　　在　　地	電話番号
私立	梅花幼稚園	386-0024	大手 2-2-8	22-0009
	たちばな幼稚園	386-0012	中央 6-3-3	25-2716
	聖マリア幼稚園	386-0018	常田 2-2-1	22-1398
	大屋幼稚園	386-0152	大屋 40-1	35-0190
	上田幼稚園	386-0023	中央西 2-8-3	22-6259
	上田南幼稚園	386-1102	上田原 1183	24-2237
	上田短期大学附属幼稚園	386-1214	下之郷乙 602	38-5996

区分	幼 稚 園 名	郵便番号	所　　在　　地	電話番号
私立	上田北幼稚園	386-0003	上野 1616-65	25-2868
	おひさまクラブ幼稚園	386-1326	舞田 738-1	38-4578
	西望幼稚園	386-0404	上丸子 303	42-2322
	いずみ幼稚園	386-2201	真田町長 7042	72-2262
	幼保連携型認定こども園 キッズ・うえだみなみ	386-0018	常田 1-4-12	29-3735
	幼保連携型認定こども園芙蓉園	386-0011	中央北 2-7-51	22-1147
	幼保連携型認定こども園 あそびの森あきわ	386-0041	秋和 864-3	27-8820
	幼保連携型認定こども園かんぎおん	386-0027	常磐城 3-7-48	22-1595
	幼保連携型認定こども園にしおか	386-0151	芳田 1411-1	35-1157
	幼保連携型認定こども園日向幼稚園	386-1107	築地 189-1	25-1727

５　専修学校

区分	学　校　名	郵便番号	所　　在　　地	電話番号
私立	上田情報ビジネス専門学校	386-0012	中央 3-7-5	22-0255
	長野医療衛生専門学校	386-0012	中央 2-13-27	23-3800
	専門学校長野ビジネス外語カレッジ	386-0012	中央 3-5-18	23-7220
	上田看護専門学校	386-0012	中央 2-22-10	25-0539
	信州クラーク高等学院	386-0023	中央西 1-14-31	27-5588

６　各種学校

区分	学　校　名	郵便番号	所　　在　　地	電話番号
私立	上田予備学校	386-0012	中央 1-2-21	22-5588

Ⅳ　社会教育

生涯学習

１　基本方針

第三次上田市生涯学習基本構想の基本理念「学び　学びあい　未来を創造する」に基づき、市民の学びたい思いを支援し、市民だれもが学びたいときに学べる機会を提供するとともに、学びを通じたつながりづくりや仲間づくりにより、地域やひとを知り、ともに学びを深め、学びを広げながら、学びの成果を地域に生かすことで、豊かなまちづくりへとつなげていくことを目指します。

２　令和８年度重点施策

(1) 新たに策定した、第三次上田市生涯学習基本構想の周知を図るとともに、第三次基本構想に基づき事業を実施していきます。

(2) 子どもたちを取り巻く環境や、学校が抱える課題が複雑化・多様化し、社会が激しく変化する中で、子どもたちが豊かに成長していくためには、地域ぐるみで子どもたちを育てることが必要です。学校と家庭、地域が連携・協働して子どもたちの育ちを支えるため、地域とともにある学校づくりの充実を図ります。

３　令和８年度事業計画

令和８年４月１日現在

事　業　名	事　業　内　容
社会教育委員関係	・社会教育委員会議の開催、視察研修の実施
社会教育事業の条件整備	・社会教育機関、学校等関係機関との連携 ・社会教育職員の資質向上及び専門性の向上
社会教育施設の環境整備	・公民館、図書館、博物館等社会教育施設の施設整備の推進 ・社会教育施設の活用及び維持管理
市民への学習機会の提供、活動への支援	・市内５大学と連携したリレー講座「未来学科」の実施 ・生涯学習シンポジウムの開催 ・出前ときめきのまち講座の実施（110 講座） ・各種講座、事業等の市民への情報提供
地域性を生かした事業の実施	・戦争遺跡の情報収集・活用 ・国際交流事業の実施（丸子地域）
学社連携・協働事業	・学校支援プロジェクトの取組の推進 ・学校支援ボランティア、コーディネーター等関係者の育成(交流会、講演会、研修会等開催) ・コミュニティスクールや地域学校協働活動の取組の紹介 ・「丸子地域青少年ネットワーク会議」による小・中・高校の連携（丸子地域） ・第一中学校、第二中学校、城下小学校、塩田西小学校、塩田中学校特別教室の施設開放

青少年教育

1　基本方針

(1) 人口減少、少子化の進展など社会情勢が急激に変化する中、良好な教育環境づくりに向けた啓発・支援活動に取り組むとともに、子どもたちの豊かな社会性と人間性を育む体験活動事業を促進します。

(2) 家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割を果たし、相互の連携が促進するよう地域の取組を支援し、地域で子どもを育てるという意識の醸成を図ります。

＜期待される主な役割＞

家　庭	だんらんや家族一緒の活動等により愛情の充足や心の安定を図るとともに、メディア等との関わりを家族で考えるなど健全な生活習慣の定着を支えます。
学　校	上田市教育支援プランに基づき、家庭や地域と連携・協力しながら、多様な学習や体験の機会を提供し、豊かな心と身体を育成します。
地　域	培われた歴史や文化を大切にする中で、さまざまな団体などと連携し、生活体験、自然体験、社会体験、ボランティア体験、自由な遊びなどの場や機会を一層充実させ、地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図ります。

2　令和８年度重点施策

(1) 青少年育成関係団体の連携の推進

青少年育成の課題解決に向け、公民館地区ごとに青少年育成関係団体間の連携を深めながら市民会議・市民の集いなどの各種事業に取り組みます。

(2) 地域における体験活動の促進・支援

育成会や公民館、学校での体験活動を支援するとともに、子どもたちの体験活動の促進に資する各種事業に取り組みます。

(3) 社会の変化に対応した青少年を育む環境づくりの推進

こども安全安心見守り委員の自治会からの選出負担をなくし、青少年健全育成に熱意と意欲ある市民の皆様が活動に参加できるよう組織体制の見直しを行います。小中学校における情報モラル学習を重点的に支援します。

3　令和８年度事業計画

令和８年４月１日現在

事　業　名	事　業　内　容
青少年育成全般	・「上田市生涯学習基本構想」「上田市教育支援プラン」に沿った青少年育成事業を総合的に推進 ・「心の教育推進プラン」に沿った事業の実施 （青少年善行表彰、あいさつ運動、メディアリテラシー教育）
地域の青少年教育支援	・青少年育成市民会議等地区集会の開催（公民館単位） ・子ども向け体験活動事業の実施（公民館単位） ・「地域におけるこどもまんなか社会学習事業」の推進（自治会・分館単位）
子ども会育成会活動支援 ・体験活動促進	・単位子ども会育成会活動の支援（補助金、交流会、育成会の手引き） ・子ども会育成連絡協議会による体験事業の実施 ・自然体験活動・集団遊びの促進に向けた事業の実施
家庭教育支援	・家庭教育力充実事業の推進（公民館単位） ・子ども情報誌発行等の実施 ・「家庭の日」の普及活動と作文募集 ・インターネット・スマートフォンなどの適正利用の啓発
青少年の社会参加・交流の促進	・二十歳を祝う式の開催（７会場） ・うえだこどもまつり開催の支援
青少年を育む環境づくり	・こども安全安心見守り委員組織体制の見直しによる青少年健全育成活動の時代に即した再編 ・小中学生のための情報モラル学習支援事業の推進 ・青少年相談活動の充実

人権同和教育

1　基本方針

(1) 全ての人々がお互いの人権を尊重し合い、心豊かに安心して暮らせる希望に満ちた上田市を築き上げるために、「上田市人権尊重のまちづくり条例」及び「上田市人権施策基本方針」に基づき、人権同和教育と人権啓発を推進します。

(2) 人権尊重の意義及び様々な人権問題についての理解と認識を深めるとともに、自他ともに人権を尊重することの重要性を正しく認識し、それが、日常生活の中で具体的な態度や行動に現われるよう、地域の実情を踏まえつつ「学校人権同和教育」及び「社会人権同和教育」に取り組みます。

2　令和８年度重点施策

(1) 学校人権同和教育の推進

ア　学校人権同和教育の重要な柱を同和教育に据え、「あけぼの」を中心教材として扱います。小学校低学年・中学年は命の大切さや他人の痛みが理解できる心の育成を目指し、小学校高学年・中学校は被差別部落の人々が厳しい差別の中にあっても仕事に誇りを持ってたくましく生き、人々の生活を支えてきたことへの理解を深めるとともに、未だ残る部落差別の現実を学び、差別の不当性を見抜く力と差別に立ち向かう力の育成を目指します。

イ　人権尊重の精神に立った学校づくり、教育課程の編成、生徒指導を推進します。

ウ　発達段階に応じた学習活動を継続的に実践していくため、校種間における計画の調整や相互協力・相互研修を深めます。また、社会教育との連携を図りながら学校等における人権同和教育を推進します。

エ　人権同和教育に視点を当てた授業研究、研修などにより、教職員の人権意識と指導力の向上に努めます。

(2) 社会人権同和教育の推進

ア　公民館等の社会教育施設を中心に、幼児期・少年期・青年期・成人期・高齢期の生涯各期に応じ、各人の自発的意思に基づき人権に関する学習が行えるよう体験的参加型学習などの手法を用い、人権に関する多様な学習の機会を提供します。

イ　解放子ども会は、学校・公民館・地域の方々などの協力を得て、活動の充実に努めます。

ウ　企業人権教育組織に働きかけ、人権意識の向上を図り、偏見や差別のない職場づくりを支援します。

(3) 人権啓発の推進

ア　人権啓発により、生命の尊さを見つめ直すとともに、自己も他者もかけがえのない存在であること、また、誰もが自らの権利や他者の人権を尊重することの必要性等を考える機会とし、人権尊重の精神が生活の中に根づくよう啓発活動を行います。

イ　ＬＧＢＴなどの性的マイノリティの人権、インターネットを悪用した人権侵害など、人権問題はますます多様化しています。市民で組織する人権啓発団体や社会教育関係団体等と連携協力し、様々な啓発活動を推進します。

3　令和８年度事業計画

令和８年４月１日現在

事　業　名	事　　業　　内　　容
人権同和教育推進事業	〔学校人権同和教育の推進〕 ・小中学校人権同和教育研究事業、教職員人権同和教育研修会の実施 ・幼稚園・保育園・高校・大学と連携した人権同和教育研修事業の実施 ・学校等人権同和教育主任会の開催 〔社会人権同和教育の推進〕 ・自治会・公民館分館が行う主体的な人権意識の高揚を図る学習活動を支援・促進するため、「地域における人権学習事業」を推進 ・偏見や差別のない職場づくり等、企業における人権同和教育活動への支援 ・人権・解放学習を基本とし、基礎学力の向上と生涯にわたり支え合う仲間づくりを目指した解放子ども会活動の実施 〔人権啓発の推進〕 ・上田市人権啓発推進委員会を核とした、市民の自主的な啓発活動の支援 ・人権を考える市民のつどい、人権フェスティバル等の開催 ・街頭啓発の実施

文　化　財

1　基本方針

(1)「上田市文化財保存活用地域計画」を推進し、文化財を生かしたまちづくりに取り組みます。

(2) 史跡や建造物等の保存とともに積極的な公開や活用を推進します。また、子どもたちや市民に向けて上田の歴史や先人・偉人の業績を紹介することにより、郷土に対する理解を深め、誇りや愛着を醸成するよう努めます。

2　令和８年度重点施策

(1) 文化財の保存と活用

文化財の指定や登録の推進に向け、調査等を実施します。また、文化財の現状把握や保存事業の支援に努めます。「文化財 de 文化祭」の開催などにより、文化財の積極的な活用に取り組みます。

(2) 史跡上田城跡保存活用事業の推進

上田城跡の復元整備に向けた計画策定や調査を進めます。

(3) 郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出

「信州上田ふるさと先人館」の運営、観覧機会の創出に努めます。



国登録有形民俗文化財
「松山犁の製作用具及び製品」

3　令和８年度事業計画

令和８年４月１日現在

事　業　名	事　業　内　容
史跡上田城跡の保存活用	・史跡上田城跡整備専門家会議の開催 ・史跡上田城跡整備基本計画の改訂 ・旧市民会館の解体及び武者溜り整備、櫓の復元に向けた調査検討
埋蔵文化財の保護	・開発事業に伴う立会調査、試掘調査の実施
文化財の保存・継承	・文化財の市指定、国登録の推進 ・指定文化財保護事業に対する補助金の交付 ・文化財パトロールの実施 ・無形民俗文化財等後継者育成事業に対する補助金の交付
文化財の活用	・文化財 de 文化祭の開催（2 回） ・文化財見学会等の公開事業の実施 ・発掘したクジラ化石のクリーニング作業と情報発信・活用事業の実施
ふるさと上田先人顕彰事業の推進	・信州上田ふるさと先人館の運営、「出張どこでも先人館」の実施

4　指定等文化財件数

令和８年４月１日現在

種　類	有形文化財								無形文化財	民俗文化財		記念物			計
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	古文書	歴史資料	考古資料	芸能	有形	無形	史跡	名勝	天然記念物	
国　宝	1														1
国指定	6		4	2		1	1			1		3		3	21
国重美		1			2										3
国登録	19									1					20
国選択											3				3
県指定	10	2	4	3				2				4		3	28
県選択											1				1
市指定	38	9	26	20	3	19	4	7	4	14	14	45	7	30	240
計	74	12	34	25	5	20	5	9	4	16	18	52	7	36	317

文化財一覧

国指定文化財

種別		No.	名称	所有者	指定年月日	員数	時代	内容
国宝	建造物	1	安楽寺八角三重塔	安楽寺	S27.3.29	1	鎌倉時代末期	八角三重塔婆、初重裳階付、こけら葺、高さ18.56m (附)仏壇・棟札
重要文化財	建造物	2	国分寺三重塔	国分寺	M40.8.28	1	室町時代中期	二間三重塔婆、銅板葺、高さ20.10m (附)棟札
		3	前山寺三重塔	前山寺	T11.4.13	1	室町時代後期	三間三重塔婆、こけら葺、高さ18.07m
		4	法住寺虚空蔵堂	法住寺	T11.4.13	1	室町時代	間口三間、奥行四間、入母屋造、こけら葺、折衷様式 (附)厨子・棟札
		5	中禅寺薬師堂	中禅寺	S11.9.18	1	鎌倉時代前期	桁行三間、梁行三間、宝形造、茅葺 (附)棟札
		6	常楽寺多宝塔	常楽寺	S36.3.23	1	鎌倉時代(13世紀)	安山岩、総高274cm
		7	旧常田館製糸場施設	笠原工業(株)	H24.12.28	7	明治36年ほか	二階繭倉庫、四階繭倉庫、五階繭倉庫、五階鉄筋繭倉庫、撰繭場、事務所兼住宅、文庫蔵
	彫刻	1	木造惟仙和尚坐像	安楽寺	T12.3.28	1	鎌倉時代末期 (嘉暦四年 1329)	桧材、寄木造、彩色、玉眼嵌入、像高74.4cm
		2	木造恵仁和尚坐像	安楽寺	T12.3.28	1	鎌倉時代末期 (嘉暦四年 1329)	桧材、寄木造、彩色、玉眼嵌入、像高75.1cm
		3	薬師如来坐像	中禅寺	T12.3.28	1	平安時代後期 (13世紀前半)	桂材、寄木造、像高97.8cm (附)木造神将立像
		4	銅造観音菩薩立像	長福寺	S15.10.14	1	白鳳時代(7世紀後半)	銅造、像高36.7cm
	工芸品	1	刀(無銘長谷部)	個人	S31.6.28	1	南北朝時代	刀長70.0cm、反り2.4cm
		2	小文地桐紋付草胴服	上田市	S51.6.5	1	室町時代後期(16世紀)	表:七曜星重小文薫草、裏:濃茶染草、白鹿草五三桐紋7ヶ所、身丈89.0cm、肩幅70.5cm
	古文書	1	生島足島神社文書	生島足島神社	S62.6.6	94	室町時代後期から 江戸時代初期	起請文83通(永禄9・10年)　寄進状ほか11通
	歴史資料	1	反射望遠鏡	上田市	H24.9.6	1	江戸時代後期 (天保5年　1834)	グレゴリー式反射望遠鏡　国友一貫斎作 (附)覚書
重要有形民俗文化財		1	染屋焼コレクション	上田市	S39.5.29	66	江戸時代末期から 昭和初期	甕・壺類46点、鉢類12点、その他8点
記念物	史跡	1	信濃国分寺跡	上田市ほか	S5.11.19	1	奈良時代(8世紀)	4,178.00㎡、追加指定(S43.3.19)125,161.70㎡
		2	上田城跡	上田市ほか	S9.12.28	1	安土桃山時代 (天正11年 1583)	111,586㎡
		3	鳥羽山洞窟	深山・岡森・一本木諏訪神社	S53.1.27	1	縄文・古墳時代	古墳時代の葬所跡(曝葬)幅25m、奥行15m
	天然記念物	1	西内シダレクリ自生地	個人	T9.7.17	1		自生地、上田市平井字上の原一帯
		2	東内シダレエノキ	上田市・下和子自治会	T9.7.17	1		接木子木(7本)、実生子木(5本)
		3	四阿山の的岩	上田市東御市真田共有財産組合	S15.2.10	1		幅2～3m、高さ15m、長さ200m　垂直に柱状節理が発達した安山岩の大岩脈

国登録有形文化財

種別	No.	名称	所有者	登録年月日	員数	時代	内容
建造物	1	上田蚕種協業組合事務棟	上田蚕種(株)	H9.5.7	1	大正6年(1917)頃	木造2階建、瓦葺、建築面積764㎡
	2	信州大学繊維学部講堂(旧上田蚕糸専門学校講堂)	信州大学	H10.9.2	1	昭和4年(1929)	木造2階建、鉄板葺、建築面積357㎡
	3	旧常田幼稚園園舎	カルディア会 上田いずみ園	H15.7.1	1	大正8年(1919)	木造2階建、瓦葺、建築面積194㎡
	4	花屋ホテル本館・事務室棟ほか	(株)花屋ホテル	H18.10.18	19	大正7年(1918)他	木造、瓦葺ほか
	5	旧草間歯科医院	個人	H19.7.31	1	大正12年(1923)	木造2階建、瓦葺、建築面積53㎡
	6	飯島商店店舗棟・事務所棟・作業所棟	(株)飯島商店	H19.10.2	3	明治27年頃(1894)他	店舗棟　木造3階建、鉄板葺、146㎡　事務所棟　木造3階建、瓦葺、231㎡　作業所棟　木造3階建、瓦葺、330㎡
	7	信州大学繊維学部資料館 (旧上田蚕糸専門学校貯繭庫)	信州大学	H25.6.21	1	明治43年(1910)	煉瓦造2階建、瓦葺、建築面積67㎡
	8	信州大学繊維学部守衛所 (旧上田蚕糸専門学校門衛詰所)	信州大学	H25.6.21	1	大正元年(1912)/昭和4・39年移築他	木造平屋建、鉄板葺、建築面積24㎡
	9	筑波大学山岳科学センター 菅平高原実験所大明神寮	筑波大学	H30.3.27	1	昭和40年(1965)	木造平屋建、金属板葺、建築面積147㎡
	10	旧松高産婦人科医院大正館・表門及び塀	個人	H30.11.2	2	大正時代前期	大正館:木造2階建、金属板葺、建築面積33㎡、表門及び塀:及びコンクリート造、間口2.2m、総延長15m
	11	相澤商店店舗	個人	H30.11.2	1	昭和10年(1935)	木造2階建、銅板葺、建築面積157㎡
	12	上田聖ミカエル及諸天使教会堂	日本聖公会中部教区	R3.2.4	1	昭和7年(1932)	木造平屋建一部地階付、瓦葺、建築面積171㎡
	13	小泉家住宅店舗兼主屋	個人	R3.2.4	1	明治前期/平成28年改修	木造2階建、瓦葺、建築面積142㎡
	14	佐藤家住宅(三ツ引)主屋及び奥上段・蚕室・消毒室・文庫蔵ほか	個人	R3.6.24	9	江戸後期～明治後期	木造、瓦葺ほか
	15	前山寺本堂及び庫裏・玄関・山門	前山寺	R6.3.6	4	江戸中期～後期/平成13年改修ほか	本堂:木造平屋建、茅葺　庫裏・玄関:木造平屋建、瓦葺　山門:木造平屋建、茅葺　ほか
	16	りんどう橋	上田市	R6.3.6	1	明治中期／昭和3年・平成19年移築	鋼製単桁橋、橋長33m、幅員4.4m
	17	旧佐藤家住宅(藤本)一号蚕室ほか	藤本工業(株)	R6.8.15	6	明治前期/明治中期	土蔵造、瓦葺ほか
	18	東福寺檀信徒会館(旧滝沢家住宅主屋)	東福寺	R7.8.6	1	江戸後期／安政3年(1856)頃改修	木造平屋建、茅葺(鉄板仮葺)、建築面積190㎡
	19	旧土屋家住宅主屋	個人	R7.11.17	1	明治25年／昭和中期改修	木造2階建、茅葺(鉄板仮葺)、建築面積116㎡

国登録有形民俗文化財

種別	No.	名称	所有者	指定年月日	員数	時代	内容
有形の民俗文化財	1	松山犂の製作用具及び製品	(公財)松山記念館	R8.3.24	541	明治時代	製品用具　476点、製品　65点

国選択無形民俗文化財

種別	No.	名称	所有者	選択年月日	員数	時代	内容
民俗無形文化の財	1	戸沢のねじ行事	戸沢のねじと馬引き保存会	H8.11.28	1		「ねじ」は、縁起物などをかたどった食物
	2	別所温泉の岳の幟行事	岳の幟保存会	H9.12.4	1	室町時代（伝：永正元年 1504）	雨乞い習俗として地域的特色のある行事
	3	上田市八日堂の蘇民将来符頒布習俗	信濃国分寺・蘇民講	H12.12.25	1	室町時代以降	1月7・8日に六角柱型の護符（蘇民将来符）を頒布

国認定重要美術品

種別	No.	名称	所有者	指定年月日	員数	時代	内容
絵画	1	板絵著色二浦屋の図	常楽寺	S16.7.23	1	江戸時代中期（享保15年 1730）	高さ116cm×横170cm
書跡	1	大般若経六百帖箱	常楽寺	S8.7.25	600	南北朝から室町時代	版本444帖及び写本156帖
	2	紙本墨書徳川家康日課念仏	常楽寺	S9.5.18	1	江戸時代初期（慶長17年 1612）	縦26cm×横140cm

県指定文化財

種別		No.	名称	所有者	指定年月日	員数	時代	内容
県宝	建造物	1	上田城（南櫓、北櫓、西櫓）	上田市	S34.11.9	3	江戸時代初期（寛永3～5年）	桁行5間、梁間4間、木造2階建、入母屋造、本瓦葺 寛永3～5年（1626～1928）に仙石忠政が建築
		2	石造五輪塔（金王五輪塔）	舞田自治会	S49.11.14	1	鎌倉時代初期	総高211cm
		3	西光寺阿弥陀堂	西光寺	S56.12.7	1	室町時代後期（16世紀前半）	桁行三間（一間吹放し、梁間三間、木造平屋建、入母屋造、柿葺
		4	生島足島神社歌舞伎舞台	生島足島神社	S61.8.25	1	明治元年(1868)	桁行9間、張間6.5間、木造平屋建、切妻造、桟瓦葺 回転台直径4.5m
		5	文殊堂	天竜寺	S63.8.18	1	江戸時代	間口三間、奥行四間、入母屋造、銅板葺
		6	実相院宝篋印塔	実相院	H3.8.15	1	南北朝時代（貞治6年 1367）	総高213.5cm
		7	国分寺本堂（薬師堂）	国分寺	H9.2.20	1	江戸時代末期（万延元年 1860）	桁行八間、梁間五間、単層入母屋造、屋根桟瓦葺
		8	生島足島神社本殿内殿	生島足島神社	H10.10.26	1	室町時代後期(16世紀前期から中期)	桁行柱間三間、梁間柱間二間、屋根切妻厚板張
		9	生島足島神社摂社諏訪社本殿及び門	生島足島神社	H14.3.28	2	江戸時代初期（慶長15年 1610）	本殿：一間社流造、銅板葺(元こけら葺)
		10	旧倉沢家住宅主屋及び客座敷	上田市	H17.3.28	2	江戸時代前期（17世紀中頃）ほか	木造平屋建、茅葺、寄棟造（附）表門・文庫蔵・土蔵・倉庫・井戸及び上屋・屋敷神祠・普請文書
	絵画	1	紙本墨書著色正保の信濃国絵図	上田市	S49.11.14	1	江戸時代前期（正保4年 1647）	縦854cm×横464cm
		2	絹本著色綱敷天神像	常楽寺	H17.3.28	1	室町時代（応永12年 1405）	軸装、本紙（縦69.0cm、横36.2cm）、軸（縦169.5cm、横50.8cm）、菅原道真（綱敷天神）画像
	彫刻	1	木造阿弥陀如来坐像	霊泉寺	S55.3.13	1	南北朝時代	寄木造、像高96cm、（附）造内納入品一括
		2	中禅寺木造金剛力士立像	中禅寺	H13.3.29	2	平安時代末期	桂材（一部桧材）、寄木造、阿吽一対、像高：阿形219cm、吽形222cm
		3	銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	願行寺	H29.3.16	3	鎌倉時代後期（13世紀末）	銅造　善光寺式一光三尊仏　像高47.5cm（中尊）　33.2cm（左脇侍）　32.2cm（右脇侍）
		4	木造十一面観音菩薩立像	実相院	H30.2.13	1	平安時代後期（12世紀第2～3四半期）	桂材、寄木造、彫眼、像高107.8cm
	工芸品	1	太刀（山浦壽昌）	上田市	S40.1.14	1	江戸時代末期（弘化4年 1847）	刀長97.5cm、反り2.1cm、山浦壽昌（真雄）作
		2	刀（源清磨）	個人	S41.3.17	1	江戸時代末期（嘉永2年 1849）	刀長72.7cm、反り1.8cm、源清麿作
		3	刀（源清磨）	個人	S41.3.17	1	江戸時代末期（嘉永2年 1849）	刃長71.2cm、反り1.9cm、源清麿作
	考古資料	1	唐沢B遺跡出土品	上田市	H12.9.21	32	縄文時代草創期	石斧、尖頭器等の石器類25点、剥片6点、礫1点
		2	鳥羽山洞窟遺跡出土品	上田市	H19.1.11	247	縄文・古墳時代	須恵器、石釧、銅釧、鉄剣、鹿角装刀子、鉄製馬具等
記念物	史跡	1	真田氏館跡	上田市ほか	S42.10.23	1	室町時代後期	東辺80m　西辺130m　北辺150m　南辺160m
		2	戸石城跡	私所有42名	S44.5.15	1	室町時代後期	28,818㎡、米山城を含む
		3	塩田城跡	私所有46名	S45.4.13	1	鎌倉時代後期	146,038㎡
		4	菅平唐沢岩陰遺跡	上田市東御市真田共有財産組合	S48.3.12	1	縄文時代から古墳時代	標高1,240m　幅15m　奥行2m　高さ3mの岩陰遺跡
	天然記念物	1	菅平のツキヌキソウ自生地	菅平牧場畜産共同組合	S35.2.11	1		スイカズラ科ツキヌキソウ属　多年草　高さ70～90cm
		2	小泉、下塩尻及び南条の岩鼻	法人3及び個人8名	S49.1.17	2		104,469㎡（うち上田市83,960㎡）　モイワナズナ・シンパク・シモフリナデシコが自生、チョウゲンボウが生息
		3	小泉のシナノイルカ	高仙寺	S49.11.14	1	約1,400万年前	化石、長さ1.2m

県選択無形民俗文化財

種別	No.	名称	所有者	選択年月日	員数	時代	内容
民俗無形	1	別所岳の幟りの習俗	岳の幟保存会	S44.3.30	1	室町時代（伝：永正元年 1504）	雨乞い習俗として地域的特色のある行事

市指定文化財

種別	No.	名称	所有者	指定年月日	員数	No.	名称	所有者	指定年月日	員数
建造物	1	荒神宮本殿	荒神宮	S43.4.25	1	20	荒神宮石造五輪塔	荒神宮	S59.4.9	1
	2	石造五輪塔（二基）	下塩尻自治会	S43.4.25	2	21	常楽寺石造多層塔	常楽寺	S59.4.9	1
	3	願行寺四脚門	願行寺	S43.4.25	1	22	安曽甚太夫五輪塔	個人	S59.4.9	2
	4	上田藩主居館表門及び土塀・濠・土塁	長野県	S44.5.9	1	23	上田原石造五輪塔	個人	S61.6.5	1
	5	奈良尾石造多重塔（弥勒仏塔）	奈良尾自治会	S44.6.5	1	24	太郎山神社本殿	太郎山並太郎山神社保存会	H1.10.9	1
	6	安楽寺経蔵（附）八角輪蔵	安楽寺	S44.6.5	1	25	妙見寺　鳴龍	妙見寺	H1.12.20	1
	7	霊泉寺五輪塔	霊泉寺	S45.1.1	1	26	五加八幡神社石燈籠	五加自治会	H2.2.20	1
	8	竹の花五輪塔	個人	S45.1.1	1	27	塩野神社拝殿及び本殿	東前山・西前山自治会	H3.9.12	2
	9	信濃国分寺石造多宝塔	国分寺	S46.4.8	1	28	半井諏訪神社奉納殿	西内崇敬会	H4.3.26	1
	10	中原宝篋印塔	中原自治会	S47.4.1	1	29	旧上田市立図書館	上田市	H5.2.3	1
	11	安良居神社本殿	上丸子4自治会	S47.7.1	1	30	旧宣教師館	上田市	H5.5.6	1
	12	中禅寺石造五輪塔	中禅寺	S48.4.9	1	31	別所神社本殿	別所神社	H6.11.1	1
	13	東昌寺鐘楼	東昌寺	S49.6.5	1	32	カネタの煙突	個人	H7.8.29	1
	14	弾正塚宝篋印塔	個人	S50.10.1	1	33	常楽寺本堂	常楽寺	H9.4.9	1
	15	日吉社の社殿	大宮諏訪神社氏子	S51.6.19	1	34	全芳院本堂	全芳院	H17.1.28	1
	16	南方薬師堂	南方自治会	S52.11.28	1	35	依水館客殿及び玄関	上田市	H18.1.27	2
	17	小泉大日堂	高仙寺	S56.4.8	1	36	笠原工業常田館製糸場	笠原工業(株)	H22.2.19	8
	18	宗吽寺石幢	宗吽寺	S57.4.13	1	37	飯沼郷蔵	飯沼自治会	H28.4.20	1
	19	塩野神社廻り舞台	保野自治会	S58.4.8	1	38	旧千曲会館	信州大学	H28.6.22	1
絵画	1	紙本著色花鳥人物屏風	竜光院	S44.6.5	2	6	絹本著色藤娘と鬼の念仏絵	常楽寺	S52.3.18	1
	2	板絵著色劉備檀渓渡河の図	常楽寺	S47.6.8	1	7	板絵著色絵馬富士の巻狩り	富士嶽神社	S55.4.8	1
	3	板絵著色踊り念仏と六歌仙図	常楽寺	S47.6.8	1	8	仏生誕・涅槃図	藤原田自治会	S57.3.14	2
	4	絹本著色聖観音画像	常楽寺	S48.4.9	1	9	紺屋町八幡社絵馬	上田市	S60.9.6	2
	5	絹本著色愛染明王画像	常楽寺	S48.4.9	1					
彫刻	1	長泉寺板碑	長泉寺	S45.1.1	1	14	木製鬼板	手塚八幡社	S56.3.6	2
	2	聖観音立像	小沢根自治会	S46.2.15	1	15	藤原田木造千手観音坐像	藤原田自治会	S57.3.14	1
	3	弥勒菩薩坐像	鳥屋自治会	S46.2.15	1	16	木造狛犬	塩野神社	S57.4.13	2
	4	木造馬頭観音坐像	実相院	S47.4.1	1	17	双体道祖神	鳥屋自治会	H6.3.18	1
	5	木造僧形坐像	横沢自治会	S47.4.1	1	18	掌善掌悪の碑	妙見寺	H6.3.18	2
	6	尾野山木造千手観音立像	尾野山自治会	S47.7.1	1	19	石幢	正念寺	H6.3.18	1
	7	木造阿弥陀如来立像	芳泉寺	S49.6.5	1	20	木造菩薩立像	願行寺	H6.11.1	1
	8	南方荒野板碑	個人	S53.12.27	2	21	木造阿弥陀如来坐像	耕雲寺	H12.4.26	1
	9	石造大姥坐像	富士嶽神社	S55.4.8	1	22	西光寺金剛力士像	西光寺	H13.9.13	2
	10	木造獅子頭	塩野神社	S55.4.8	2	23	木造大日如来坐像	前山寺	R6.11.28	1
	11	木造狛犬	生島足島神社	S55.4.8	2	24	木造薬師如来立像	神畑自治会	R6.11.28	1
	12	木造薬師如来立像	馬背神社	S56.2.6	1	25	木造阿弥陀如来坐像	芳泉寺	R6.11.28	1
	13	木造狛犬	馬背神社	S56.3.6	2	26	木造阿弥陀如来坐像	芳泉寺	R6.11.28	1
工芸品	1	銅製鰐口	観音寺	S43.4.25	1	11	銅製孔雀文磬	高仙寺	S49.6.5	1
	2	銅製雲板	陽泰寺	S43.4.25	1	12	東昌寺僧具	東昌寺	S53.4.8	7
	3	灰釉四耳壺	深区神社	S44.5.9	1	13	鋳銅製御正躰	日輪寺	S54.4.9	1
	4	褐色縅唐冠崩し当世具足	上田市	S44.5.9	1	14	鉄製湯釜	生島足島神社	S55.4.8	6
	5	紺糸縅白熊毛当世具足	上田市	S44.5.9	1	15	刀　糸巻太刀拵付	菅平自治会	S56.6.26	2
	6	杏掛家蹴鞠資料	個人	S45.5.11	49	16	銅製陣鐘	個人	S58.4.8	1
	7	銅製鰐口	中禅寺	S45.6.5	1	17	銅製鉦鼓	荒井自治会	H8.6.25	1
	8	紺糸縅金剛力士頭当世具足	上田市	S46.4.8	1	18	銅製雲板	個人	H8.6.25	1
	9	木造百万塔	常楽寺	S48.4.9	1	19	銅製十一面観音像御正体	三島神社氏子	H20.6.24	1
	10	銅製御正躰（懸仏）	高仙寺	S49.6.5	1	20	刀	個人	R6.11.28	1
書跡	1	佐久間象山書五反幟	五加八幡社	S44.6.5	2	3	加舎白雄自筆酒中仙屏風	個人	H2.2.20	1
	2	加舎白雄自筆画賛屏風	個人	H2.2.20	1					
古文書	1	海野町柳沢家日記（本陣日記）	個人	S44.5.9	146	11	紙本墨書武田信玄朱印状（小泉家）	個人	S55.4.8	1
	2	原町滝沢家日記（問屋日記）	個人	S44.5.9	157	12	野倉惣帳	野倉自治会	S56.3.6	1
	3	元禄信濃国絵図	上田市	S44.5.9	1	13	信濃国分寺勧進帳	国分寺	S57.4.13	11
	4	黄檗版蔵経	安楽寺	S44.6.5	7334	14	天保信濃国絵図	上田市	S58.4.8	15
	5	紙本墨書武田信玄の朱印状	塩野神社	S45.6.5	1	15	真田氏文書	山家神社・信綱寺・実相院・上田市	S59.8.31	17
	6	紙本墨書武田勝頼の朱印状	前山寺	S45.6.5	1	16	上田藩村明細帳	個人	S61.6.5	77
	7	紙本墨書開善寺宛武田信玄判物	海禅寺	S54.4.9	1	17	牛頭天王祭文	国分寺	H7.12.7	1
	8	紙本墨書開善寺宛武田信玄寄進状	海禅寺	S54.4.9	1	18	真田氏給人知行地検地帳	個人	H11.3.26	1
	9	紙本墨書武田信玄朱印状	向源寺	S54.4.9	1	19	安楽寺蘭渓道隆尺牘	安楽寺	H17.9.28	1
	10	紙本墨書武田信玄朱印状（西光寺宛）	西光寺	S55.4.8	1					
考古資料	1	石器	個人	S50.10.1	614	5	銅印	上田市	H25.3.14	1
	2	巴形銅器	個人	S50.11.13	1	6	鉄鑿	上田市	H25.3.14	1
	3	雁石遺跡魚形土製品	上田市	H10.6.30	1	7	鉄矛	上田市	H27.7.23	1
	4	銅三尊仏	上田市	H25.3.14	1					
歴史資料	1	小山真夫調査野帳	上田市	S50.11.13	26	3	岩谷堂法蔵寺奉加帳	宝蔵寺	H9.12.24	1
	2	赤松小三郎佩刀	上田市	S58.4.8	1	4	蔵前の大桝	上田市	H24.10.19	1

市指定文化財

種別	No.	名称	所有者	指定年月日	員数	No.	名称	所有者	指定年月日	員数
無形文化財	1	尾野山三頭獅子	尾野山無形文化財保存会	S51.7.30	1	3	腰越諏訪神社御柱祭御練り	腰越御練り保存会	H4.3.26	1
	2	尾野山式三番叟	尾野山無形文化財保存会	S53.12.27	1	4	依田神社大神楽獅子舞	御嶽堂依田神社大神楽保存会	H5.8.19	1
有形民俗文化財	1	蘇民将来符	国分寺及び檀信徒	S43.4.25	1	8	円座(いっつあ)	個人	S55.4.8	1
	2	八日堂縁日図	国分寺	S43.4.25	1	9	男石神社絵馬	赤坂自治会	S58.4.8	71
	3	板碑	個人	S44.5.9	10	10	地芝居引幕	野倉自治会	S61.6.5	6
	4	藤本蚕種株式会社保存繭標本	上田市	S44.5.9	2500	11	お舟の天王山車	海野町自治会	S61.8.5	1
	5	浜村家能面狂言面	上田市	S46.4.8	70	12	下丸子釈迦涅槃図	下丸子自治会	H6.8.29	1
	6	能衣装上田縞小格子厚板	上田市	S46.4.8	1	13	祇園祭礼屏風	上田市	H15.10.9	2
	7	五位塚の板碑	上室賀自治会	S47.4.1	3	14	三島神社の円座(いっつぁ)	三島平自治会	H18.1.27	3
無形民俗文化財	1	常田獅子	常田獅子保存会	S43.4.24	1	8	前山二頭獅子	東前山獅子保存会	H1.3.8	1
	2	房山獅子	房山獅子保存会	S43.4.24	1	9	上室賀三頭獅子	室賀水上神社三頭獅子ささら保存会	H5.2.3	1
	3	岳の幟	岳の幟保存会	S44.6.5	1	10	下室賀三頭獅子	下室賀自治会	H5.5.6	1
	4	保野の祇園祭	保野祇園祭保存会	S44.6.5	1	11	太郎山神社太々神楽	太郎山神社太々神楽保存会	H7.12.7	1
	5	子檀嶺神社御柱祭行事	子檀嶺神社氏子	S46.2.15	1	12	下之郷三頭獅子	下之郷三頭獅子舞保存会	H11.2.9	1
	6	三ッ頭獅子	上原三ツ頭獅子保存会	S54.5.1	1	13	横道の十九夜講	横道3自治会	H12.4.26	1
	7	氷上王子神社大神楽獅子舞	氷上王子神社神楽保存会	S56.3.6	1	14	一心神社祭典行事	一心神社氏子	H1.12.20	1
史跡	1	赤坂将軍塚古墳	赤坂自治会	S43.4.24	1	24	新屋古墳	個人	S48.4.9	1
	2	二子塚古墳(前方後円墳)	二子神社	S43.4.25	1	25	皇子塚古墳	八幡社氏子会	S48.4.9	1
	3	下青木吉田原古墳	下青木自治会	S44.5.9	1	26	日向畑遺跡	上田市	S50.4.1	1
	4	秋和大蔵京古墳	豊秋霧原野神社	S44.5.9	1	27	藤沢古墳1号・2号	個人	S50.10.1	2
	5	活文禅師遺跡1号 毘沙門堂跡	上田市	S44.5.9	1	28	塚穴原第1号古墳	上田市	S53.4.8	1
	6	活文禅師遺跡2号 龍洞院敷地及び遺品	龍洞院	S44.5.9	1	29	赤松小三郎遺髪の墓	月窓寺	S53.4.8	1
	7	活文禅師遺跡3号 岩門大日堂跡	岩門自治会	S44.5.9	1	30	成沢寛経翁奥城(墓)	日輪寺	S53.4.8	1
	8	辰ノ口高塚	個人	S45.1.1	1	31	竹内善吾武信の墓	呈蓮寺	S53.4.8	1
	9	小松姫(真田信之室)の墓	芳泉寺	S45.5.11	1	32	神宮寺古墳	個人	S55.4.8	1
	10	岩谷堂岩窟古墳	宝蔵寺	S46.3.1	1	33	東馬焼窯跡	個人	S56.3.6	1
	11	王子塚古墳	王子神社	S46.4.8	1	34	仙石家霊廟	芳泉寺	S56.4.8	2
	12	寒松院(真田昌幸室)の墓	大輪寺	S46.4.8	1	35	仙石家本陽寺墓所	本陽寺	S56.4.8	1
	13	岡城跡	私所有15名	S47.4.1	1	36	矢花の七つ塚	個人	S57.4.13	4
	14	広山寺古墳	広山寺	S47.4.1	1	37	畑山発電所跡	個人	S57.4.13	1
	15	真田氏本城跡	十林寺自治会ほか	S47.4.1	1	38	弘長三年光明寺建立碑	長谷寺	S58.3.7	1
	16	松尾城跡	横沢自治会ほか	S47.4.1	1	39	岩井観音堂再建碑	長谷寺	S58.3.7	1
	17	天白城跡	赤井自治会ほか	S47.4.1	1	40	塚穴古墳	赤坂自治会	S58.4.8	1
	18	横尾城跡・内小屋城跡	横尾自治会ほか	S47.4.1	2	41	舟窪古墳群	上田市	S60.9.6	5
	19	根小屋城跡	曲尾自治会ほか	S47.4.1	1	42	タタラ塚古墳	長野県	S63.3.7	1
	20	洗馬城跡	個人	S47.4.1	1	43	徳邦和尚火定の跡	大円寺	H1.3.8	1
	21	真田幸隆・昌幸の墓	長谷寺	S47.4.1	3	44	中山城跡	小沢根自治会	H1.12.20	1
	22	真田信綱の墓	信綱寺	S47.4.1	2	45	浦野城跡・御射山祭広庭跡	個人	H23.2.8	7
	23	他田塚古墳	上田市	S47.6.8	1					
名勝	1	岩屋観音洞窟	横沢自治会	S54.5.1	1	5	天狗の欄干	国(東信森林管理所)	S54.5.1	1
	2	シシの牢	国(東信森林管理所)	S54.5.1	1	6	鬼ケ城	国(東信森林管理所)	S54.5.1	1
	3	鬼の門	国(東信森林管理所)	S54.5.1	1	7	鴻の巣	上田市	H10.11.18	1
	4	アラ板の岩壁とネンボウ岩	国(東信森林管理所)	S54.5.1	2					
天然記念物	1	科野大宮社社叢	科野大宮社	S44.5.9	1	16	石割りのアオナシ	上田市	S54.5.1	1
	2	大星神社社叢	大星神社	S44.5.9	1	17	信広寺のシダレザクラ	信廣寺	S54.10.24	1
	3	枕状溶岩露出地	上田建設事務所	S46.3.1	1	18	大布施のヒガンザクラ	個人	S54.10.24	1
	4	大日向の二形カエデ	個人	S47.4.1	1	19	南方荒野ビャクシン	個人	S55.4.26	2
	5	菅平湿原のクロサンショウウオ		S47.4.1	1	20	菅平口の枕状溶岩	個人	S57.1.20	1
	6	穴沢弾正塚の一本松	個人	S47.4.1	1	21	山家神社社叢	山家神社	S57.3.2	1
	7	大宮諏訪神社のサワラの木	大宮諏訪神社氏子	S47.4.27	1	22	番匠のカツラ	個人	S58.7.15	1
	8	武石	信廣寺・上田市	S47.4.27	1	23	桑の木	上田市	S60.9.6	1
	9	ナンジャモンジャの木	上塩尻自治会	S48.4.9	1	24	大笹街道のシナノキ群	菅平牧場畜産協同組合ほか	S63.12.20	5
	10	愛染カツラ	常楽寺	S49.6.5	1	25	緑簾石	上田市	H1.12.20	1
	11	出早雄神社社叢	下原・上原・大畑自治会	S50.10.1	1	26	大六のケヤキ	石神自治会	H4.5.13	1
	12	駒形神社のトチの木	余里自治会	S51.6.19	1	27	岩谷堂エドヒガン	宝蔵寺	H9.12.24	1
	13	天神宮のケヤキ	岩下自治会	S52.3.18	2	28	ちがい石の産地	前山寺・東前山生産森林組合	H10.5.15	1
	14	高仙寺参道並木	高仙寺	S54.4.9	1	29	ニホンオオカミの頭骨	上田高等学校	H18.2.16	1
	15	前山寺参道並木	上田市	S54.4.9	1	30	マダラヤンマ及びその生息地	上田市	H18.2.16	1

公　民　館

1　基本方針

公民館は、地域社会に根づき、住民生活に密接に結びついた活動を通し、人々の学習意欲を高め、地域づくりの中に住民を主体とした生涯学習を進めるため、次の目標を達成できるよう努めます。

⑴　地域住民が自由に集える場の実現を目指します。
⑵　地域の生涯学習の拠点として、様々な学習活動を展開します。
⑶　地域の暮らしと文化を創造し、明るいまちづくりを目指します。

2　所在地等

公民館名	所在地	開館年月日	延面積	電話・FAX
中央公民館 上田文化会館 （文化センター）	〒386-0014 材木町一丁目2番3号	中央公民館 昭和60年2月1日 上田文化会館 昭和60年6月10日	3，977．9㎡ 内訳 中央公民館 1，836．5㎡ 上田文化会館 2，109．5㎡ 喫茶室31．9㎡	Tel 22-0760 Fax 22-1633
西部公民館	〒386-0027 常磐城五丁目4番34号	昭和54年4月1日 （平成29年8月1日 移転改築）	1，609．92㎡ 内訳 本館 1，523．39㎡ 工芸棟　86．53㎡	Tel 27-7544 Fax 27-7522
城南公民館 （城南解放会館と 併設）	〒386-0034 中之条460番地	昭和49年7月10日 （平成24年3月28日 改築）	1，653．86㎡ 内訳 城南解放会館と併設 1，567㎡ 工芸棟 86．86㎡	Tel 27-7618 Fax 27-7467
上野が丘公民館	〒386-0002 住吉378番地1	昭和47年4月1日 （平成16年4月11日 移転改築）	1，514．55㎡ 内訳 本館 1，408．30㎡ 工芸棟 106．25㎡	Tel 24-0659 Fax 24-2300
塩田公民館 （塩田解放会館と 併設、塩田地域 自治センターとの 複合館）	〒386-1325 中野20番地	昭和46年7月20日 （平成22年3月28日 改築）	1，558．89㎡ 内訳 塩田解放会館と併設 1，512．78㎡ 陶芸棟46．11㎡	Tel 38-6883 Fax 38-7013
川西公民館 （川西地域 自治センター との複合館）	〒386-1106 小泉863番地1	昭和48年8月31日 （平成24年3月21日 改築）	1，224．15㎡ 内訳 公民館部分 1，159．15㎡ 美術工作室65㎡	Tel 22-5004 Fax 22-5014
丸子公民館	〒386-0404 上丸子1592番地2	平成22年4月1日	1，201．72㎡	Tel 42-3147 Fax 42-0303
真田中央公民館	〒386-2201 真田町長7199番地1	昭和61年4月1日	2，216．7㎡	Tel 72-2655 Fax 72-8133
武石公民館（武 石地域総合セン ターとの複合館）	〒386-0592 下武石742番地	昭和48年10月31日 （令和3年3月29日 改築）	2，599.94㎡ （武石地域総合センター を含む）	Tel 85-2030 Fax 85-2205
神川地区公民館	〒386-0155 蒼久保1212番地1	昭和56年10月3日 （平成31年4月1日 移転改築）	685㎡	Tel 71-6553
塩尻地区公民館	〒386-0042 上塩尻253番地1	昭和57年4月1日	656．71㎡	Tel 27-7544 （西部公民館）

３　令和８年度事業計画

令和8年4月1日現在

区分	中央公民館	実施時期	西部公民館	実施時期	城南公民館	実施時期
成人・女性教育	アナログ・レコード鑑賞会	年間	誰でもできる！楽しい運動教室	年間	生活文化教養講座	年間
	料理講座	5～3月	女性学級(女性リーダー育成)	年間	健康づくり講座	年間
	はたらく大人のためのヨガ講座	5・9月	太郎山・虚空蔵山縦走路登山	春・秋	地域学習講座	年間
	蚕都上田講座	6月・冬	太郎山・虚空蔵山縦走路整備	春・秋	料理教室	年間
	平和学習・展示	8月	FUN＆JOYダンスエアロ	5～7月	歴史講座	年間
	防災講座	秋	童謡・唱歌を楽しむ教室	6～3月	平和学習事業	年間
	刀剣講座	冬	にこにこ料理教室	秋	フラワーアレンジメント講座	年間
	神川講座	年3回	地域福祉講座	12月	スマホ講座	5月
			西部・塩尻今昔	冬	ウォーキング講座	7月
			筒けん・箸タイム脳活エクササイ	2月	自然観察会	7～10月
			お花の講座	年3回	防災講座	10月
					城下消防まつり	10月
青少年家庭教育	親子ふれあい広場	年間	こどもまんなか社会学習事業	年間	地域におけるこどもまんなか社会学習事業	年間
	あかちゃん広場	年間	親子のびのび広場	年間	親子すくすく広場	年間
	地域におけるこどもまんなか 社会学習事業	年間	プレ親子のびのび広場	年間	赤ちゃん広場	年間
	学校支援事業（小・中・高学校）	年間	西小支援ボランティア	年間	城南地域の宝さがし事業	年間
	入園グッズ手作り講座	年6回	青少年育成市民会議講演会	5月	青少年育成市民会議	7月
	どれみファミリーコンサート	年2回	学社連絡会	7月	夏休み子ども学びルーム	7・8月
	ベビーサイン講座	年間	親子わくわくクッキング	年2回	子ども将棋大会	7・3月
	mama’sにこにこセミナー	5～12月	魚のつかみ取り	8月	けん玉教室	8月
	夏休みこども教室	7・8月	青少年育成講演会	10月	子どもチャレンジ広場	8月
	書初め講座	1月	青少年育成研修会	12月	親子食育講座	3月
	食育講座	秋	春休み子どもおもしろ講座	3月	学童野球大会	9月
	夏休み子ども学習室開放	7・8月			学童サッカー大会	12月
高齢者教育	上田市ことぶき大学	年間	高齢者芸術鑑賞会	冬	上田市ことぶき大学	年間
	上田市ことぶき大学院	年間	高齢者学級	5～12月	（城南公民館校）	
	高齢者文化紀行	秋			グラウンドゴルフ大会	5月
					スマイルボウリング大会	7月
					マレットゴルフ大会	10月
					芸能アトラクション	1月
人権同和教育	地域における人権学習事業	年間	地域における人権学習事業	年間	地域における人権学習事業	年間
	神川地区人権出前講座	冬	人権教育指導者研修会	5･10･12月	解放子ども会(緑が丘)	年間
	人権を考える市民集会	11月	人権を考える市民のつどい	9月	人権同和教育基礎講座	4月
	東部地区人権出前講座	秋			城南地区人権を考える集い	12月
社会体育	軽スポーツ指導者講習会	5・9月	ペタンク大会	5月	ペタンク大会	5月
	神川地区ソフトボール大会	6月	卓球大会	6月	ニュースポーツ体験交流会	10月
			ビーチボール大会＆ファミリービーチボール大会	9月		
			ふれあいレクリエーション	10月		
文化活動	神川地区市民文化祭	11月	西部地域まちづくりフェスタ	11月	城南地区文化祭	11月
	上田市短詩型文学祭	12月	西部公民館まつり	2月		
	文化創造祭	2月				
	上田合唱祭	3月				
分館育成	分館活動の推進	年間	分館活動の推進	年間	分館活動の推進	年間
	分館に対する相談窓口の開設	年間	分館役員研修会	2月	分館に対する相談窓口の開設	年間
	分館役員研修会	2月	分館に対する相談窓口の開設	年間	分館役員研修会	2月
その他	公民館だより発行	年間	公民館だより発行	年間	公民館だより発行	年間
	HP・FB・Instagramによる広報	年間	HPによる広報	年間	HP・FBによる広報	年間
	団体グループ育成	年間	団体グループ育成	年間	団体グループ育成	年間
	施設・備品貸出	年間	施設・備品貸出	年間	図書貸出	年間
	地域学校協働活動	年間	学校支援活動	年間	生活改善推進	年間
			図書貸出	年間	学校支援活動	年間
					施設・備品貸出	年間

区分	上野が丘公民館	実施時期	塩 田 公 民 館	実施時期	川 西 公 民 館	実施時期
成人・女性教育	教養講座（古文書講座、えんぴつ散歩講座等）	年間	郷土史講座(古文書解読講座・塩田の歴史・文化を学ぶ集い)	年間	教養講座（市誌・文学等）	年間
	地域学習講座	年間	生活文化講座(パソコン教室、料理教室等)	年間	春と秋の健康講座	5～10月
	健康づくり講座	年間			冬の健康講座	12～2月
	生活文化講座	年間	地域防災講座	夏	小泉婦人学級	4～2月
	（和紙で包む折形講座等）		地域の福祉を考える講座	7～11月	インスタグラム講座	9月
	平和学習	8月	音楽コンサート	10月	フラワーアレンジメント講座	11月
	コンサート	2月	冬の健康づくり教室	1～3月	ハーブ講座	12月
	介護予防講座	9～2月	歩こう会	年間	川西ボランティア実践講座	年間
			スマホ講座	年間	歩こう会	年間
			アロマ講座	8月	ふるさと再発見きく・みる・まなぶ川西紀行（岡編）	4～6月
			お掃除講座	7月	一つ一つの民話を深く読む講座	年5回
青少年家庭教育	こどもまんなか社会学習事業	4～12月	こどもまんなか社会学習事業	4～12月	こどもまんなか社会学習事業	4～12月
	青少年育成を考える集い	7月	こどもまんなか社会学習担当者会議	3月	青少年育成関係団体連絡会	年3回
	上野が丘ガッツクラブ	年間	青少年育成関係団体連絡会議	6月	子どもの明日を考える集い	8月
	夏休み「わいわい塾」	8月	青少年育成推進大会	7月	音楽交流会「ひびけ川西の空に」	10月
	親子ふれあい広場	年間	親子ふれあい広場	年間	親子ふれあい広場	年間
	学校支援事業（小・中学校）	年間	青少年故郷体験学習	9～2月	川西剣道教室	年間
	青少年の未来を考える集い	11月	(塩田ため池探検隊)		親子自然観察会	8月
	学習室開放事業	長期休業中	夏休み学習室開放	7～8月	川西学童野球大会	4月
	おはなし会	6月	夏休み講座	7～8月	川西こども広場(夏・冬・春)	7･1･3月
	書初め教室	1月	自然体験講座	年間	学校支援事業(小・中学校)	年間
					ファミリーコンサート	年1回
					親子ｄeハグして1・2・3	年6回
					ベビーマッサージ	年4回
高齢者教育	はつらつカレッジ	年間	シニア向け講座 ずくだせ広場	9月～	すこやか大学	6～11月
			大人のための社会見学講座	11月		
			生き生き体力アップ教室	年間		
人権同和教育	地域における人権学習事業	4～12月	地域における人権学習事業	5～11月	地域における人権学習事業	4～12月
	人権同和教育指導者養成講座	年2回	人権学習担当者会	3月	人権同和教育講座（４回）	5～11月
	人権を考える上野が丘地区市民の集い	9月	人権教室	5月	川西地区人権を考える集い	9月
			人権を考える塩田地区市民の集い	12月	部落解放同盟との懇談	8月
社会体育	お宝発見!!上野が丘里山歩き	4月	塩田ファミリースポーツ大会	6月	川西ソフトスポーツフェスタ	10月
	マレットゴルフ体験交流会	5月	(ビーチボール大会)		ソフトスポーツ体験会	5～10月
	ニュースポーツ体験会	6月	塩田ニュースポーツ体験会	11月		
	秋のスポーツ大会	10月	塩田バドミントン大会	3月		
	ゴルフ大会	春・秋				
文化活動	公民館まつり	10月	塩田公民館文化祭	10月	弦楽四重奏	12月
	利用者団体の集い	3月	利用者団体連絡協議会	年間	川西公民館まつり	10月
	利用者団体連絡協議会	年間				
分館育成	分館活動の推進	年間	分館活動の推進	年間	分館活動の推進	年間
	分館役員研修会	2月	分館役員研修会	3月	分館役員研修会	2月
	分館に対する相談窓口の開設	年間	分館に対する相談窓口の開設	年間	分館に対する相談窓口の開設	年間
その他	学習支援活動	年間	公民館だより発行	年間	公民館だより発行	年間
	公民館だより発行	年間	HP・FBによる広報	年間	キッズひろば発行	7･12･3月
	HP・FB・Instagramによる広報	年間	生活改善推進	年間	HPによる広報	年間
	生活改善推進	年間	団体グループ育成	年間	生活改善推進	年間
	団体グループ育成	年間	図書貸出	年間	団体グループ育成	年間
	図書貸出	年間	施設・備品貸出	年間	図書貸出	年間
	施設・備品貸出	年間	しおだっ子応援団他協働活動	年間	施設・備品貸出	年間
	住民自治組織との連携	年間	みんなのしおだ食堂への後援	年間	川西里山・水辺をつなぐ会	年間
			住民自治組織との連携	年間	住民自治組織との連携	年間
					学校支援活動	年間

区分	丸 子 公 民 館	実施時期	真田中央公民館	実施時期	武 石 公 民 館	実施時期
成人・女性教育	英会話教室 抱っこｄｅライブ 各種講座 信州上田　丸子夏期大学 日本語教室	年間 年間 年間 8～9月 年間	歴史講座 地域の文化を学ぶ講座 地域の自然を学ぶ講座 料理教室	年間 年間 年間 年間	歴史講座 健康講座 各種講座 料理教室	年間 年間 年間 年間
青少年家庭教育	親子で遊ぼうグーチョキパ ひびき合い教室(4教室) 丸子地域青少年ネットワーク会議 夏休みひびきあい教室 こども未来音楽祭 こどもまんなか社会学習事業	5～3月 5～2月 5～2月 8月 11月 年間	育児教室　かるがもひろば 国内ホームスティ事業 夏休みわくわく体験学校 異世代交流チャレンジ事業	5～3月 12月 8月 9月	レッツちゃれん児 夏休み自然ふれあい体験 青少年育成関連事業	年4回 8月 年間
高齢者教育	まるこ春秋学園(3コース)	5～12月	やさしいスマホ教室	随時	楽しい会	8・9・2月
人権同和教育	新任教職員等人権教育研修会 ふれあい・人権の集い みんなの人権セミナー 地域における人権学習事業 丸子地域解放子ども会活動 部落解放女性学級	6月 12月 年2回 年間 年間 年間	自治会人権教育学習懇談会	7～11月	教職員人権同和教育研修 武石地域人権講演会 ふれあい人権の集い	5月 6月 12月
社会体育	丸子地域スポーツ大会	10月	分館対抗球技大会 真田地域一周駅伝大会 分館対抗卓球大会	6月 10月 3月	分館親善マレットゴルフ大会 晩秋の武石スポーツ祭 分館親善モルック大会	6月 11月 3月
文化活動	丸子四季の里総合文化祭 (お茶会･芸能祭)	11月	真田総合文化祭 （作品展・舞台発表祭）	10月	ともしびの里文化祭 ともしびの里芸能祭	11月 2月
分館育成	分館活動の推進 分館長会 分館に対する相談窓口の開設	年間 年1回 年間	分館活動の推進 分館長会 分館に対する相談窓口の開設	年間 年2回 年間	分館活動の推進 分館長会 分館に対する相談窓口の開設	年間 年3回 年間
その他	団体グループ育成 施設・備品貸出 学校支援活動 ワールドキャンパス国際交流事業 姉妹都市ブルームフィールド市郡交流事業	年間 年間 年間 7月 7～8月	公民館だより発刊 団体グループ育成 施設・備品貸出 学校支援活動	年間 年間 年間 年間	団体グループ育成 図書貸出 施設・備品貸出	年間 年間 年間

4　公民館対象地区分館

令和８年５月１日現在

公民館名	地区名	分　館　名
中央公民館 51分館 16，574世帯	東　部	踏入、泉町、上常田、中常田、下常田、北常田、材木町、常入、染屋
	南　部	泉平、南天神町、北天神町、松尾町、鷹匠町、本町、末広町、大手町
	中　央	横町、海野町、原町、袋町、馬場町、田町、丸堀町、木町、北大手町
	北　部	上川原柳町、下川原柳町、愛宕町、上鍛冶町、鍛冶町、上房山、下房山、柳町、新田、山口、上紺屋町、蛇沢
	神　川	大屋、岩下、下青木、みすず台南、みすず台北、上青木、梅が丘、久保林、黒坪、上沢、国分、下堀、上堀
西部公民館 15分館 6，124世帯	西　部	下紺屋町、鎌原、西脇、新町、諏訪部、生塚、常磐町、緑が丘、新屋、緑が丘北、緑が丘西、城北
	塩　尻	秋和、上塩尻、下塩尻
城南公民館 19分館 13，691世帯	城　下	小牧、諏訪形、須川、中村、朝日ヶ丘、三好町、御所、中之条、千曲町
	川辺・泉田	上田原、川辺町、倉升、神畑、下之条、築地、東築地、半過、福田、吉田
上野が丘公民館 29分館 8，298世帯	神　科	畑山、伊勢山、富士見台、住吉が丘、神科新屋、野竹、西野竹、笹井、岩門、金井、大久保、長島、金剛寺
	豊　殿	森、大日木、長入、宮之上、小井田、中吉田、町吉田、ひかり、桜台、下吉田、林之郷、下郷、岩清水、矢沢、赤坂、漆戸
塩田公民館 29分館 8，532世帯	東塩田	下組、富士山中組、奈良尾、平井寺、鈴子、石神、柳沢、下之郷、桜
	中塩田	下本郷、東五加、五加、上本郷、中野、上小島、下小島、保野、学海南、舞田、八木沢、八舞、学海北
	西塩田	塩田新町、東前山、西前山、手塚、山田、野倉
	別所温泉	別所温泉
川西公民館 9分館 2，738世帯	川　西	仁古田、岡、浦野、越戸、藤之木、小泉、上室賀、下室賀、ひばりケ丘
丸子公民館 40分館 9，232世帯	丸　子	西内、平井、荻窪、和子、下和子、辰ノ口、腰越、三反田、海戸、沢田、八日町、中丸子、下丸子、上組、中山、三角、南原、北原、飯沼、茂沢、尾野山、上長瀬、練合、町組、小路下、金井、上平南、上平県住、権現、西組、東組、東街道、北街道、宮原、石井、坂井、狐塚、郷仕川原、南方、藤原田
真田中央公民館 36分館 4，084世帯	長	菅平、大日向、角間、横沢、真田、十林寺、石舟、戸沢、つくし、横尾、四日市
	傍　陽	入軽井沢、岡保、中組、大庭、曲尾、萩、田中、下横道、中横道、上横道、穴沢、三島平
	本　原	上原、下郷沢、小玉上郷沢、赤井、下塚、竹室、中原、町原、表木、荒井、大畑、下原、出早
武石公民館 18分館 1，346世帯	武　石	鳥屋、沖、薮合、中島、七ヶ、片羽、堀之内、市之瀬、下本入、権現、下小寺尾、上小寺尾、唐沢小原、築地原、大布施巣栗、西武、小沢根、余里
合計　246分館　70，619世帯		

上田図書館

1　所在地等

⑴　所在地　〒３８６-００１４　材木町一丁目２番４７号
⑵　電話　２２-０８８０　ＦＡＸ　２８-１１１８
　　ホームページ
　　https://www.city.ueda.nagano.jp/site/ueda-tosho/
⑶　開館年月日　昭和４５年１１月３日
⑷　建物面積　２，０２０．９５㎡
⑸　開館時間　火～金曜日：午前９時～午後６時３０分
　　土・日曜日：午前９時～午後５時
⑹　休館日　月曜日、祝日、館内整理日、年末・年始、特別整理期間

2　創造館分室

⑴　所在地　〒３８６-１１０２　上田原１６４０番地（上田創造館３階）
⑵　電話　２７-１７５８
⑶　開館時間　火～金曜日：午前９時～午後６時
　　土・日曜日：午前９時～午後５時
⑷　休館日　月曜日、祝日、館内整理日、年末・年始、特別整理期間

3　令和８年度事業計画　（令和８年４月１日現在）

1 利用しやすい図書館	○図書館の利用方法の周知と情報発信・図書館サービス拠点の充実 ・上田地域図書館情報ネットワーク（エコール）の利用促進 ・創造館分室・移動図書館車の運営 ・塩田公民館との連携 ・時事や季節ごとのテーマコーナーの設置 ・出前講座の実施 ○資料の収集・保存の適切な実施 ・資料収集方針に基づく資料収集（参考図書・地域資料等） ○資料の整理・提供の適切な実施 ・図書整理日、蔵書点検の実施、本のリサイクルコーナーの設置 ・貸出、予約、閲覧等、資料提供の充実による利用の増進 ○利用しやすく、居心地のよい施設に向けた整備 ・学習席の適切な運用 ○図書館サービスを行うための職員の育成 ・職員研修の実施 ○開かれた図書館運営 ・基本構想の市民周知及び市民の声の把握
2 役に立つ図書館	○レファレンスサービスの利用促進・課題解決のための情報提供 ・レファレンスサービスの充実 ・職員研修の実施 ○データベース等のデジタル資料の充実と活用 ・電子図書館（デジとしょ信州）の利用促進 ・デジタルアーカイブの周知と利用促進 ○子どもの読書活動の支援 ・第三次上田市子ども読書活動推進計画の策定 ・中高生向けサービスの充実（ティーンズコーナーの設置） ・小中学生・高校生職場体験、インターンシップ受入 ・小中学校図書館との連携 ・おはなし会・子どもの読書講座の実施

	・ブックスタート・セカンドブック事業の実施 ○バリアフリーサービスの充実 ・音訳図書の作成・貸出、音訳ボランティア養成講座の実施 ・大活字本・点字訳本・LL ブック等の資料収集と提供 ・デジとしょ信州・アクセシブルライブラリーの利用周知
3 つながりが見つかる図書館	○市民協働による図書館づくり ・利用者団体の支援 ・上田社会教育大学連携講座の実施 ○地域の小中学校の学校図書館の支援 ・小中学校図書館への資料、情報の提供 ・学校図書館司書の活動支援 ○幼稚園・保育所・放課後児童施設・絵本サークル・読み聞かせ団体等との連携 ・大型絵本・紙芝居等の収集と貸出 ・読み聞かせ団体等との連携 ○地域の高等学校、大学、専門学校等と連携 ・インターンシップ等の受け入れ ○行政、各種機関、団体等の資料・情報の収集、提供及び連携 ・資料・情報の収集、提供及び連携 ○郷土資料の収集・整理・保存・活用 ・郷土資料の収集と保管 ○図書館が所蔵する貴重資料の保存と活用 ・貴重資料のデジタルアーカイブ化

４　令和７年度利用統計

⑴　蔵書冊数

年度	上田図書館本館	移動図書館	創造館分室	視覚障がい者用録音図書	合　　計
5	317, 304冊	18, 817冊	31, 602冊	1, 662タイトル	369, 385冊
6	322, 096冊	17, 480冊	31, 693冊	1, 678タイトル	372, 947冊
7	326, 919冊	16, 956冊	31, 873冊	1, 699タイトル	377, 447冊

⑵　年間貸出冊（巻）数

年度	上田図書館本館（個　　人）	移動図書館（個　　人）	創造館分室（個　　人）	団体貸出	視覚障がい者用録音図書	合　　計
5	221, 237冊	9, 781冊	77, 365冊	7, 826冊	1, 705巻	317, 914冊
6	218, 038冊	9, 517冊	76, 529冊	7, 686冊	1, 465巻	313, 235冊
7	221, 538冊	9, 317冊	77, 688冊	7, 457冊	1, 385巻	317, 385冊

⑶　年間図書購入冊数、年間図書購入費、調査相談件数

年度	年間図書購入冊数	年間図書購入費	調査相談件数
5	7, 758冊	15, 112千円	1, 831件
6	6, 569冊	15, 100千円	1, 922件
7	6, 400冊	14, 300千円	2, 159件

⑷　利用登録者数

年度	旧市内在住者	旧町村在住者	合　　計
5	18, 202人	6, 491人	24, 693人
6	18, 299人	6, 413人	24, 712人
7	18, 274人	6, 283人	24, 557人

※　平成27年6月から利用者カードの本人確認により有効期限を設定しています。(期間:3年間)

⑸　電子図書館（デジとしょ信州）利用状況

年度	利用登録者数（累計）	貸出件数（年度）
5	1，286人	6，246件
6	1，414人	4，552件
7	2，448人	4，684件

※　令和4年8月5日事業開始
※　登録抹消者等の状況を遡及して再集計しているため、年度別の数値に差異が生じる場合がある。

⑹雑誌・新聞受入状況

年度	雑誌	新聞
5	73種類	20種類
6	74種類	20種類
7	73種類	20種類

⑺　指標（市内全体）

年度	奉仕対象人口（上田市人口）	登録率	登録者１人当たり貸出冊数	市民１人当たり蔵書数	市民１人当たり図書購入費	市民１人当たり図書貸出冊数
5	152,174人	16.2%	24．6冊	4．3冊	195円	4．0冊
6	151，221人	16.3%	24．4冊	4．4冊	196円	4．0冊
7	150，242人	16.3%	24．3冊	4．5冊	188円	4．0冊

奉仕対象人口…各年度３月１日現在の人口

登録率＝ $\frac{\text{登録者数}}{\text{奉仕対象人口}}$　　登録者１人当たり貸出冊数＝ $\frac{\text{個人貸出冊数（テープ図書除く）※市内４館計}}{\text{登録者数　※市内４館合計}}$

市民１人当たり図書貸出冊数＝ $\frac{\text{個人貸出冊数（テープ図書除く）　※市内４館計}}{\text{奉仕対象人口}}$

上田情報ライブラリー

1　所在地等

⑴　所在地　〒３８６-００２５　天神一丁目８番１号　上田駅前ビル・パレオ４階
⑵　電話　２９-０２１０　ＦＡＸ　２９-０２１１
　　ホームページ　https://www.city.ueda.nagano.jp/site/jlib-tosho/
⑶　開館年月日　平成１６年４月２３日
⑷　施設面積　１，１７３．０６㎡（７階倉庫部分含む）
⑸　開館時間　月曜日、水曜日～金曜日：午前１０時～午後８時３０分
　　土・日曜日、祝日：午前１０時～午後６時
⑹　休館日　火曜日、祝日の翌日、館内整理日、年末・年始、特別整理期間

2　令和８年度事業計画　（令和８年４月１日現在）

「暮らしとビジネス支援」及び「千曲川地域文化の創造と発信」を基本コンセプトとし、市民団体等と協働して各種事業を展開する。

事　業　名	事　　業　　内　　容
1 利用しやすい図書館	○図書館の利用方法の周知と情報発信・図書館サービス拠点の充実 ・上田地域図書館情報ネットワーク（エコール）の利用促進 ・暮らしとビジネス、時事や季節ごとのテーマコーナーの設置 ○資料の収集・保存の適切な実施 ・資料収集方針に基づく資料収集（暮らしとビジネス支援関係資料及び千曲川流域の歴史・文学・自然等資料)、リサイクルコーナーの設置 ○資料の整理・提供の適切な実施 ・図書整理日、蔵書点検の実施、リサイクルコーナーの設置 ・貸出、予約、閲覧等、資料提供の充実による利用の増進 ○利用しやすく、居心地のよい施設に向けた整備 ・学習席の適切な運用 ○図書館サービスを行うための職員の育成 ・利用者サービス向上のため、各種研修会への参加及び情報の共有 ○開かれた図書館運営 ・基本構想の市民周知及び市民の声の把握
2　役に立つ図書館	○レファレンスサービスの利用促進・課題解決のための情報提供 ・レファレンスサービスの充実 ・職員研修の実施 ○課題解決のための情報提供 ・仕事・資格の応援コーナー、企業紹介コーナーの設置 ○データベース等のデジタル資料の充実と活用 ・データベース等の電子媒体による情報提供 ・電子図書館（デジとしょ信州）の利用促進 ○子どもの読書活動の支援 ・第三次上田市子ども読書活動推進計画の策定 ・中高生向けサービスの充実 ・小中学生・高校生職場体験、インターンシップ受入
3 つながりが見つかる図書館	○市民協働による図書館づくり ・NPO 法人上田図書館倶楽部との協働によるイベント等の実施 （情報活用サポート、地域情報の調べ方、コンサート、朗読会、おはなし会等） ○図書館を活用した多様な学習機会や文化イベントの提供 ・フラワーアレンジメント講座（2 回） ・読書会、社会科新聞コンクール受賞作品展示、教科書展示等 ○幼稚園・保育所 ・放課後児童施設・絵本サークル・読み聞かせ団体等との連携 ・朗読会、おはなし会の開催 ○郷土資料の収集・整理・保存・活用 ・郷土資料の活用促進事業の実施 ○図書館が所蔵する貴重資料の保存と活用 ・上田情報ライブラリー所蔵貴重資料の紹介展示
4 その他	・上田図書館整備計画の策定の推進 ・証明書発行、パレオビル会議室の受付

３　令和７年度利用統計

⑴　蔵書冊数

年度	蔵書冊数
5	65, 121冊
6	65, 835冊
7	67, 544冊

⑵　年間貸出冊（巻）数

年度	個人貸出	団体貸出	合　計
5	60, 578冊	－	60, 578冊
6	57, 269冊	－	57, 269冊
7	54, 209冊	－	54, 209冊

⑶　年間図書購入冊数、年間図書購入費、調査相談件数

年度	年間図書購入冊数	年間図書購入費	調査相談件数
5	2, 037冊	3, 977千円	269件
6	2, 035冊	4, 204千円	267件
7	1, 896冊	4, 020千円	181件

⑷　雑誌、新聞、視聴覚資料受入状況

年度	雑誌	新聞	視聴覚資料
5	141種類	34種類	1, 373タイトル
6	139種類	32種類	1, 381タイトル
7	130種類	30種類	1, 388タイトル

⑸　入館者数　９４，７４４人

⑹　講座・催事等開催数

年度	実施数
5	171回
6	165回
7	164回

⑺　パソコン等利用件数

年度	パソコン	データベース	合計
5	2, 627件	94件	2, 721件
6	2, 890件	103件	2, 993件
7	2, 498件	135件	2, 633件

⑻　諸証明交付通数

年度	住民票	印鑑証明	所得証明	納税証明	軽自完納証明	合計
5	1, 212通	774通	574通	42通	59通	2, 661通
6	989通	586通	632通	53通	55通	2, 315通
7	748通	405通	551通	56通	40通	1, 800通

丸子図書館

1　所在地等

⑴　所在地　〒３８６-０４０５　中丸子１７７１番地１１

⑵　電　話　４２-２４１４　FAX　４２-４４９８

ホームページ　http://www.city.ueda.nagano.jp/site/maruko-tosho/

⑶　開館年月日　平成２４年５月１日

⑷　建物面積　１，６３９．８０㎡

⑸　開館時間　火～金曜日：午前９時～午後６時３０分

土・日・祝日：午前９時～午後５時

⑹　休館日　月曜日、金曜の祝日（祝日が月～木曜日の場合は前週又は後週の金曜日）、館内整理日、年末・年始、特別整理期間

2　令和８年度事業計画　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	事　業　内　容
1 利用しやすい図書館	○図書館の利用方法の周知と情報発信・図書館サービス拠点の充実 ・上田地域図書館情報ネットワーク（エコール）の利用促進 ・移動図書館車の運営 ・時事や季節ごとのテーマコーナーの設置 ○資料の収集・保存の適切な実施 ・資料収集方針に基づく資料収集（郷土資料、闘病記等） ○資料の整理・提供の適切な実施 ・図書整理日、蔵書点検の実施、リサイクルブックフェアの実施 ○利用しやすく、居心地のよい施設に向けた整備 ・学習席の適切な運用 ○図書館サービスを行うための職員の育成 ・各種研修会への参加 ○開かれた図書館運営 ・基本構想の市民周知及び市民の声の把握の実施
2 役に立つ図書館	○レファレンスサービスの利用促進・課題解決のための情報提供 ・レファレンスサービスの充実 ・職員研修の実施 ○データベース等のデジタル資料の充実と活用 ・データベース等の電子媒体による情報提供 ・データベース、デジとしょ信州（電子図書館）等の利用促進 ○子どもの読書活動の支援 ・第三次上田市子ども読書活動推進計画の策定 ・中高生向けサービスの充実 ・小中学生・高校生職場体験、インターンシップ受入 ・小中学校図書館との連携 ・ブックスタート・セカンドブック事業 ○バリアフリーサービスの充実 ・大活字本の資料収集と提供

3　つながりが見つかる 　図書館	○市民協働による図書館づくり 　・利用者団体の支援、おはなし会・図書館まつり等の開催 ○図書館を活用した多様な学習機会や文化イベントの提供 　・読書講座、近世文書講習会の開催 ○地域の小中学校の学校図書館の支援 　・情報交換会の開催 ○幼稚園・保育所・放課後児童施設・絵本サークル・読み聞かせ団体等との連携 　・移動図書館の巡回 ○地域の高等学校、大学、専門学校等と連携 　・イベント時における丸子修学館高等学校、上田短期大学等からの学生の参加
4　その他	・上田図書館整備計画の策定の推進

3　令和７年度利用統計

⑴　蔵書冊数

年度	丸子図書館	移動図書館	合　　計
5	128, 893冊	15, 390冊	144, 283冊
6	130, 635冊	15, 616冊	146, 251冊
7	132, 718冊	15, 319冊	148, 037冊

⑵　年間貸出冊数

年度	個人貸出	団体貸出	合　　計
5	171, 549冊	6, 734冊	178, 283冊
6	173, 267冊	6, 523冊	179, 790冊
7	168, 182冊	6, 035冊	174, 217冊

⑶　年間図書購入冊数、年間図書購入費、調査相談件数

年度	年間図書購入冊数	年間図書購入費	調査相談件数
5	2, 950冊	5, 400千円	1, 876件
6	2, 595冊	5, 400千円	1, 878件
7	2, 595冊	5, 130千円	2, 290件

⑷　利用登録者数

年度	丸子地域在住者	武石地域在住者	合　　計
5	4, 178人	507人	4, 685人
6	4, 092人	501人	4, 593人
7	3, 969人	471人	4, 440人

⑸　雑誌・新聞受入状況

年度	雑誌	新聞
5	42種類	10種類
6	43種類	10種類
7	43種類	10種類

⑹ 指標

年度	奉仕対象人口（丸子・武石地域人口）	登録率	登録者１人当たり貸出冊数	市民１人当たり蔵書数	市民１人当たり図書購入費	市民１人当たり図書貸出冊数
5	23,692人	19.8%	36.6冊	6.1冊	228円	7.2冊
6	23,277人	19.7%	37.7冊	6.3冊	232円	7.4冊
7	22,975人	19.3%	37.9冊	6.4冊	223円	7.3冊

奉仕対象人口･･･各年度３月１日現在の人口（丸子・武石地域）

登録率＝ $\frac{\text{登録者数}}{\text{奉仕対象人口}}$　　登録者１人当たり貸出冊数＝ $\frac{\text{個人貸出冊数}}{\text{登録者数}}$

市民１人当たり図書貸出冊数＝ $\frac{\text{個人貸出冊数}}{\text{奉仕対象人口}}$

真田図書館

１　所在地等

⑴　所在地　〒３８６-２２０１　真田町長７１７８番地１

⑵　電　話　７２－８０８０　FAX　７２－８０８２

ホームページ　http://www.city.ueda.nagano.jp/site/sanada-tosho/

⑶　開館年月日　平成２２年１１月１９日

⑷　建物面積　１，３６７㎡（真田地域自治センター共用部分含む）

⑸　開館時間　火～金曜日：午前９時～午後６時３０分

土・日曜日：午前９時～午後５時

⑹　休館日　月曜日、祝日、館内整理日、年末・年始、特別整理期間

２　令和８年度事業計画　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	事　　業　　内　　容
1 利用しやすい図書館	○図書館の利用方法の周知と情報発信・図書館サービス拠点の充実 ・上田地域図書館情報ネットワーク（エコール）の利用促進 ・時事や季節ごとのテーマコーナーの設置 ○資料の収集・保存の適切な実施 ・資料収集方針に基づく資料収集（真田氏、ラクビー・スキー関連等） ○資料の整理・提供の適切な実施 ・貸出、予約、閲覧等、資料提供の充実による利用の増進 ・図書整理日、蔵書点検の実施、本のリサイクル市の実施 ○利用しやすく、居心地のよい施設に向けた整備 ・学習席の適切な運用 ○図書館サービスを行うための職員の育成 ・利用者サービス向上のため、各種研修会への参加及び情報の共有 ○開かれた図書館運営 ・基本構想の市民周知及び市民の声の把握
2 役に立つ図書館	○レファレンスサービスの利用促進・課題解決のための情報提供 ・レファレンスサービスの充実 ・職員研修の実施 ○データベース等のデジタル資料の充実と活用 ・データベース等の電子媒体による情報提供 ・電子図書館（デジとしょ信州）の利用促進 ○子どもの読書活動の支援 ・第三次上田市子ども読書活動推進計画の策定 ・中高生向けサービスの充実（ティーンズコーナーの設置） ・小中学生・高校生職場体験、インターンシップ受入 ・セカンドブック事業の実施

3 つながりが見つかる図書館	○市民協働による図書館づくり ・真田図書館サポーターの会との市民協働による図書館づくり （各種図書館イベントの企画・運営） ○図書館を活用した多様な学習機会や文化イベントの提供 ・地域に根差した図書館づくりための真田図書館まつりの開催 ・地域の自然、文化、歴史を紹介する真田塾の開催 ・図書館での文化・芸術に触れる機会としての真田図書館コンサートの実施 ○幼稚園・保育所・放課後児童施設・絵本サークル・読み聞かせ団体等との連携 ・おはなし広場の開催 ○地域の高等学校、大学、専門学校等と連携 ・長野大学、上田短期大学　学生の図書館イベントへの参加 ○郷土資料の収集・整理・保存・活用 ・特殊コレクション（真田氏関係資料、女性史資料（小林登美枝文庫）、渋沢孝輔文庫、桜井義男文庫、宮下忠二文庫）
４その他	・上田図書館整備計画の策定の推進

３　令和７年度利用統計

⑴　蔵書冊数

年度	一般図書ほか	児童書・紙芝居	合　　計
5	58, 973冊	21, 640冊	80, 613冊
6	60, 616冊	22, 560冊	83, 176冊
7	62, 368冊	23, 351冊	85, 719冊

⑵　年間貸出冊数

年度	個人貸出	団体貸出	合　　計
5	66, 066冊	583冊	66, 649冊
6	67, 311冊	743冊	68, 054冊
7	65, 320冊	446冊	65, 766冊

⑶　年間図書購入冊数、年間図書購入費、調査相談件数

年度	年間図書購入冊数	年間図書購入費	調査相談件数
5	2, 969冊	5, 000千円	141件
6	2, 857冊	5, 000千円	408件
7	2, 874冊	4, 750千円	778件

⑷　利用登録者数

年度	真田地域在住者
5	1，806人
6	1，820人
7	1，843人

※ 平成27年6月～ 利用者カードの本人確認により有効期限を設定しています。(期間:3年間)

⑸　指標

年度	奉仕対象人口 (真田地域人口)	登録率	登録者１人当たり 貸　出　冊　数	市民１人当たり 蔵　書　数	市民１人当たり 図 書 購 入 費	市民１人当たり 図書貸出冊数
5	9，556人	18．9%	36．6冊	8．4冊	523円	6．9冊
6	9，413人	19．3%	36．9冊	8．8冊	531円	7．1冊
7	9，292人	19．8%	35．4冊	9．2冊	511円	7．0冊

奉仕対象人口･･･各年度３月１日現在の人口

登録率＝ $\frac{\text{登録者数}}{\text{奉仕対象人口}}$　　登録者１人当たり貸出冊数＝ $\frac{\text{個人貸出冊数}}{\text{登録者数}}$

市民１人当たり図書貸出冊数＝ $\frac{\text{個人貸出冊数}}{\text{奉仕対象人口}}$

博　物　館

1　基本方針

上田地域の歴史、民俗、産業、自然科学等に関する資料の収集、保管、展示及び調査研究を行います。中でも上田藩に関する資料を中心とした近世以後の歴史資料に重点を置きます。

また、企画展、講座、史跡見学会等の事業を通じて、地域の文化振興に努めます。

2　所在地等

⑴　所在地　〒３８６－００２６　二の丸３番３号
⑵　電話　２２－１２７４
⑶　開館年月日　昭和４０年６月１９日
　　昭和４年７月１３日に「徴古館」として開設
⑷　延面積　１，５５１㎡　　鉄筋コンクリート造
⑸　令和７年度観覧者数　１３５，１１７人
　　博物館　　６３，３３７人
　　上田城櫓　　７１，７８０人
⑹　収蔵資料　１４６，７６５点（令和７年度末）
⑺　休館日　水曜日、祝日の翌日、年末・年始



http://museum.umic.jp/hakubutsukan/

3　令和８年度事業計画　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	実施時期	事　業　内　容
資料の収集及び調査研究	年　間	上田地域の歴史、民俗、産業、自然科学等に関する資料の収集及び調査研究
資料の整理及び保管	年　間	収蔵資料の整理、病虫害予防等の保存管理
資料のデータベース化	年　間	収蔵資料及び図書のデータベース化
調査、研究、相談への対応	年　間	市民の学習、研究に関する質問、相談、調査に対する回答及び資料提供
常　設　展	年　間	真田氏、上田藩、城下町、近代資料等の展示
特別展（企画展）	９～１１月 ２～３月	「大阪城・上田城友好城郭提携 20 周年・上田城復興 400 年記念　上田城と城主たちー上田城って誰の城？ー」 「絵図と古文書からみる村の生活」
出　版	年　間	新規出版及び改訂
博物館講座	６～１１月	「上田の歴史・民俗・自然」について
古文書講座	６～１１月	初級「江戸の昔を読み解こう-古文書初級講座-」

４　観覧料

区　分		一　般		高校以上の学生		小・中学生	
		個　人	団　体 （２０人以上）	個　人	団　体 （２０人以上）	個　人	団　体 （２０人以上）
観覧料	博物館	３００円	２５０円	２００円	１５０円	１００円	５０円
	上田城櫓・櫓門						
	共通券	５００円	４００円	３００円	２５０円	１５０円	８０円

５　主な収蔵資料（寄託資料も含む）

区　分	収　蔵　資　料　名
国指定文化財	織田信長所用韋(かわ)胴服、染屋焼コレクション、反射望遠鏡（国友一貫斎作）
県指定文化財	太刀（山浦真雄作）、正保の信濃国絵図（信濃最古の詳細大絵図）
市指定文化財	原町滝沢家日記（問屋日記、江戸前期から明治初年まで）、元禄の信濃国絵図、天保の信濃国絵図、仙石秀久着用具足、松平信一着用具足、松平忠周着用具足、上塩尻出土板碑、藤本蚕種株式会社保存繭標本、沓掛家蹴鞠資料、濱村家能面狂言面、上田縞能衣裳、開善寺宛武田信玄判物、開善寺宛武田信玄寄進状、銅製雲板、銅製陣鐘、赤松小三郎佩刀、紺屋町八幡社絵馬、上田藩村明細帳（宝永３年（1706）の藩領内の村勢要覧）、加舎白雄自筆画賛屏風、加舎白雄自筆酒中仙屏風、祇園祭礼屏風
そ　の　他	甲冑武具資料…上田藩主松平家・同家臣家伝来の甲冑、刀剣、馬具ほか 古文書資料…松平家文書のほか、町方・村方の古文書・絵図ほか 美術工芸資料…書画掛軸、屏風、什物ほか 古書籍資料…教科書、養蚕技術書ほか 民俗資料…灯火用具、食生活用具、養蚕用具、雛人形、上田縞関係資料ほか 戦時関係資料…軍装品、写真帳ほか 写真資料…写真機、古写真、絵葉書ほか 自然資料…岩石鉱物標本、化石標本（ナウマンゾウの臼歯等）、蝶標本ほか

６　映像資料（関連映像デジタルアーカイブ）

⑴　「山極勝三郎博士の生涯と実績」　http://museum.umic.jp/yamagiwa/

⑵　「正保・元禄信濃国絵図」　http://museum.umic.jp/kochizu/

⑶　「上田城　城下町絵図アーカイブ」　http://museum.umic.jp/uedajo/

信濃国分寺資料館

１　基本方針

上田・小県地方の原始・古代及び全国の国分寺跡関係資料の収集、保管、調査研究を行います。また、これらの資料を活用して市民生活に結びついた資料館活動を行います。

普及事業として、市民講座、特別展、親子歴史体験教室、資料館講座、万葉集講座、奈良時代を学ぶ会、史跡見学会などを実施し、地域文化の振興を図ります。

２　所在地等

⑴　所在地　〒３８６-００１６　　国分１１２５番地
⑵　電話　２７-８７０６
⑶　開館年月日　昭和５５年７月１日
⑷　延面積　２，００４㎡　　鉄筋コンクリート造
⑸　令和７年度観覧者数　３，４８７人
⑹　収蔵資料　１４３，５５９点（令和７年度末）
⑺　休館日　水曜日、祝日の翌日、年末・年始



http://museum.umic.jp/kokubunji/

３　令和８年度事業計画　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	実施時期	事　業　内　容
資料の収集・調査研究	年　間	上田・小県地方に散在する考古・古代史の資料を調査研究し収集する。
国分寺資料の収集	年　間	全国の国分寺跡に関する資料を収集し、研究する。
資料の整理・保管	年　間	収蔵資料を整理・分類して、収蔵台帳へ登録する。
資料のデータベース化	年　間	収蔵資料及び収蔵図書のデータベース化を図る。
調査・研究・相談への対応	年　間	市民の生涯学習、研究に関する質問、相談、調査に対する回答及び資料提供
常　設　展	年　間	信濃国分寺跡出土資料及び上田地域の原始、古代の資料の展示
特別展（企画展）	１　月	「新春蘇民将来符展」
出　版	年　間	新規出版及び改訂
万葉植物園ボランティア	５月～１０月	万葉植物園育成ボランティアによる植物園管理活動
親子歴史体験教室	７　月	親子を対象に考古学体験を開催
奈良時代を学ぶ会	９月　～１１月	「続日本紀」を中心に古代史を学ぶ講座を開催
史跡公園の管理	年　間	歴史学習の場としての信濃国分寺跡史跡公園の維持管理。

４　入館料

区　分	一　　般		学　　生　　等			
	個　人	団体 （20人以上）	高校生以上		小・中学校	
			個　人	団体 （20人以上）	個　人	団体 （20人以上）
観覧料	250円	200円	180円	100円	60円	40円

５　主な収蔵資料

区　　分	主　　な　　収　　蔵　　資　　料
県指定文化財	唐沢Ｂ遺跡出土品　※１
市指定文化財	巴形銅器・鉄鉾・灰釉四耳壷・銅製十一面観音像御正体・八日堂縁日図・牛頭天王之祭文※２
考古資料	国指定史跡信濃国分寺跡出土品（鐙瓦・宇瓦・鬼瓦・丸瓦・平瓦・文字瓦・円面硯・鉄釘・和同開珎など）、 塚穴原第１号古墳出土品（直刀・刀装具・轡金具・鞍金具・須恵器・土師器など）、他田塚古墳出土品（直刀・轡金具・勾玉・管玉・切子玉・小玉など）、岳の鼻遺跡出土品（弥生土器・石包丁・紡錘車・ガラス小玉など）、上田原遺跡出土品（弥生土器・銅鏃・鉄釧など）、下前沖遺跡出土品（縄文土器・石鏃・耳飾り・ミニチュア土器・土偶・石皿など）、八千原遺跡出土品（縄文土器・土偶・石斧など）、男女倉遺跡群出土品（黒耀石製石器）、菅平遺跡群出土石器、鷹山遺跡群出土黒耀石製石器、国分遺跡群出土錫杖鋳型、法楽寺遺跡出土品（銅印・金銅三尊仏・磬など）、塩田城跡出土品（陶磁器・将棋駒・銅銭・人形など）ほか　※２
歴史資料	金光明最勝王経・妙法蓮華経（寄託資料）、中国古代瓦レプリカ（西周・戦国・秦・漢・隋・唐）など　※２
民俗資料	信濃国分寺蘇民将来符資料、全国の蘇民将来符関係資料など　※２

※１　上田市文化財マップ　https://museum.umic.jp/bunkazai/

※２　信濃国分寺資料館ＨＰ　http://museum.umic.jp/kokubunji/

６　映像資料（関連映像デジタルアーカイブ）

⑴「蘇民将来符　その信仰と伝承」　http://museum.umic.jp/somin/

丸子郷土博物館

1　基本方針

丸子地域の歴史や文化を理解するために必要な資料の収集、保管、展示及び調査研究を行います。また収蔵資料を活用した学習機会の提供などを通じて、地域の文化振興に努めます。

2　所在地等

⑴　所在地　〒３８６－０４１３　東内２５６４番地１
⑵　電話　４２－２１５８
⑶　開館年月日　昭和５８年１１月６日
⑷　延面積　９２１．０２㎡　鉄筋コンクリート造
⑸　令和７年度観覧者数　４５１人
⑹　収蔵資料　１２２，４２６点（令和７年度末）
⑺　休館日　月曜日、休日の翌日、年末・年始



http://museum.umic.jp/maruko/

3　令和８年度事業計画　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	実施時期	事　業　内　容
資料の収集及び調査研究	年　間	丸子地域の考古資料、製糸関係資料、依田社関係資料等の収集及び調査研究
資料の整理及び保管	年　間	収蔵資料の整理及び保存管理
資料のデータベース化	年　間	収蔵資料及び図書のデータベース化
調査、研究、相談への対応	年　間	市民の学習、研究に関する質問、相談、調査に対する回答及び資料提供
常　設　展	年　間	考古資料、製糸関係資料等の展示

4　観覧料

区　分	一　般		中学生以下
	個　人	団　体 （20人以上）	
観覧料	100円	80円	無　料

５　主な収蔵資料（寄託資料も含む）

区　　分	収　蔵　資　料　名
県指定文化財	鳥羽山洞窟遺跡出土品
考　古　資　料	平井寺坂遺跡出土縄文土器 下久根遺跡出土縄文土器・土偶・石鏃・石斧 深町遺跡出土縄文土器・石鏃・石斧・石錐・土偶・三角とう土製品・耳飾・土製勾玉・臼玉・玉斧・装身具・石剣・石刀・石棒・石冠・骨角製品 社軍神遺跡出土管玉未成品・勾玉未成品・鏃形石製品未成品・臼玉・石釧未成品・紡錘車形石製品未成品・砥石・土師器・須恵器 原山窯跡出土須恵器 諏訪田遺跡出土須恵器円面硯・土師器・灰釉陶器・瓦 市の町遺跡出土有段口縁壷 勝負沢遺跡出土須恵器異形硯 大狭間遺跡出土瓦 井戸下遺跡出土土師器・須恵器 宮原遺跡出土土師器・須恵器 寺開土遺跡出土古瀬戸水注・古瀬戸四耳壷・納入銭貨 池の平古墳出土須恵器・土師器・直刀・勾玉・管玉ほか
歴　史　資　料	長泉寺板碑（市指定文化財）、金砂子切万葉集、製糸関係文書、近世文書、渕ノ上遺跡出土土偶形容器レプリカ、依田社関係資料、旭社関係資料、製糸ＰＲフィルム・写真ほか
民　俗　資　料	農具・養蚕関係資料ほか
美術工芸資料	小森邦夫ブロンズ像ほか

６　映像資料（関連映像デジタルアーカイブ）

⑴　「依田社　日本最古のＰＲフィルム」

http://museum.umic.jp/maruko/kindai-seishi/video_yodasha1.html

武石ともしび博物館

1　基本方針

灯火専門の博物館として、関係資料の収集と調査研究を進めます。また、地域に根ざした博物館として、文化活動の拠点となることを目指し活動を進めます。そのために、体験学習を重視し、多彩な学習を用意するとともに、豊かな環境づくりを行います。学校及び諸文化施設、団体等と交流を深め、連携を図りながら幅広い活動を展開します。

2　所在地等

⑴　所在地　〒386-0503
　　下武石 1902 番地 4
⑵　電話　　0268-85-2474
⑶　開館年月日　平成元年 11 月 3 日（新設）
⑷　延床面積　782.34 ㎡　鉄筋コンクリート造
⑸　令和 7 年度観覧者数　4,586 人
⑹　収蔵資料　2,155 点（令和 7 年度末）
⑺　休館日　月曜日、祝日の翌日、冬期(12 月 29 日～3 月 31 日)



http://museum.umic.jp/sakuhin/eizou13.html

3　令和 8 年度事業計画　（令和 8 年 4 月 1 日現在）

事　業　名	実施時期	事　業　内　容
資料の収集・調査研究	年　間	灯火及び灯火器の調査研究を進め、展示に活用。資料を保存。発火法の研究や展示解説資料の充実。敷地内の植栽や茶花などの管理
資料の整理・保管	年　間	所蔵資料の再整備を行い、目録や図版の作成
資料のデータベース化	年　間	収蔵資料及び収蔵図書のデータベース化
調査・相談への対応	年　間	市民や学校研究機関などの灯火に関する問い合わせ等に対応
常設展	年　間	展示替えを必要に応じて実施。説明資料等の見直しと解説の充実
体験学習	年　間	常設で実施している火おこし体験・灯火器の明るさ体験の充実。各種ろうそく作りなど様々な体験学習を提供
特別展	年　間	年に 1 回程度、テーマを決めて特別展示

事　業　名	実施時期	事　　業　　内　　容
萩　見　の　茶　会	９月	敷地内に沢山ある萩の開花の時期に、館で活動する茶道教室と協働して来館者を対象に「萩見の茶会」を開催
と　も　し　び　茶　会	１１月	紅葉の時期にあわせ、茶道教室の学習の一環として、茶室と野点の２席の茶会を開き、来館者に日頃の学習の成果を披露し、併せて茶道への関心を深めるため実施
夜灯りのイベント	１月	博物館の庭園に、各種ランタン、竹灯籠、イルミネーションを設置し、幻想的な灯の空間を演出
茶　道　教　室	年　　間	流派にこだわらず、茶の心を大切にする教室。月５回の稽古で、茶の湯の楽しさや厳しさに触れながら自己の向上を図り、受講者相互の連携を深めるため実施
博物館連携事業及び灯火関連教室	年　　間	灯火に関係する教室や体験教室など公民館や各種団体と連携して多彩な事業を実施

４　入館料

区　分	一　　般		小・中学生	
	個　人	団　体	個　人	団　体
観覧料	400円	１人につき 300円	200円	１人につき 150円

※　定住自立圏内児童生徒、障がい者、高齢者等は減免制度あり。団体は２０人以上が減免対象

５　主な収蔵資料（寄託資料も含む）

区　　分	主　　な　　収　　蔵　　資　　料
灯火器具等	発火・着火、自然物、灯油、ろうそく、灯・燭兼用、臭水、石油ランプ、ガス、電気
そ　の　他	絵画、浮世絵等

※　史料掲載ＨＰ　「武石ともしび博物館」　http://museum.umic.jp/sakuhin/eizou13html/

６　映像資料（関連映像デジタルアーカイブ）

「武石ともしび博物館ホームページ」　http://museum.umic.jp/sakuhin/eizou13html/

美術館

１　基本方針

上田市ゆかりの郷土作家である山本鼎、石井鶴三、ハリー・Ｋ・シゲタ等の作品収蔵、調査研究及び展示公開による顕彰に加え、郷土作家に限らず質が高く多様な芸術に触れる機会となる企画展等により、市民の文化芸術活動を豊かにし地域文化の振興を図ります。

また、子どもアトリエ、市民アトリエ・ギャラリー等を活用した体験プログラムや美術教室、展示発表の機会を通して、感性や創造力を育成するとともに美術愛好者の拡大を目指します。

２　所在地等

⑴ 所在地　〒386-0025　天神三丁目１５番１５号
⑵ 電話　２７-２３００
⑶ 開館年月日　平成２６年１０月２日
⑷ 延面積　２，８８７㎡　鉄筋コンクリート造
⑸ 令和７年度利用者数　１５１，１９８人
（うち観覧者数　１２５，０７０人）
⑹ 収蔵資料　６，５８０点（令和７年度末）
⑺ 休館日　火曜日、年末・年始



山本鼎《ブルトンヌ》木版
1920 年

３　令和８年度事業計画　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	実施時期	事　業　内　容
資料等の収集・調査研究	年　　間	郷土作家の作品及び関係資料等の収集及び調査研究。
資料等の整理・保管	年　　間	収集した資料等の分析、目録作成、修復等。
資料等のデータベース化	年　　間	収集した資料等及び収蔵図書のデータベース化。
調査・研究・相談への対応	年　　間	市民の美術に関する質問、相談、調査回答及び資料提供。 館内外での講演。
収集資料等の展示	企画展同時期	郷土作家等を顕彰する展覧会の開催、図録作成等。
企画展（特別展）	４月 ～ ６月 ６月 ７月 ～ ９月 ９月 ～ 12 月 ３月 ～ ５月	美しいユートピアー理想の地を夢みた近代日本の群像ー 第 53 回東信美術展 豪華絢爛　秀吉と桃山文化ー大阪城天守閣収蔵品選ー 和紙がおりなす日本の美　HAIBARA Art&Design マリー・ローランサン展
コレクション展	６月 ～ ９月 ９月 ～ 12 月 12 月 ～ ３月	コレクション展Ⅰ コレクション展Ⅱ コレクション展Ⅲ
美術教室・講座	年　　間	版画、木彫、デッサン等の教室・講座の開講。 受講者作品展の開催。
子どもアトリエ事業	年　　間	体験プログラムや創作講座の開催、保育園等団体向けのプログラムの実施などにより、美術を通じて子どもたちの感性を育む。
貸館事業	年　　間	市民の芸術活動支援を目的とする創作発表の場の提供。

４　観覧料（コレクション展）

区　分	一　　般		高校・大学生		小・中学生	
	個　人	団　体 (20 人以上)	個　人	団　体 (20 人以上)	個　人	団　体 (20 人以上)
観覧料	300 円	250 円	200 円	150 円	100 円	80 円

※　障害者手帳をお持ちの方とその介助者１名は無料。

※　企画展の観覧料は、別途設定。

５　主な収蔵作家・資料等

作家名等	作　　品　　名
山 本　　鼎	油彩：蚊帳、自画像、平田知夫領事肖像、独鈷山麓秋意、五輪のバラ　ほか 水彩：御宿風景、秋の田園風景、疎林、河畔の春、日曜の遊び(下図)　ほか 版画：漁夫、デッキの一隅、フランス田園の春、モスクワ、ブルトンヌ　ほか スケッチ：人物、雨宿り、困った風呂敷、昼寝の雨、波止場　ほか
石 井　鶴 三	彫刻：雷試作、相撲（五)、風　ほか 油彩：黒衣少女、奇峯臨水、裸女渓流　ほか 版画：東京駅夕景、温泉、水泳、相撲　ほか
ハリー･K･シゲタ	ゼラチンシルバープリント：渦巻、トルソー、真珠と人魚、セルフポートレート　ほか ダイトランスファープリント：ストロベリーパイ、コマーシャル用写真（パン）ほか
中 村　直 人	彫刻：若衆、雀、町娘、女の首、暁の進軍、神風号飛行士像（塚越機関士)、 良寛坐像　ほか グアッシュ（不透明水彩）：クルン、婦人像、雄鶏、矩形、赤い肩掛けの女　ほか
林　　倭 衛	油彩：フランスの女、エスタック風景、早春、小笠原海岸、葛飾風景、別所沼　ほか
村 山　槐 多	水彩：田端風景　ノート：水彩画法手記
倉 田　白 羊	油彩：風景(大久保)、冬日 水彩：畑の風景
資 料 関 係	児童自由画：大正時代から昭和初期にかけての児童自由画　ほか 農民美術：木片人形、鉢、皿、盆、白樺巻き、煙草入れ、織物、デザイン原画　ほか

６　映像資料（館内上映用）

⑴　「血気の人　山本鼎」

⑵　「自分が直接感じたものが尊い　山本鼎」

⑶　「立体造形を通して人間性を追求　石井鶴三」

⑷　「上田が生んだ国際的商業写真家　ハリー・Ｋ・シゲタ」

⑸　「ＫＯＰＰＡ　ＤＯＬＬＳ　こっぱ人形」

７　作品等紹介ウェブサイト

⑴　コレクション作家紹介　https://www.santomyuze.com/museum/collection/

⑵　山本鼎アーカイブズ　https://museum.umic.jp/yamamotokanae/

⑶　ハリー・Ｋ・シゲタアーカイブズ　https://museum.umic.jp/harrykshigeta/

⑷　アトリエでつくろうWEB　https://www.santomyuze.com/museumevent/kodomo_atorie_movie/

市誌・町誌・村誌の刊行状況

１ 『上田市誌』の刊行状況

(1) 刊行規模 … 全３１冊、７編で各５，０００部印刷
(2) 編の構成 … 自然編３冊、歴史編１０冊、近現代編９冊、民俗編４冊、文化財編１冊、人物編１冊、別巻（１）～（３）各１冊
(3) 刊行規格 … Ｂ５判を３０冊（本文１５２ページ～２６４ページ、自然編・文化財編はカラー）、及び別巻（２）はＢ４判カラー、編ごとのケース入り
(4) 刊行時期 … 平成１１年度から平成１６年度までの６年間
(5) 頒布状況 … 頒布中（歴史編(6)、文化財編は頒布終了）

２ 『丸子町誌』の刊行状況

(1) 刊行規模 … 全５冊、３編で歴史編３，５００部、自然・民俗編２，０００部印刷
(2) 編の構成 … 歴史編３冊、自然編１冊、民俗編１冊
(3) 刊行規格 … Ｂ５判（本文４８０～６８０ページ、自然編・民俗編はカラー）、編ごとのケース入り
(4) 刊行時期 … 平成３年度から平成４年度までの２年間
(5) 頒布状況 … 頒布終了

３ 『真田町誌』の刊行状況

(1) 刊行規模 … 全５冊、４編で各１，５００～２，５００部印刷
(2) 編の構成 … 自然編１冊、歴史編２冊、近現代編１冊、民俗編１冊
(3) 刊行規格 … Ａ５判（本文５８８～６８５ページ、自然編はカラー）、各ケース入り
(4) 刊行時期 … 平成８年度から平成１３年度までの６年間
(5) 頒布状況 … 頒布中（自然編、歴史編上は頒布終了）

４ 『武石村誌』の刊行状況

(1) 刊行規模 … 全４冊、４編で各５００部印刷
(2) 編の構成 … 第１編　武石村の自然と風土、第２編　村の歴史、第３編　民俗、第４編　現代　各１冊
(3) 刊行規格 … Ａ５判を４冊（本文３０８ページ～６２４ページ、４編のケース入り）
(4) 刊行時期 … 平成元年度
(5) 頒布状況 … 頒布中

地域映像デジタルアーカイブ事業
～市民 ICT 推進センターによる情報発信～

1　概要

市民 ICT 推進センターでは、地域に残る写真や記録映像などを、地域の「時代」を写し撮った貴重な「文化」資産であると捉え、その保存、再生を行う「地域映像デジタルアーカイブ事業」を行っています。

その一環として、上田市内の文化財の情報、博物館・信濃国分寺資料館・図書館の収蔵品に関する情報を、積極的にインターネットで発信し、地域学習の教材としての活用を図ります。

2　情報発信サイトの一覧

(1) 上田市デジタルアーカイブポータルサイト



上田市のデジタルアーカイブ事業の総合窓口
上田市が進める「地域映像デジタルアーカイブ」事業の成果を総合的に紹介するサイト。

DVD・CD-ROM、ウェブサイト、映像作品を紹介
DVD・CD-ROM を 6 点、ウェブサイト 34 点、映像作品 14 点を紹介。それぞれのウェブサイトへは、このサイトからリンクされています。

https://museum.umic.jp/

(2) 上田市の文化財

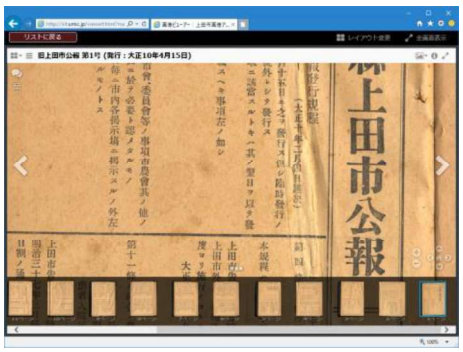


上田市の文化財 248 点をホームページで紹介
上田市の、建造物、石造物、史跡、天然記念物、名勝、書跡、絵画、彫刻、工芸品、古文書、有形・民俗文化財等を写真と解説文で紹介。

天地左右 360 度のパノラマ画像
史跡・建造物などを天地左右 360 度のパノラマ画像で紹介。

https://museum.umic.jp/bunkazai/

(3) 上田市画像アーカイブズ



アーカイブ画像データを統合的に紹介
アーカイブ事業で収集した、絵図、古地図、古文書、書籍、公報など、様々な史料の画像データを、高解像度で紹介。

国際規格 IIIF(トリプルアイエフ)に準拠
画像の相互運用の国際規格に準拠した形式で公開、世界中の研究者による利用がしやすくなっています。

https://museum.umic.jp/iiif/

(4) 上田市立博物館



収蔵品の高解像度画像を収録
上田地域の中世から近現代までの歴史史料として、歴代上田城主の甲冑他の上田藩関係資料、絵図、養蚕資料、古文書類などの収蔵品を高解像度画像で展示。

江戸時代の上田の歴史を紹介
上田城の歴史、現存する３棟の櫓、歴代の城主の説明。

https://museum.umic.jp/hakubutsukan/

(5) 信濃国分寺資料館



豊富な収蔵品を紹介
文化財の「八日堂縁日図」「牛頭天王之祭文」や、出土品などの代表的な収蔵品 160 点の高解像度画像を紹介。

資料館と史跡公園のガイド
館内の展示案内、安楽寺八角三重塔模型について。公園の概要と僧寺跡、尼寺跡とその発掘について。

https://museum.umic.jp/kokubunji/

(6) 丸子郷土博物館

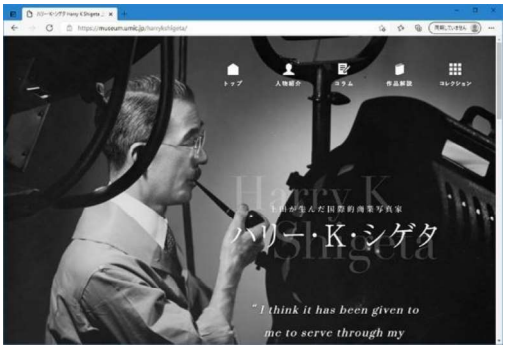


近代器械製糸の歴史を紹介
製糸業の歴史を豊富な資料とともに紹介。現存する最古の PR フィルムと言われる、「依田社」制作の宣伝フィルム「依田社の記録」を配信。

豊富な出土品と丸子地域の無形文化財を紹介
丸子地域周辺の遺跡から発掘された出土品を、109 点の写真で紹介。丸子地域の無形文化財である獅子舞の映像など 5 点のビデオを配信。

https://museum.umic.jp/maruko/

(7) ハリー・K・シゲタ　上田が生んだ国際的商業写真家

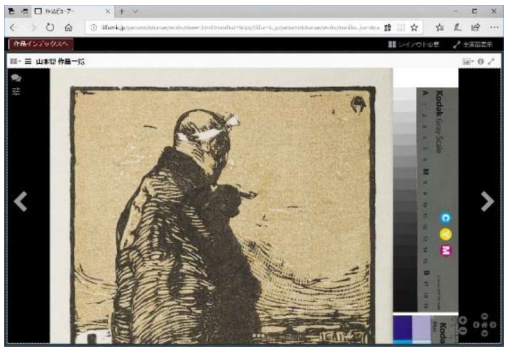


上田出身の国際的商業写真家であるハリー・K・シゲタの生涯と功績を紹介
大正から昭和にかけて米国を中心に国際的に活躍した様子を、その人柄をよく表すエピソードをコラムとして紹介。

市立美術館の収蔵作品を掲載
収蔵作品 95 点の高解像度画像を掲載。拡大表示をして細部まで見ることが可能。

https://museum.umic.jp/harrykshigeta/

(8) 山本鼎アーカイブズ



地域に縁の芸術家の山本鼎の生涯を紹介
2019 年に 100 周年を迎える「農民美術・児童自由画教育運動」を提唱した、この地域にゆかりの芸術家である山本鼎の生涯や功績などを広く紹介。

市立美術館の収蔵作品等の映像資料を掲載
絵画作品 129 点の高解像度画像、農民美術作品の 3 次元画像など、豊富な映像資料を掲載。

https://museum.umic.jp/yamamotokanae/

(9) 上田城城下町絵図アーカイブ



江戸時代の上田城と城下町の絵図５点を紹介
信州上田城絵図、仙石氏在城時代の上田城下町図、仙石氏家臣屋敷割図（写）、安政年間上田城下町絵図、本丸二の丸図（写）の５枚。

現在の地図と重ねて表示
元禄時代の絵図を現在の上田市の地図に重ねて表示。当時と現在の移り変わりなどを簡単に見ることができます。

https://museum.umic.jp/uedajo/

(10) 正保・元禄・天保信濃国絵図



江戸時代の信濃国（長野県）の国絵図を紹介
上田市立博物館収蔵の「正保の信濃国絵図（1647 年, 県宝）」「元禄の信濃国絵図（1701 年）」「天保の信濃国絵図（1838 年）の３枚の絵図を紹介。

拡大縮小して見ることができるビューアー
簡単な操作で縮小して全体の位置を見ることや、拡大して詳細な文字を読むことも可能。

https://museum.umic.jp/kochizu/

(11) 上田古地図･絵図デジタルアーカイブ



江戸時代から昭和までの古地図・絵図を紹介
上田市立上田図書館が所蔵する上田の絵図･古地図の画像を中心に合計 28 点を紹介。
江戸時代から昭和までの古地図、絵図等を見比べたり移り変わりを調べたりできる。

拡大縮小して見ることができるビューアー
簡単な操作で縮小して全体の位置を見ることや、拡大して詳細な文字を読むことも可能。

https://museum.umic.jp/ezukochizu/

(12) 上田の商家の引札

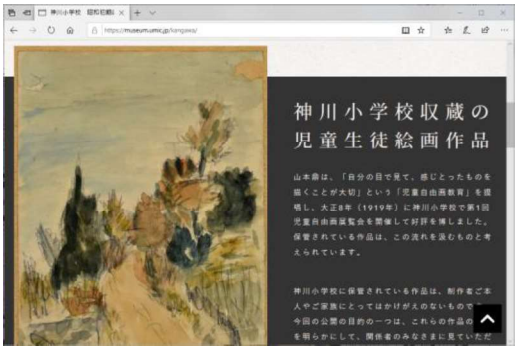


江戸時代から昭和初期までの引札等を紹介
上田市立博物館が所蔵する、上田の商家で利用された引札(現在の広告・チラシ)57 点を紹介。色鮮やかな色彩のものも多く、当時の上田の商店街の活況が伝わってくる。

拡大縮小して見ることができるビューアー
簡単な操作で縮小して全体の位置を見ることや、拡大して詳細な文字を読むことも可能。

https://museum.umic.jp/hikihuda/

(13) 神川小学校 昭和初期の子どもたちの絵



児童自由画教育運動の流れをくんだ作品
神川小学校に保管された昭和初期の子どもたちが描いた絵画作品 600 点あまりを紹介。
山本鼎が提唱した「児童自由画教育運動」の流れをくむものと捉えられている。

画像データ、印刷物を提供
制作者ご本人、ご家族からの希望があれば、画像データ、印刷物を提供。

https://museum.umic.jp/kangawa/

(14) 續錦雑誌 藤本善右衛門縄葛



明治時代の先人が遺した書籍をデジタル化
「蚕種業の先駆者」と言われた上田出身の藤本善右衛門縄葛が記した書籍「續錦雑誌」87 巻約 1 万 2000 ページ全てのデジタル画像を公開。

研究や学習への活用に適した公開方法
国際規格に準拠した形式で、非営利目的であれば申請なしで使える「CC BY-NC」ライセンスで公開。

https://museum.umic.jp/shokukinzasshi/

(15) 信州上田軍記

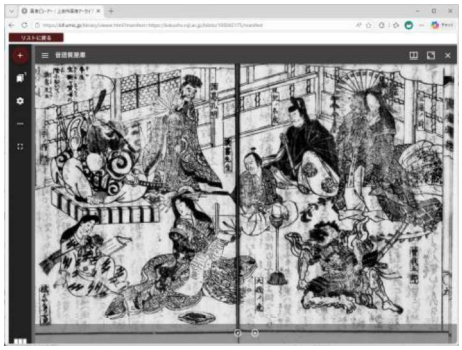


「上田軍記」を現代語訳、音声などで紹介
上田合戦などの様子を記録した真田家に伝わる家記「上田軍記」を、写本の画像、原文、現代語訳、音声読み上げで紹介。

年表で「上田軍記」の世界を紹介
「上田軍記」前後の出来事を年表で紹介。上田軍記の各章の歴史の中での位置付けが分かる。

https://museum.umic.jp/uedagunki/

(16) 上田図書館デジタルライブラリー



上田図書館収蔵の貴重資料を紹介
江戸文学の貴重コレクション「花月文庫」の目録を約 5100 件、画像を約 2400 件公開。
明治時代に上田出身者が創設した「上田郷友会」の月報の第 1489 号までの画像を公開。

拡大縮小して見ることができるビューアー
簡単な操作で拡大して詳細な文字を読むことも可能。

https://museum.umic.jp/d-library/

(17) 山極勝三郎博士の生涯と実績



山極勝三郎博士の生涯と実績を紹介
世界で初めて人工癌発生に成功した、上田出身の医学博士、山極勝三郎博士の生涯と実績を、豊富な資料と解説文で紹介。ゆかりの地を紹介するマップ付。

https://museum.umic.jp/yamagiwa/

(18) 赤松小三郎 幕末の洋学者・議会政治の提唱者



幕末の上田藩士 赤松小三郎を紹介
二院制議会や人材教育の重要性などをいち早く提唱し、その後のわが国のあり方に大きな影響を与えた、赤松小三郎の生涯と実績を紹介。

建白書解説ビューアー
幕府や主要な藩主らに宛てた建白書の高解像度画像を掲載。読み下し文とともに閲覧することが可能。

https://museum.umic.jp/akamatsu/

(19) 上田地域こども自然電子図鑑「川とわたしたち」



水生昆虫・魚類を紹介した「川の電子図鑑」
千曲川の昆虫 15 種類、魚類 15 種類を紹介。

水質調査の手順を解説した「水質を調べる」
調査の手順、まとめ方などを解説。

川と暮らしの関わりを解説した「水と暮らし」
千曲川の支流、上下水道、農業用水などを解説。

https://museum.umic.jp/kawa/

学校体育施設開放事業

１　趣旨

上田市における生涯学習の振興、一般スポーツの推進その他公共の目的で、上田市立小・中学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の方に開放します。

２　利用の対象

上田市内に居住し、通勤し、又は通学する者で組織され、かつ、成人の指導者がいる団体で、利用にあたっては教育委員会に団体登録をする必要があります。

３　利用の申請

登録を受けた団体の責任者は、利用施設ごとに利用する前までに学校施設開放利用許可申請書を各受付窓口に提出する必要があります。

４　開放する学校体育施設

施設の名称	施設開放校	開放する日	開放する時間	受付窓口
校　庭	西小、北小、塩尻小、川辺小、神川小、豊殿小、塩田西小、川西小、南小 一中、三中、四中、五中、塩田中、六中	５/１～10/31 （日・祝日は除く）	18:30～21:00	教育施設整備室
	丸子中央小、丸子北小、塩川小、丸子中、丸子北中	土・日・祝日 （年末年始は除く）	5:00～20:00	丸子総合体育館
	菅平小、長小、傍陽小、本原小、菅平中、真田中	５/１～10/31 の 土・日・祝日	8:00～17:00	真田地域教育事務所
体育館	上田地域の全ての小中学校	年間 （日・祝日・年末年始は除く）	小学校 18:00～21:00 中学校 19:00～21:00	教育施設整備室
	丸子地域の全ての小中学校	年間 （年末年始は除く）	平日 18:00～21:00 土・日・祝日 8:30～21:00	丸子総合体育館
	真田地域の全ての小中学校	年間 （年末年始は除く）	19:30～21:30	真田地域教育事務所
	武石小学校	年間 （年末年始は除く）	平日 17:00～22:00 土・日・祝日 8:30～22:00	武石地域教育事務所

教育機関（施設）

令和７年度社会教育施設利用状況

施設名	開館・開設日数（日）	主催・共催事業		その他		合計	
		件数（件）	利用者数（人）	件数（件）	利用者数（人）	件数（件）	利用者数（人）
中央公民館	359	926	24,868	3,799	63,171	4,725	88,039
（神川地区公民館）	359	345	7,555	1,740	20,406	2,085	27,961
西部公民館	359	191	3,178	2,365	37,960	2,556	41,138
（塩尻地区公民館）	359	32	1,312	605	4,869	637	6,181
城南公民館	359	238	4,356	3,214	31,249	3,452	35,605
上野が丘公民館	359	217	5,269	2,633	31,863	2,850	37,132
塩田公民館	359	170	3,202	2,426	4,4687	2,596	47,889
川西公民館	359	222	4,841	1,359	21,368	1,581	26,209
丸子公民館	359	146	1,141	846	7,167	992	8,308
真田中央公民館	359	67	2,589	955	16,273	1,022	18,862
武石公民館	359	66	2,976	1,322	17,640	1,388	20,616
上田図書館	268	図書等貸出冊数 :本館（個人 221,538 冊・団体 5,352 冊）、創造館（個人 77,688 冊・団体 200 冊）、移動図書館車（個人 9,317 冊・団体 1,905 冊） 調査相談 2,159 件					
上田情報ライブラリー	270	図書等貸出冊数:（個人 54,209 冊）、調査相談 181 件、パソコン利用件数 2,498 件、データベース利用件数 135 件、視聴覚機器利用件数 13 件、諸証明発行件数 1,800 件					
丸子図書館	269	図書等貸出冊数:本館（個人 153,618 冊・団体 1,573 冊）、移動図書館車（個人 14,564 冊・団体 4,462 冊） 調査相談 2,290 件					
真田図書館	269	図書等貸出冊数:（個人 65,320 冊・団体 446 冊） 調査相談 778 件					
博物館（櫓を含む）	300	11	179	—	135,117	11	135,296
信濃国分寺資料館	298	5	111	—	3,376	5	3,487
丸子郷土博物館	293	—	—	—	452	—	452
武石ともしび博物館	232	8	1,471	—	3,115	8	4,586
上田市立美術館	307	140	125,070	134	26,128	274	151,198
旧宣教師館	113	—	—	—	470	—	470

Ⅴ　関係委員等名簿

市理事者

（令和８年５月１日現在）

役　職　名	氏　　名	任　　期
市　　長	斉　藤　達　也	令和１２年４月８日
副　市　長	小　相　澤　隆　幸	令和９年３月１５日
教　育　長	酒　井　秀　樹	令和９年４月２８日

市教育委員会委員

（令和８年５月１日現在）

役　職　名	氏　　名	委　員　任　期
教育長職務代理者	安　達　永　眞	令和９年４月２８日
委　　員	萱　津　公　子	令和１０年４月２８日
委　　員	荻　野　茶　々	令和１１年４月２８日
委　　員	羽　田　憲　史	令和１２年４月２８日

市議会教育厚生委員会委員

（令和８年５月１日現在）

役　職　名	氏　　名	議　員　任　期
委　員　長	松　山　賢　太　郎	令和１２年４月８日
副 委 員 長	成　　瀬　　拓	令和１２年４月８日
委　　員	須　藤　智　恵	令和１２年４月８日
委　　員	岩　岡　紋　衣	令和１２年４月８日
委　　員	丸　山　宏　尚	令和１２年４月８日
委　　員	齊　藤　加　代　美	令和１２年４月８日
委　　員	池　田　総　一　郎	令和１２年４月８日

学校教育関係

上田市教育支援委員会委員

・学校教育法施行令第１８条の２及び附属機関に関する条例による委員

・任期　令和８年６月１日～令和１０年５月３１日

氏　　名	所　　属	選任の基準
大谷　壮志	大谷外科・眼科	上田市医師会
赤平　年三	生田耳鼻咽喉科医院	〃
岩橋　輝明	東御市民病院	小県医師会
大塚　美奈子	上田短期大学	学識経験者
石田　　修	元小学校特別支援教育担当	〃
神原　久美子	社会福祉法人上田明照会	〃
吉池　加代子	社会福祉法人カルディア会	〃
平田　敦子	長野県上田支援学校	長野県上田支援学校
大塚　健志	武石小学校	学校関係者
藤森　　東	浦里小学校	〃
池内　絵理佳	長小学校	〃
松井　敦子	南小学校	〃
北島　友里	川辺小学校	〃
藤岡　有希	第六中学校	〃
古川　麻理	第三中学校	〃

上田市いじめ問題対策連絡協議会委員

・いじめ防止対策推進法第１４条及び上田市いじめ問題対策連絡協議会等条例による委員

・任期　令和７年４月１日～令和９年３月３１日

氏　　名	選任の基準	氏　　名	選任の基準
須藤　直美	法務局担当者	茅野　浩恵	地域・民間団体関係者
中澤　泰明	警察署担当者	太田　恵里奈	〃
前村　卓治	児童相談所担当者	竹内　仁一	学校関係者
上野　真一	県教育委員会担当者	北沢　　敦	〃
渡邉　美奈子	スクールカウンセラー	髙山　智史	学識経験者
戸田　裕子	スクールソーシャルワーカー	酒井　秀樹	上田市教育長
佐藤　　暁	地域・民間団体関係者	宮沢　順也	上田市関係課
斎藤　史郎	〃	遠藤　理恵	〃
長谷川　弘美	〃	中沢　　博	〃
小熊　弘子	〃	田中　菜穂子	〃

社会教育関係

社会教育委員

・社会教育法第１５条及び上田市社会教育委員条例第１条による委員
・任期　令和７年１月１日～令和８年１２月３１日

氏　　名	選任の基準	氏　　名	選任の基準
小　平　千　文	社会教育関係者	窪　田　富　子	社会教育関係者
◎宮　下　俊　哉	社会教育関係者	小　林　眞由美	社会教育関係者
○山　崎　順　子	社会教育関係者	坂　口　純　一	家庭教育の向上に資する活動を行う者
酒　井　真由子	学識経験者	手　塚　由　花	社会教育関係者
滝　澤　正　幸	社会教育関係者	宮　島　哲　也	学校教育関係者

◎代表者　○代表者代理

図書館協議会委員

・上田市図書館条例第１２条による委員
・任期　令和７年４月１日～令和９年３月３１日

氏　　名	選任の基準	氏　　名	選任の基準
荒　木　浩二郎	ボランティアの視点	小　林　容　子	元公募委員
○内　山　伯　子	前公募委員	◎中　村　恵　子	市民協働団体
北　沢　秀　雄	公　募　委　員	西　山　卓　郎	幅広い活動の視点
甲　田　京　子	図書館利用者団体	丸　山　文　隆	学識経験者

◎会長　　○副会長

文化財保護審議会委員

・上田市文化財保護条例第３８条による委員
・任期　令和７年４月１日～令和９年３月３１日

氏　　名	履　　歴　　等	専　　門
太　田　喜美子	元駒澤大学文学部講師	民　　俗　　学
小　倉　絵里子	実践女子大学文学部非常勤講師	美　　術　　史
倉　嶌　勝　夫	東信史学会長	歴　　史　　学
◎児　玉　卓　文	元県立歴史館文献史料課長	考古学・文献学
土　本　俊　和	信州大学工学部教授	歴史的建造物
○町　田　龍一郎	元筑波大学菅平高原実験所教授	生　　物　　学
水　沢　教　子	東北大学非常勤講師	考古学・文化財保存処理

◎会長　　○会長代理

上田市博物館協議会委員

・博物館法第２３条及び上田市博物館条例第１２条による委員
・任期　令和７年４月１日～令和９年３月３１日

氏　　名	選任の基準	氏　　名	選任の基準
◎児　玉　卓　文	学識経験者	矢　嶋　千代子	学識経験者
○小宮山　千　佐	学識経験者	寺　島　隆　史	学識経験者
鎌　田　尚　子	学識経験者	小　駒　はるみ	学識経験者
押　森　　慎	学識経験者	米　澤　　愛	学識経験者
矢　島　節　子	学識経験者	中　澤　徳　士	学識経験者

◎会長　　○会長代理

公民館運営審議会委員

・社会教育法第２９条及び上田市公民館条例第１１条による委員

・任期　令和６年１０月３１日～令和８年１０月３０日

	氏　　名	選　出　区　分		氏　　名	選　出　区　分
中央	山　寺　政　幸	学校教育関係者	西部	渡　邉　百代子	社会教育関係者
	小　林　みゆき	地域協議会代表		千　野　敬　治	社会教育関係者
	伴　　美佐子	学校教育関係者		早　川　　潤	社会教育関係者
	池　田　みさき	社会教育関係者		滝　澤　政　彦	学校教育関係者
	金　子　昌　平	公　募		三　井　由　香	社会教育関係者
城南	宮　下　千　元	学識経験者	上野が丘	青　木　茂　友	住民自治組織
	須　崎　博　雄	社会教育関係者		小　菅　吉　治	住民自治組織
	新　谷　靖　代	住民自治組織		杉　﨑　千　代	社会教育関係者
	髙　橋　裕　美	社会教育関係者		伊　藤　文　子	社会教育関係者
	柳　原　孝　一	学校教育関係者		武　内　　裕	学校教育関係者
塩田	増　澤　　宗	社会教育関係者	川西	堀　内　重　光	社会教育関係者
	羽　田　由　紀	社会教育関係者		安　田　絵理子	社会教育関係者
	寺　尾　由　美	社会教育関係者		久保田　照　幸	社会教育関係者
	藤　森　靖　夫	住民自治組織		久　松　久美子	社会教育関係者
	徳　嵩　隆　治	学校教育関係者		臼　井　富　健	学校教育関係者
丸子	久保田　俊　也	学校教育関係者	真田中央	柳　沢　文　人	社会教育関係者
	竹　花　のり子	社会教育関係者		城　間　友　子	住民自治組織
	寺　尾　雄二郎	社会教育関係者		宮　澤　穂　澄	社会教育関係者
	柳　沢　裕　美	地域協議会代表		徳　嵩　美　穂	社会教育関係者
	柴　田　隆　一	社会教育関係者		小　柳　昭　喜	学校教育関係者
武石	小　林　愼　一	学校教育関係者			
	名　本　多　壽	社会教育関係者			
	大　塚　健　志	学校教育関係者			
	佐　藤　しげ子	地域協議会代表			
	岡　村　星　美	住民自治組織			

上 田 市 の 教 育

（令和８年度版）

編集　上田市教育委員会教育総務課

発行　上 田 市 教 育 委 員 会

住所　〒３８６－８６０１

上田市大手一丁目１１番１６号

電話　０２６８（２３）５１００